

平成30年度

男女が共に支える社会に関する

意識調査報告書

平成31年

岩 手 県

男女が共に支える社会に関する意識調査報告書

平成31年2月

発行 岩手県環境生活部 若者女性協働推進室
〒020-8570 岩手県盛岡市内丸10番1号
TEL 019-629-5336
FAX 019-629-5354
ホームページアドレス

<http://www.pref.iwate.jp/seishounendanjo/seishounen/index.html>

統計
株式会社NTTネクシア
営業本部 営業開発部門 東北支店 北東北オフィス

「平成30年度 男女が共に支える社会に関する意識調査報告書」

目 次

I 調査の概要	
1. 調査の目的	1
2. 調査の設計	1
3. 調査票の回収結果	1
4. 調査主体	1
II 回答者の基本属性	
1 性別・年代別構成	2
2 既婚・未婚・離(死)別構成	3
3 回答者の職業	4
4 配偶者の職業	5
5 共稼ぎ配偶者の職業	6
6 家族構成	7
7 子供の有無	8
8 子供の人数と末子の年齢	9
9 住んでいる地域	10
III 調査テーマによる分析	
1 男女平等について	11
2 女性の社会参画について	38
3 家庭生活及び結婚・家庭観について	47
4 職業について	108
5 仕事と家庭・社会活動の両立について	122
6 ドメスティック・バイオレンス(DV)などについて	127
7 男女共同参画施策について	133
IV 基礎集計表	138
V 資料(調査票)	

I 調査の概要

Ⅱ 回答者の基本属性

Ⅲ 調査テーマによる分析

IV 基礎集計表

V 資料（調査票）

I 調査の概要

1. 調査の目的

男女が共に支える社会作りに関する県民の意識や行動について調査を行い、現状の県民意識や行政に対するニーズ把握するとともに、今後の男女共同参画社会づくりの基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の設計

- (1) 調査対象及び標本数 : 岩手県内在住の20歳以上の男女2,000人
- (2) 抽出方法 : 無作為抽出
- (3) 調査方法 : 設問票によるアンケート調査(郵送法)
- (4) 調査期間 : 平成30年10月22日～平成30年11月9日
(平成30年11月19日到着分まで有効とした)

3. 調査票の回収結果

- (1) 回収数 : 648人(32.4%)
- (2) 有効回収数 : 644人(32.2%) ※無効回答4人は全て白紙
- (3) 調査対象地域と回収の分布 : 次表のとおり

今回調査

平成27年度調査

対象地域	自治体名	標本数	有効回収数	有効回収率(%)	対象地域	自治体名	標本数	有効回収数	有効回収率(%)
盛岡地域	盛岡市	350	236	31.5	盛岡地域	盛岡市	350	338	30.7
	八幡平市	150				八幡平市	200		
	雫石町	100				滝沢市	250		
	紫波町	150				紫波町	100		
県南地域	花巻市	200	241	34.4	県南地域	花巻市	250	391	34.0
	遠野市	100				北上市	200		
	奥州市	200				遠野市	100		
	一関市	200				奥州市	300		
県北地域	久慈市	50	100	50.0	県北地域	久慈市	50	78	26.0
	洋野町	50				野田村	100		
	二戸市	100				二戸市	50		
						一戸町	100		
沿岸地域	大船渡市	100	64	18.3	沿岸地域	大船渡市	150	140	31.1
	釜石市	100				釜石市	100		
	宮古市	100				宮古市	100		
	山田町	50				山田町	100		
地域無回答			3		地域無回答			15	
合計		2,000	644	32.2	合計		3,000	962	32.1

4. 調査主体

岩手県 環境生活部 若者女性協働推進室

< 報告書を見る上での注意事項 >

- ①比率(パーセント)の表記は、小数点第2位以下を四捨五入しているため、比率の合計が100.0とならない場合がある。なお、一つの設問に対して二択以上の回答を求めるものは、比率の合計を記載しない。
- ②各設問集計の対象者(集計対象となる前提条件を満たしているもの)は「N=」としてその数を表記する。
- ③今回の調査で得られた集計データの詳細は、「IV 基礎集計表」の各表を参照。
- ④時系列比較を行っているものは、平成27年5月に実施したものを「前回調査」(または「27年度調査」)平成24年12月に実施したものを「前々回調査」(または「24年度調査」)、平成21年12月に実施したものを「21年度調査」と表記した。各数値は、平成27年7月にとりまとめた前回調査報告書の記載を用いた。
- ⑤調査票に記載した設問ないし、選択肢の表現について、長文のものを適度に簡略化して表記している。

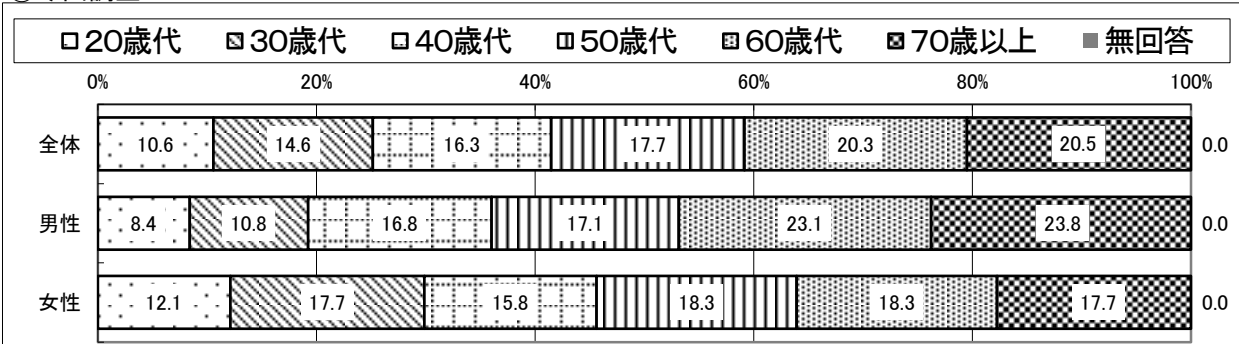
II 回答者の基本属性

1 性別・年代別構成

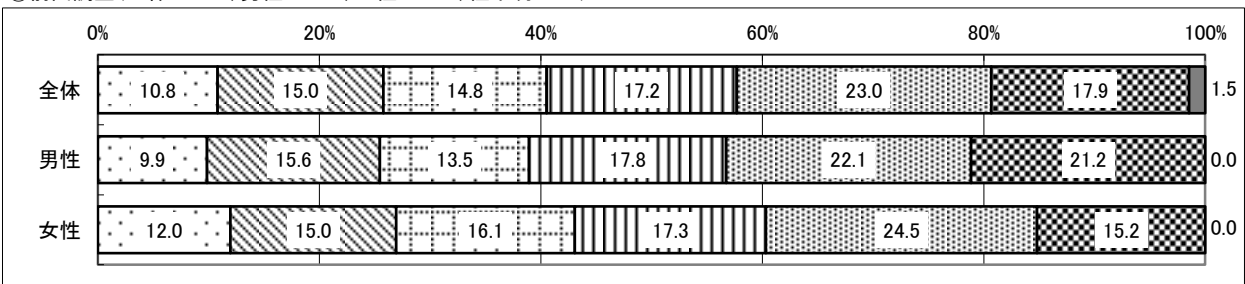
(N=644 男性=286 女性=355 その他=2 性別無回答=1)

今回調査では、男性286名(44.4%)、女性355名(55.1%)、その他2名(0.3%)、性別無回答1名(0.2%)から回答があった。年代別にみると、70歳代以上(20.5%)の割合が最も高く、次いで60歳代(20.3%)、50歳代(17.7%)、40歳代(16.3%)、30歳代(14.6%)、20歳代(10.6%)と続く。前回調査と比較すると、70歳代(20.5%)は2.6ポイント増加し、40歳代(16.3%)は1.5ポイント増加している。60歳代(20.3%)は2.7ポイント減少した。

①今回調査



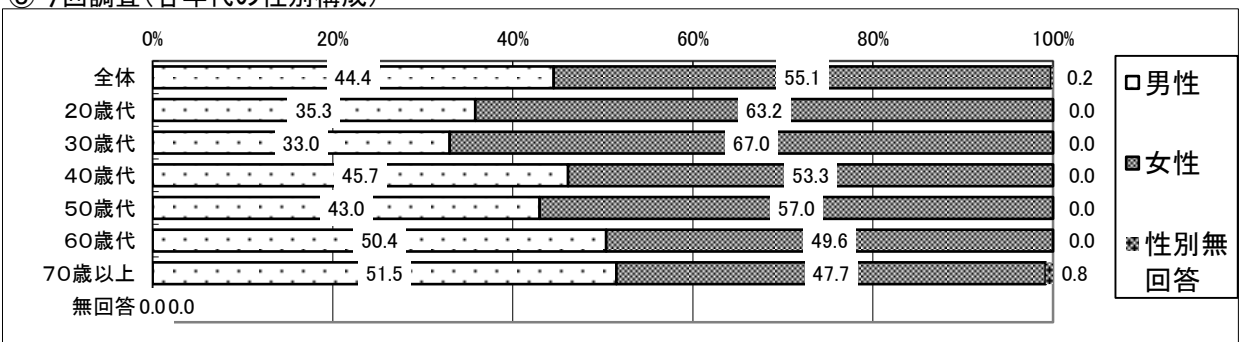
②前回調査(全体N=962、男性N=416、女性N=527、性不明N=19)



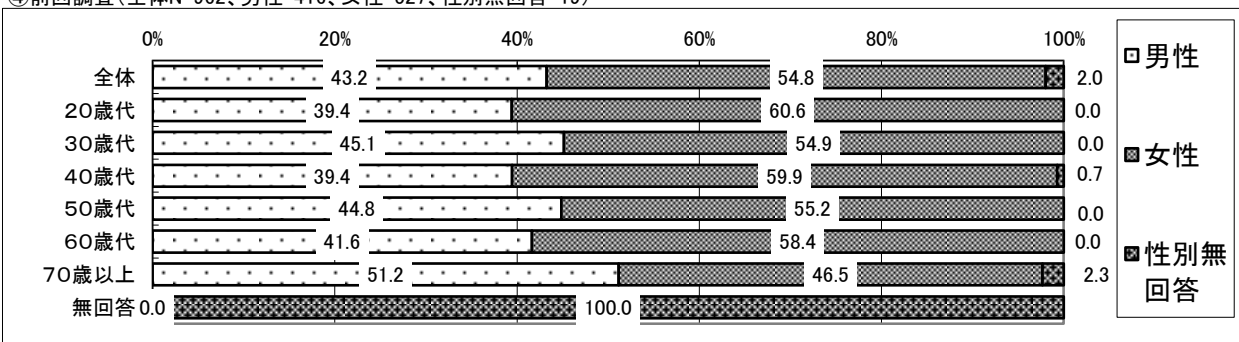
各年代ごとの性別比をみると、今回調査全体では男性44.4%、女性55.1%を占める。前回調査と比較すると、男性(44.4%)は1.2ポイント増加し、女性(55.1%)は0.3ポイント増加している。

男女別でみると、男性では70歳代以上(51.5%)の割合が最も高く、女性では30歳代(67.0%)の割合が最も高い。30歳代では男性(33.0%)は前回調査(45.1%)より12.1ポイント減少し、女性(67.0%)は前回調査(54.9%)より12.1ポイント増加している。

③今回調査(各年代の性別構成)



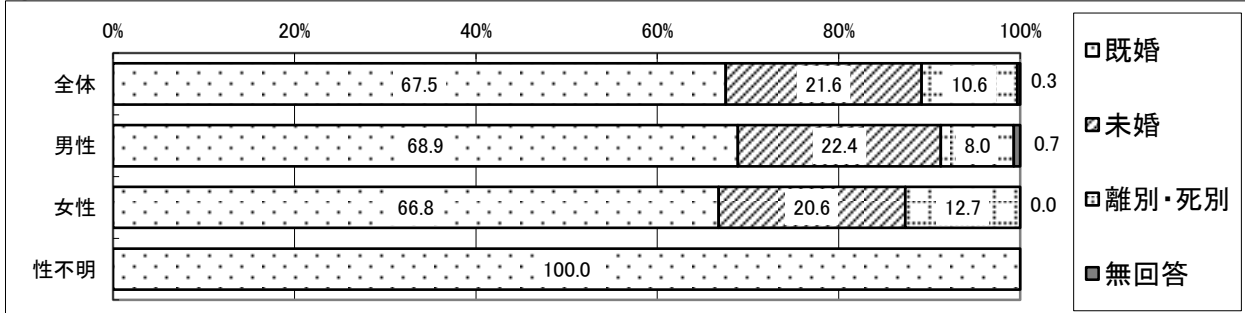
④前回調査(全体N=962、男性=416、女性=527、性別無回答=19)



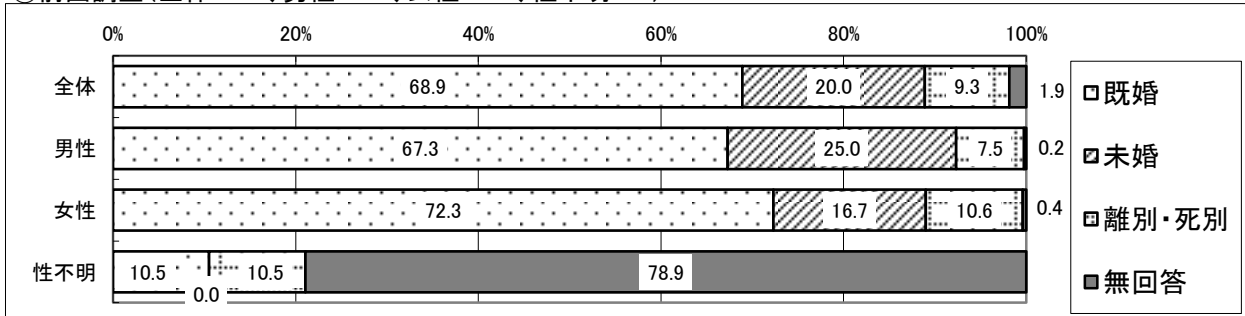
2 既婚・未婚・離(死)別構成(全体N=644 男性=286 女性=355 その他=2 性別無回答=1)

今回調査全体では、既婚は67.5%、未婚は21.6%、離婚・死別は10.6%である。
 前回調査と比較すると既婚男性(68.9%)は前回調査(67.3%)より1.6ポイント増加、既婚女性(66.8%)は前回調査(72.3%)より5.5ポイント減少している。
 既婚と回答したものは40歳代以外全ての年代で減少している。既婚40歳代(70.5%)は前回調査(66.2%)より4.3ポイント増加している。
 未婚男性(22.4%)は前回調査(25.0%)より2.6ポイント減少、未婚女性(20.6%)は3.9ポイント増加している。
 年代別にみると、既婚と回答したものの割合が最も高いのは50歳代(78.9%)、最も低いのは20歳代(20.6%)である。

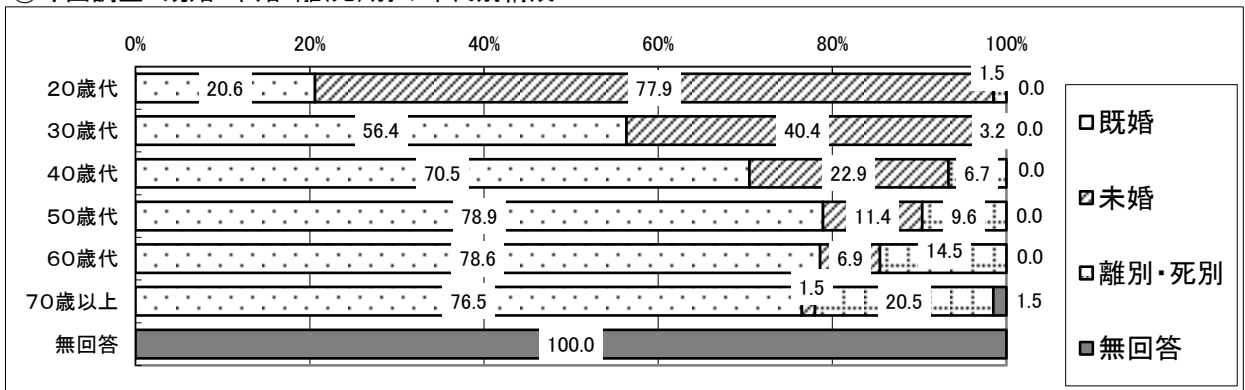
①今回調査



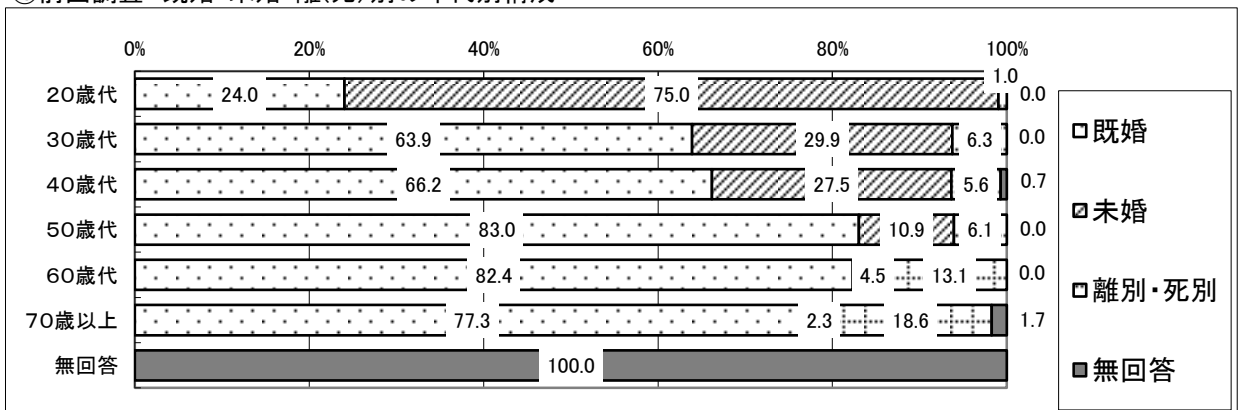
②前回調査(全体=962、男性=416、女性=527、性別不明=19)



③今回調査 既婚・未婚・離(死)別の年代別構成



④前回調査 既婚・未婚・離(死)別の年代別構成



3 回答者の職業(N=644 男性=286 女性=355 その他=2 性別無回答=1)

回答者の職業の割合で最も高いものは「勤め(フルタイム・常勤)」(38.7%)であり、次いで「無職(専業主婦・主夫)」(15.4%)、「勤め(パート・アルバイト・臨時職員など)」(15.2%)と続く。

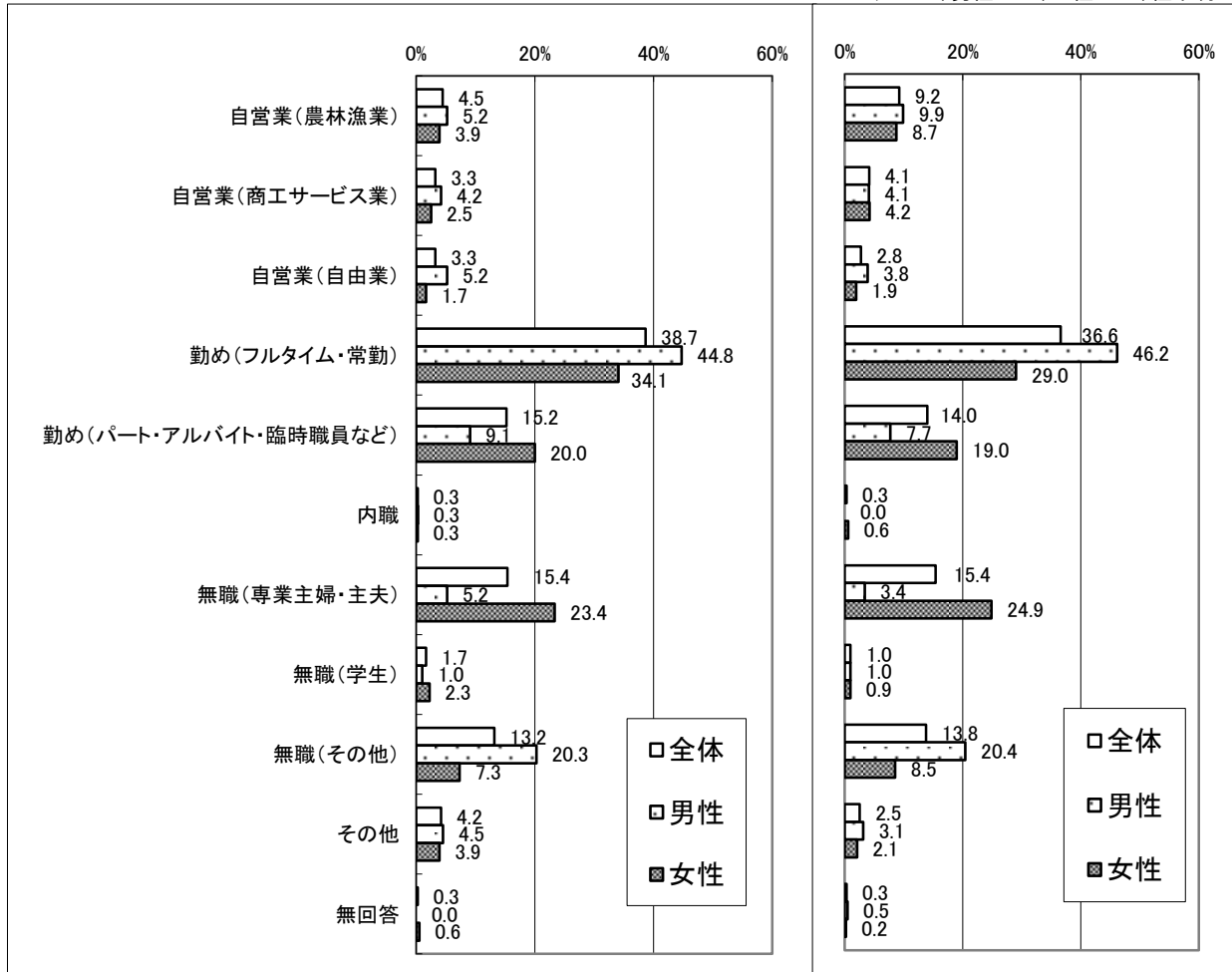
この傾向は前回調査同様である。

前回調査と比較すると「勤め(フルタイム・常勤)」(38.7%)は2.1ポイント増加、「勤め(パート・アルバイト・臨時職員など)」(15.2%)は1.2ポイント増加している。「無職(専業主婦・主夫)」(15.4%)は前回調査と同じである。

①今回調査(但し、グラフから性別無回答を除く)

②前回調査

(N=943、男性=416、女性=527、性不明=19)



4 配偶者の職業(N=435 男性=197 女性=237 性別無回答=1)

配偶者の職業の割合で最も高いのは、「勤め(フルタイム・常勤)」(37.7%)であり、次いで「無職(専業主婦・主夫)」(20.5%)、「勤め(パート・アルバイト・臨時職員など)」(14.0%)と続く。

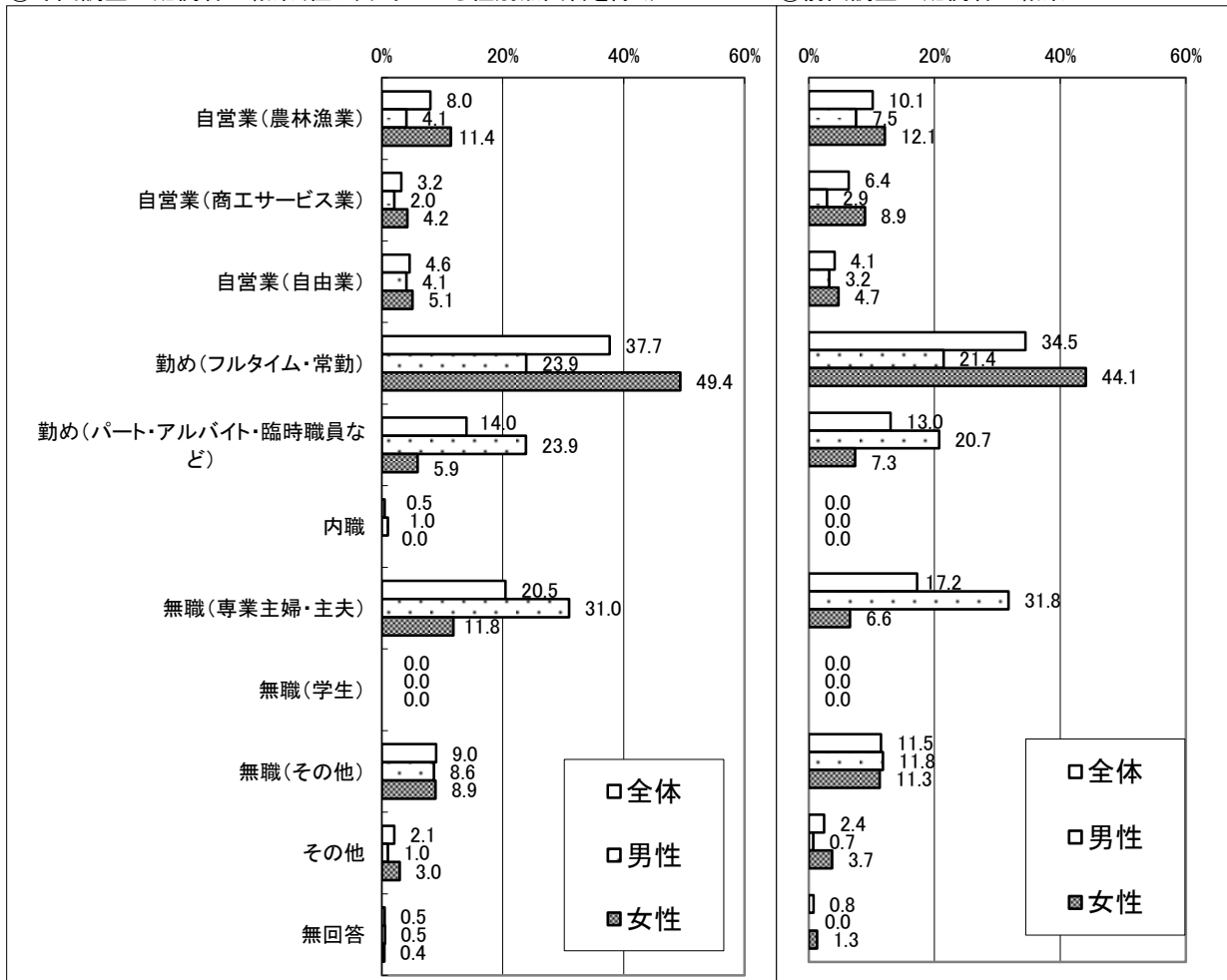
この傾向は前回調査と同様である。

男女別にみると、『回答者男性/配偶者女性』では、「勤め(フルタイム・常勤)」(23.9%)は前回調査(21.4%)より2.5ポイント増加、「勤め(パート・アルバイト・臨時職員(23.9%)」は前回調査(20.7%)より3.2ポイント増加している。

『回答者女性/配偶者男性』では「勤め(フルタイム・常勤)」(49.4%)は前回調査(44.1%)より5.3ポイント増加した。

①今回調査の配偶者の職業(但し、グラフから性別無回答を除く)

②前回調査の配偶者の職業



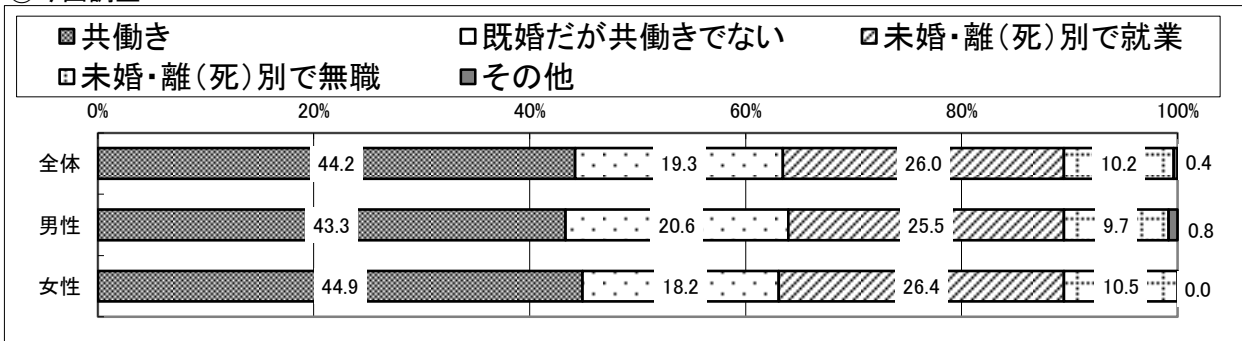
5 共働きの配偶者の職業(N=248 男性=107 女性=141)

今回調査において、回答者全体に占める共働きの割合は44.2%であった。
 前回調査(44.7%)より0.5ポイント減少している。

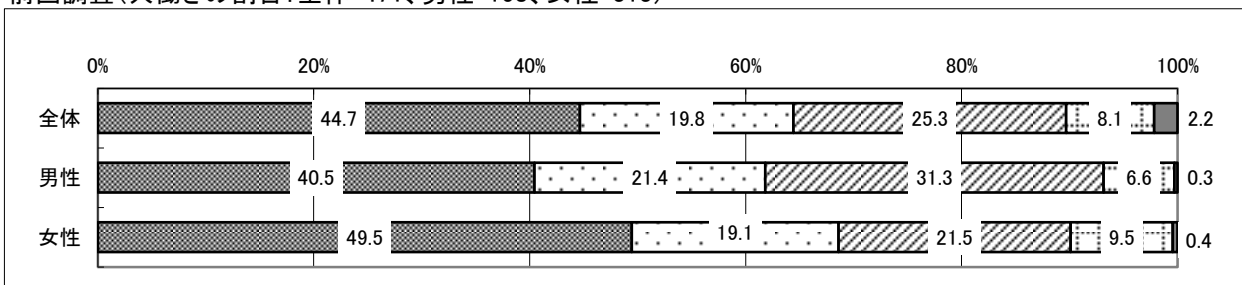
共働きの配偶者の職業の割合で最も高いのは「勤め(フルタイム・常勤)」(52.4%)であり、前回調査(48.4%)より、4.0ポイント増加している。

※『共働き』は回答者が既婚で、職業をもつ(「無職」と「無回答」を除く)ものであり、その配偶者の職業が「自営業(農林漁業)」「自営業(商工サービス業)」「自営業(自由業)」「勤め(フルタイム・常勤)」「勤め(パート・アルバイト・臨時職員など)」「内職」「その他」のいずれかであったものを示す。

① 今回調査

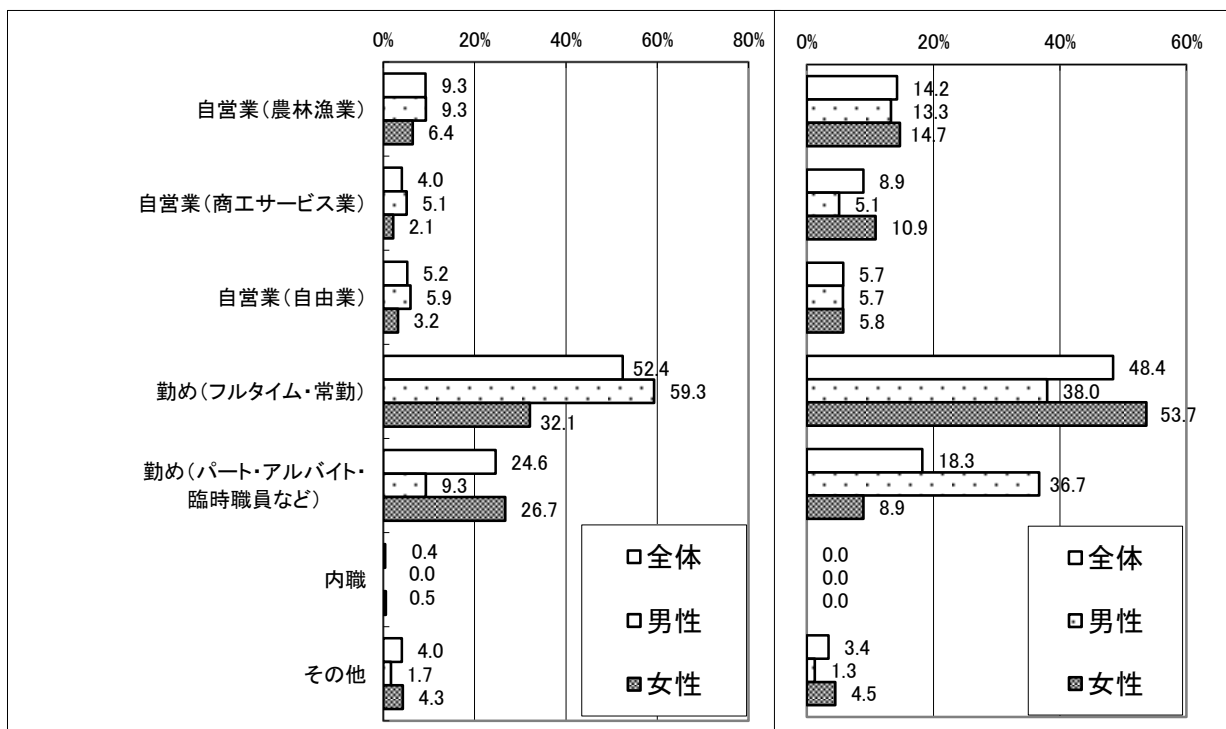


前回調査(共働きの割合: 全体=471、男性=158、女性=313)



② 共働きの配偶者職業
 今回調査

前回調査



6 家族構成

(N=644 単身世帯=54 夫婦のみ=141 二世世代世帯=262 三世世代世帯=150 その他=31 無回答=6)

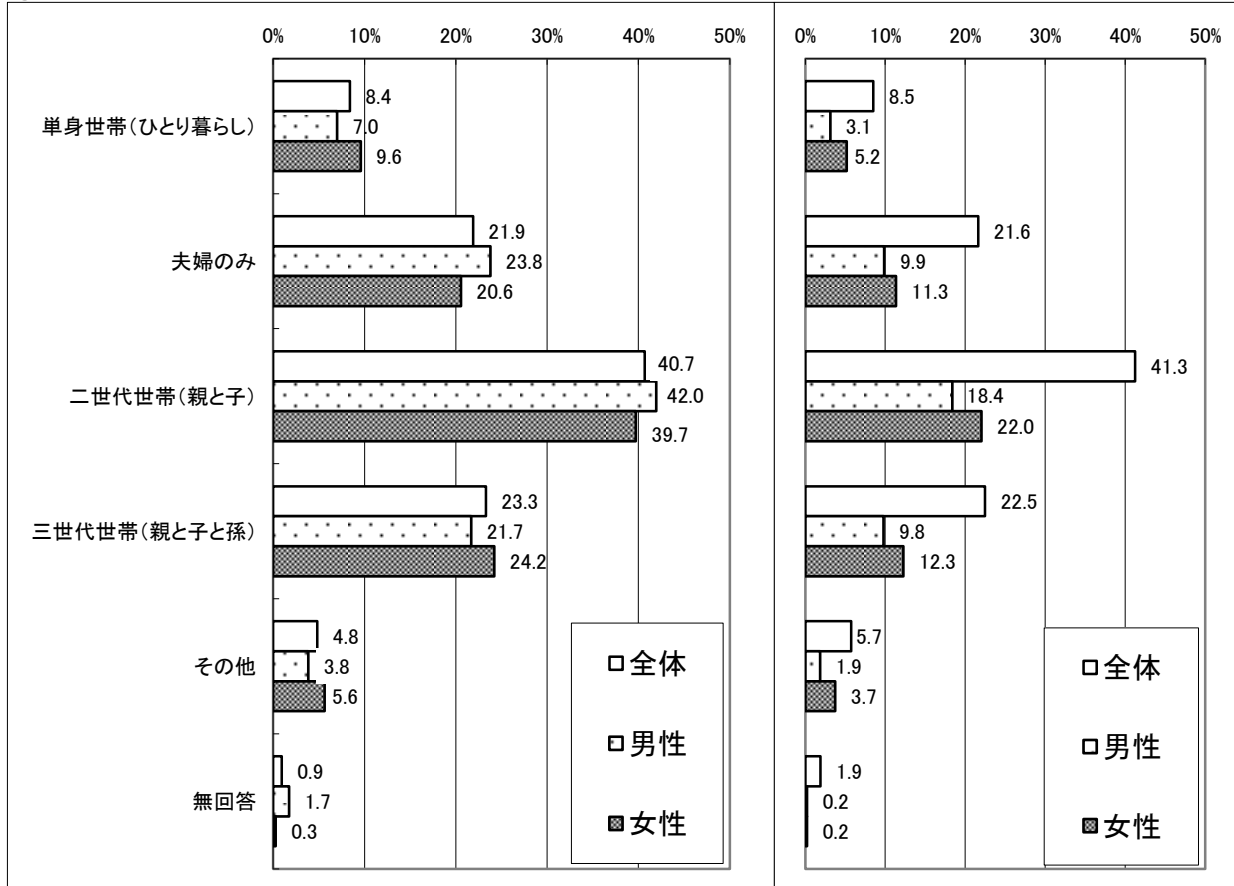
家族構成については「二世世代世帯(親と子)」(40.7%)の割合が最も高く、次いで「三世世代世帯(親と子と孫)」(23.3%)、「夫婦のみ」(21.9%)と続く。

この傾向は前回調査と同様である。

前回調査と比較すると、「二世世代世帯(親と子)」(40.7%)は0.6ポイント減少し、「三世世代世帯(親と子と孫)」(23.3%)は0.8ポイント増加、「夫婦のみ」(21.9%)は0.3ポイント増加している。

①今回調査(但し、グラフから性別無回答を除く)

②前回調査(全体=943、男性=416、女性=527、性不明=19)



7 子どもの有無

(N=644 いる=163 いない=472 無回答=9)

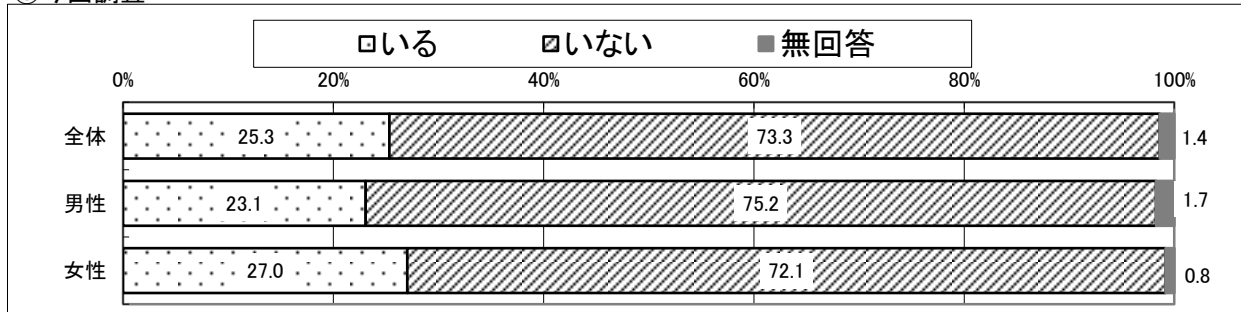
未成年の子どもが「いる」ものは全体の25.3%、「いない」ものは73.3%であった。

前回調査と比較すると「いる」(25.3%)は1.1ポイント減少、「いない」(73.3%)は3.3ポイント増加している。

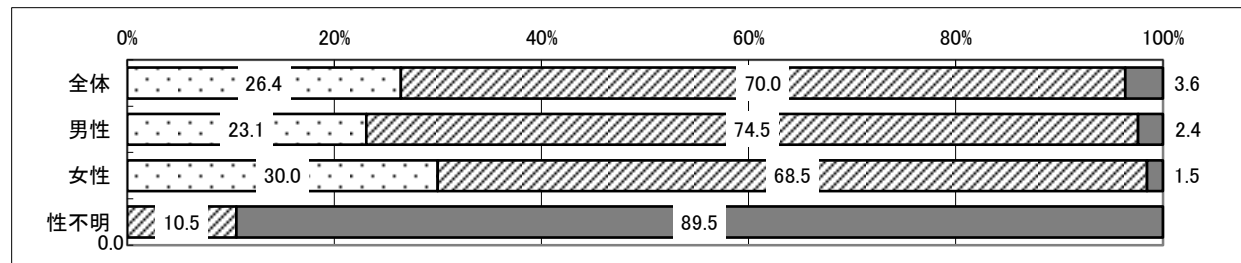
年代別にみると、未成年の子どもが「いる」と回答したものの割合が最も高いのは「40歳代」(60.0%)であり、次いで「30歳代」(52.1%)、「50歳代」(25.4%)と続く。

この傾向は前回調査と同様である。

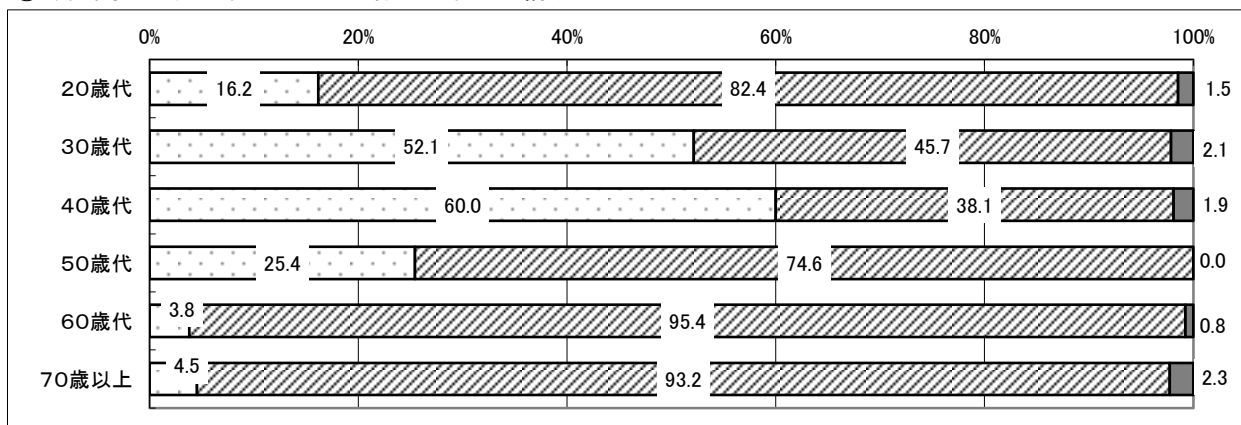
①今回調査



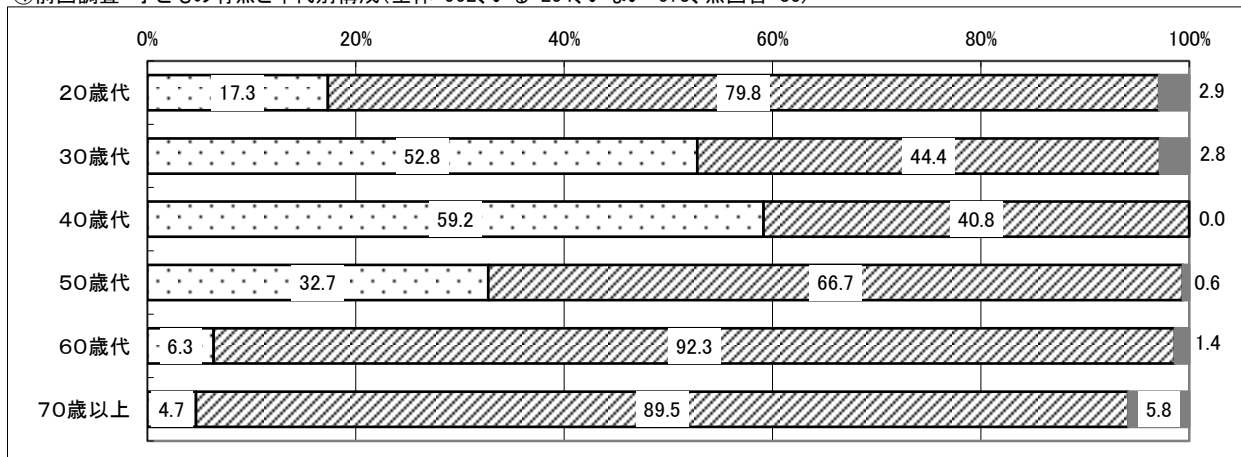
②前回調査(全体=962、いる=254、いない=673、無回答=35)



③今回調査 未成年の子どもの有無と年代別構成



④前回調査 子どもの有無と年代別構成(全体=962、いる=254、いない=673、無回答=35)



8 未成年の子どもが「いる」と回答したものの子どもの人数と末子の年齢

(N=163 3歳未満=22 3歳以上就学前=42 小学生=40 中学生=16 それ以上=42 無回答=1)

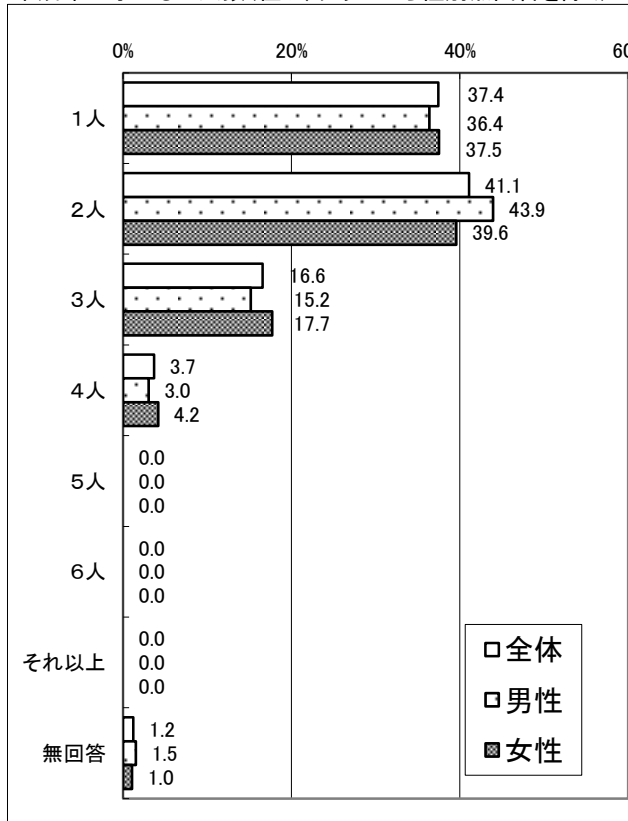
未成年の子ども的人数は、「2人」(41.4%)の割合が最も高く、次いで「1人」(37.4%)、「3人」(16.6%)と続く。

この傾向は前回調査と同様である。

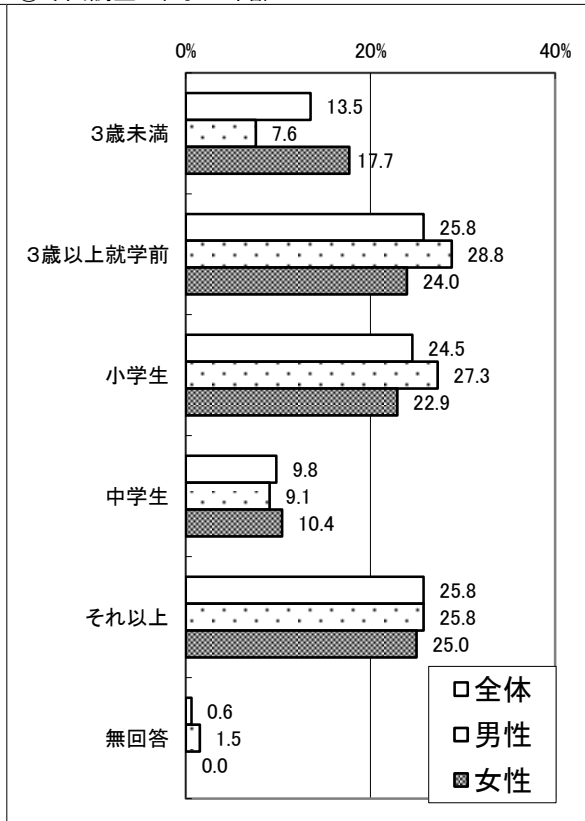
一番下の子の年齢については、「3歳以上就学前」(25.8%)、「それ以上」(25.8%)の割合が最も高く、次いで、「小学生」(24.7%)と続く。前回調査と比較すると「3歳以上就学前」(25.8%)は前回調査(11.4%)より14.4ポイント増加し、「3歳未満」(13.5%)は前回調査(20.9%)より7.4ポイント減少している。

①今回調査

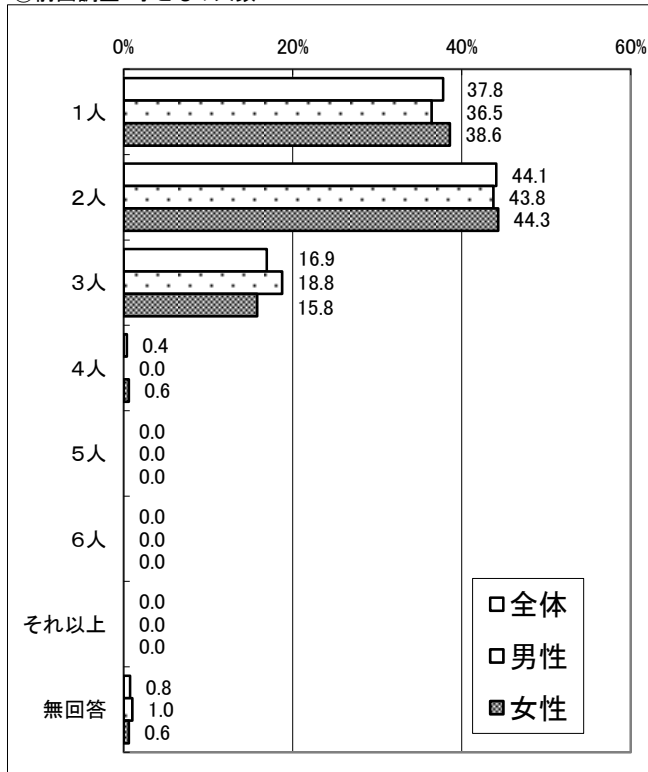
未成年の子ども的人数(但し、グラフから性別無回答を除く)



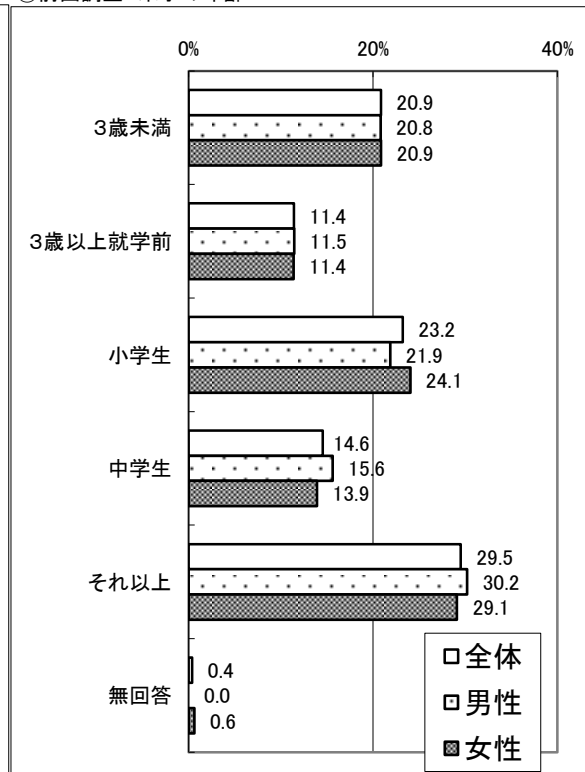
②今回調査 末子の年齢



③前回調査 子ども的人数



④前回調査 末子の年齢



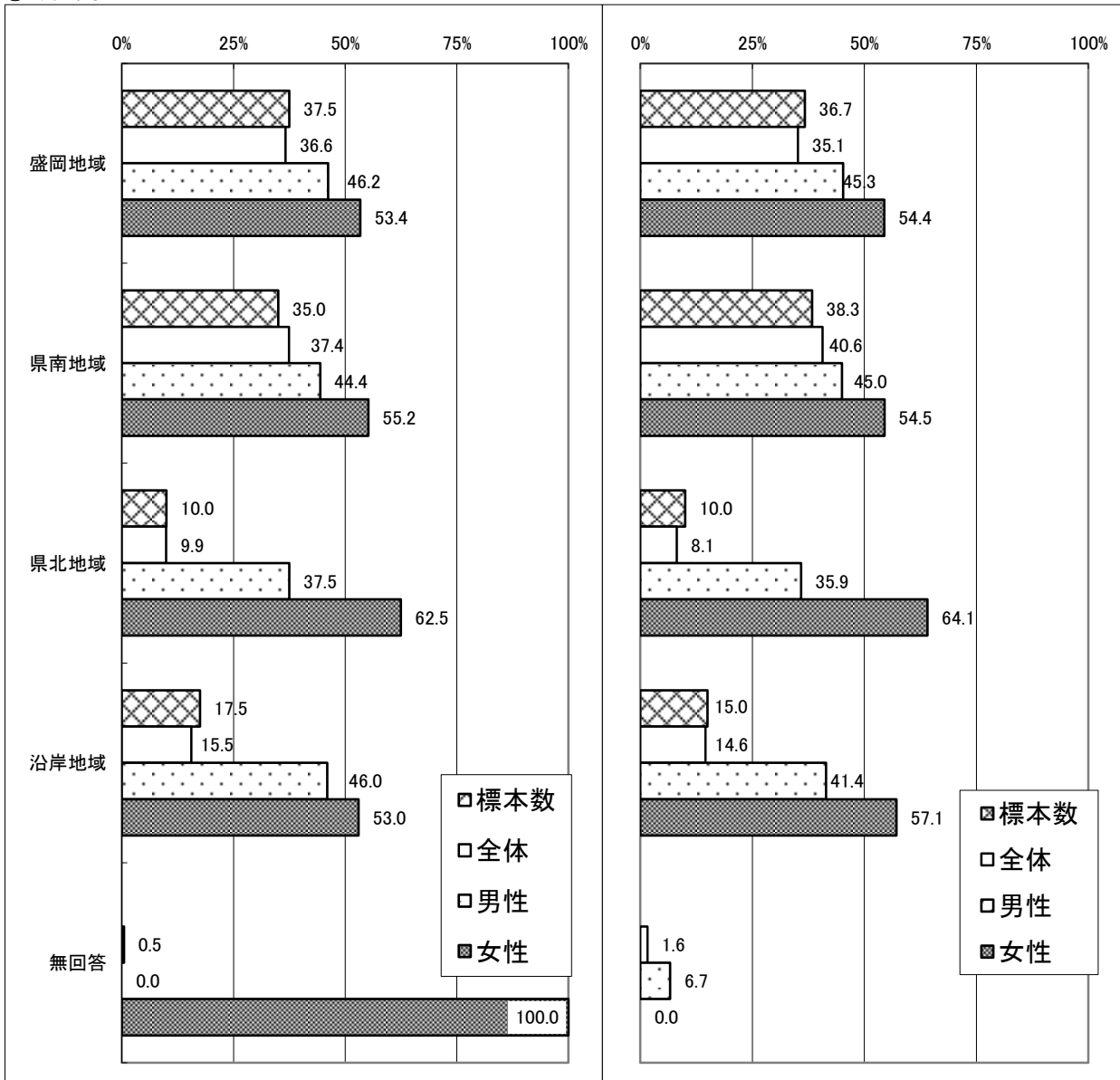
9 住んでいる地域 (N=644 男性=286 女性=355 その他=2 性別無回答=1)

住んでいる地域について、標本数の割合よりも高かったのは「県南地域」(37.4%)であり、その他の地域については標本数よりも低い割合である。

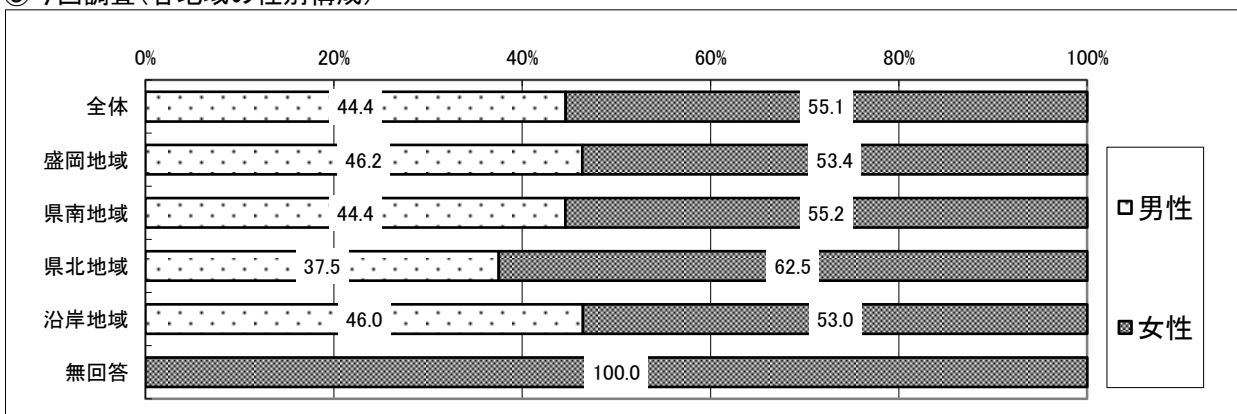
各地域の性別構成については、すべての地域において、男性よりも女性の割合の方が高かった。県北地域においては、男性(37.5%)よりも女性(62.5%)の方が25.0ポイント高く、これは他地域よりも大きな差であり、前回調査と同様の傾向である。

①今回調査

②前回調査(全体=962、男性=416、女性=527、性不明=19)



③今回調査(各地域の性別構成)



以降、「Ⅲ 調査テーマによる分析」からはその他、性別無回答者の回答を表記から除く。

Ⅲ 調査テーマによる分析

1 男女平等について

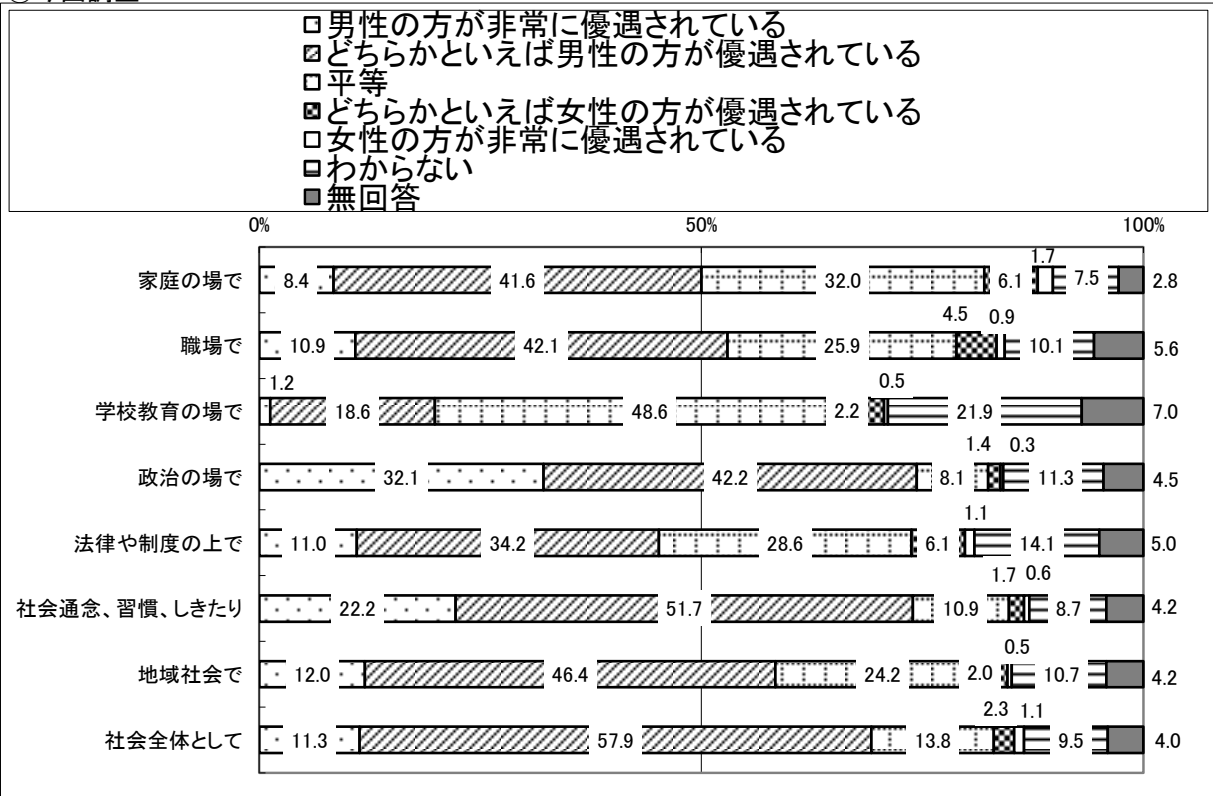
問1 あなたは今の社会で、次のような各分野で男女の地位が平等になっていると思いますか。
 次の①～⑧の項目ごとに1～6の中から1つずつ選んで○をつけてください。
 (N=644 男性=286 女性=355 その他=2 性別無回答=1)

※「男性の方が非常に優遇されている」または「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答したものを『男性が優遇されている』、「女性の方が非常に優遇されている」または「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と回答したものを『女性が優遇されている』とする。

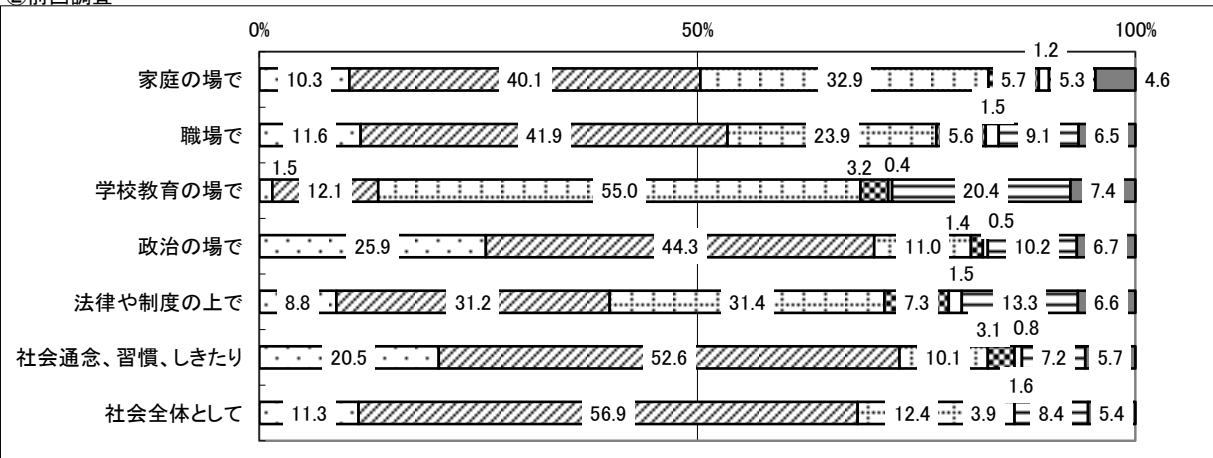
「地域社会で」は平成30年度調査より新たに追加された項目である。
 男女平等について、全体をみると『男性が優遇されている』と回答したものの割合が低いのは「学校教育の場で」(19.8%)と「法律や制度の上で」(45.2%)である。それ以外の分野においてはすべて『男性が優遇されている』と回答したものが半数を超えている。

これは前回調査と同様の傾向である。
 前回調査と比較すると、「学校教育の場で」『男性が優遇されている』と回答したもの(19.8%)は、前回調査(13.6%)より6.2ポイント増加し、「政治の場で」『男性が優遇されている』と回答したもの(74.3%)は、前回調査(70.2%)より4.1ポイント増加、「社会全体として」『男性が優遇されている』と回答したもの(69.2%)は、前回調査(68.2%)より1.0ポイント増加した。
 「職場で」『男性が優遇されている』と回答したもの(53.0%)は、前回調査(53.5%)よりも0.5ポイント減少した。

①今回調査



②前回調査



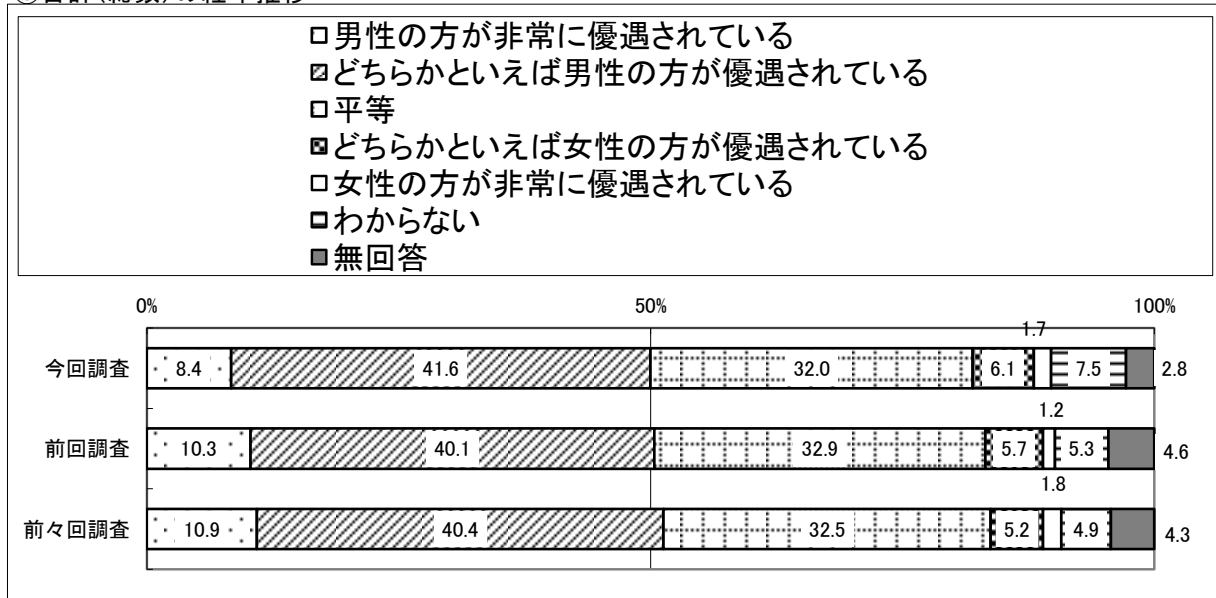
(1)家庭の場で

家庭の場で『男性が優遇されている』と回答したものは50.0%、『女性が優遇されている』と回答したものは7.8%である。

『男性が優遇されている』(50.0%)と回答したものは、前回調査(50.4%)より0.4ポイントとわずかに減少した。この項目は前回調査においても減少しており、減少傾向で推移している。

『平等』と回答したものは32.0%であり、前回調査より0.9ポイント減少した。

①合計(総数)の経年推移



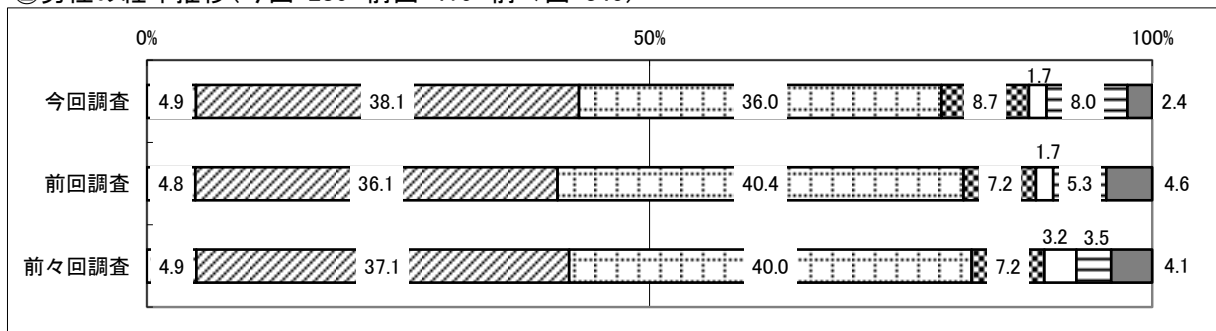
男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものは43.0%である。

前回調査(40.9%)より2.1ポイント増加した。

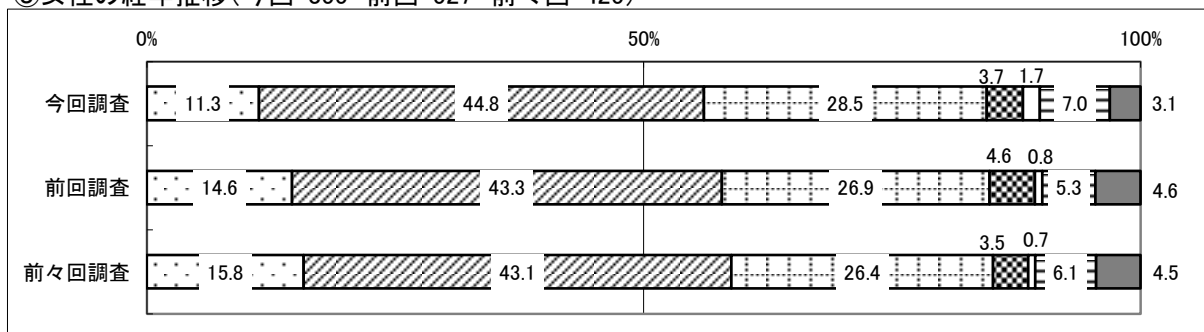
女性で『男性が優遇されている』と回答したものは56.1%である。

前回調査(57.9%)より1.8ポイント減少、前々回調査(58.9%)より2.8ポイント減少しており、減少傾向であるが、依然として過半数を超えるものが『男性が優遇されている』と回答している。

②男性の経年推移(今回=286 前回=416 前々回=345)



③女性の経年推移(今回=355 前回=527 前々回=425)

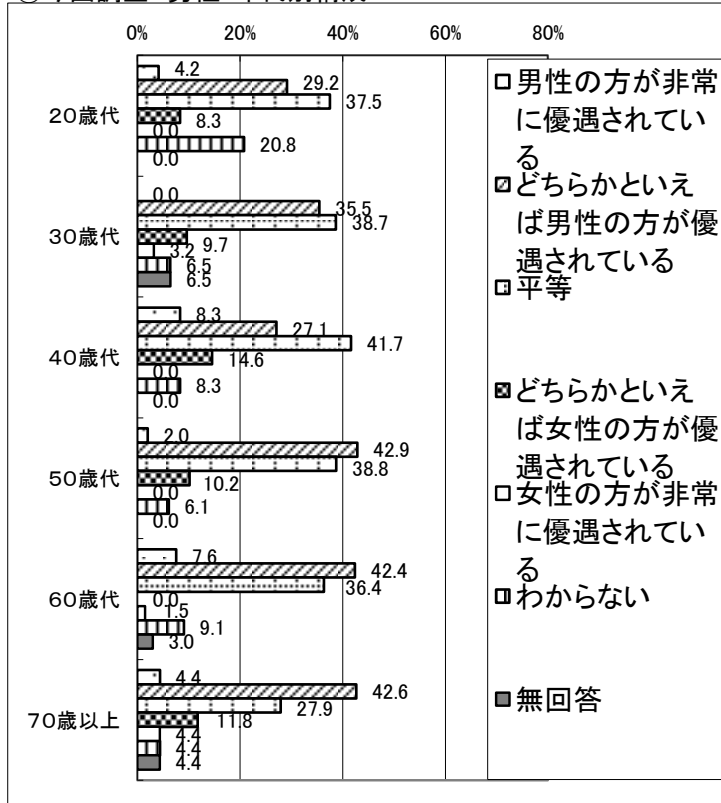


性別・年代別に見ると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高いのは「60歳代」(50.0%)であり、次いで「70歳以上」(47.0%)、「50歳代」(44.9%)と続く。前回調査と比較して最も差が大きかったのは「70歳以上」(47.0%)であり、前回調査(34.1%)より12.9ポイント増加している。

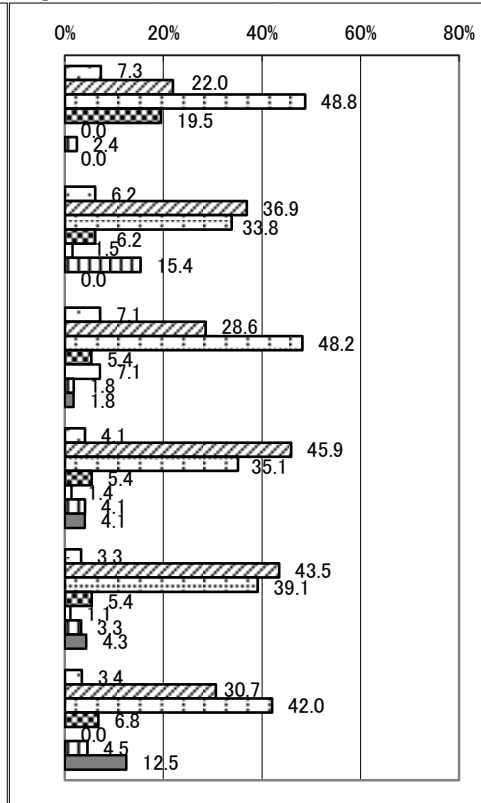
女性で『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高いのは「60歳代」(64.6%)であり、次いで「50歳代」(61.6%)、「40歳代」(55.4%)と続く。

「平等」と回答した年代の割合が最も高いのは、男性は「40歳代」(41.7%)、女性は「30歳代」(34.9%)である。

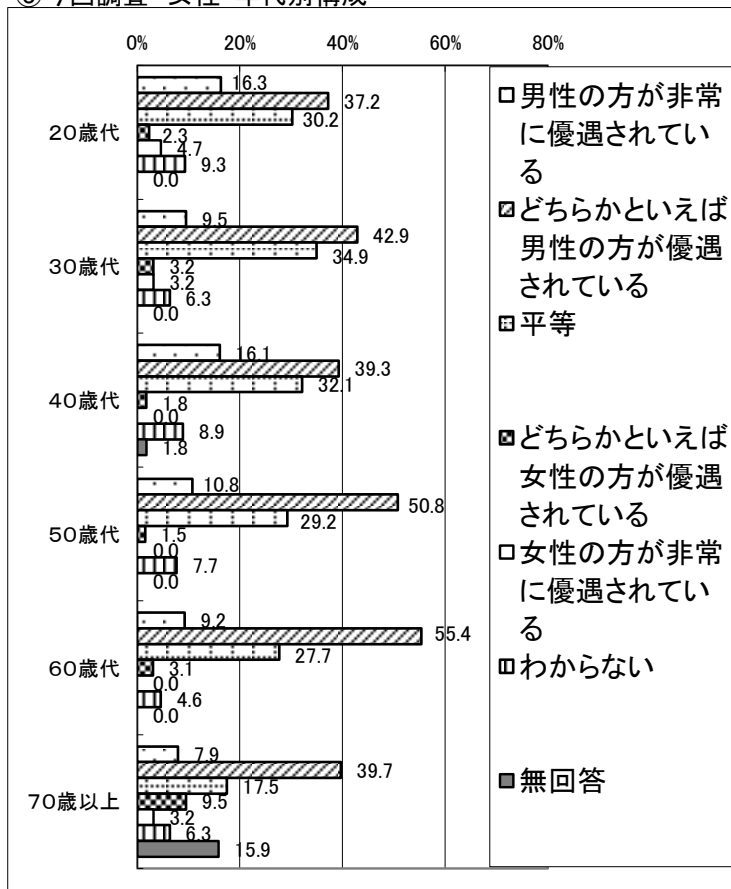
④今回調査 男性・年代別構成



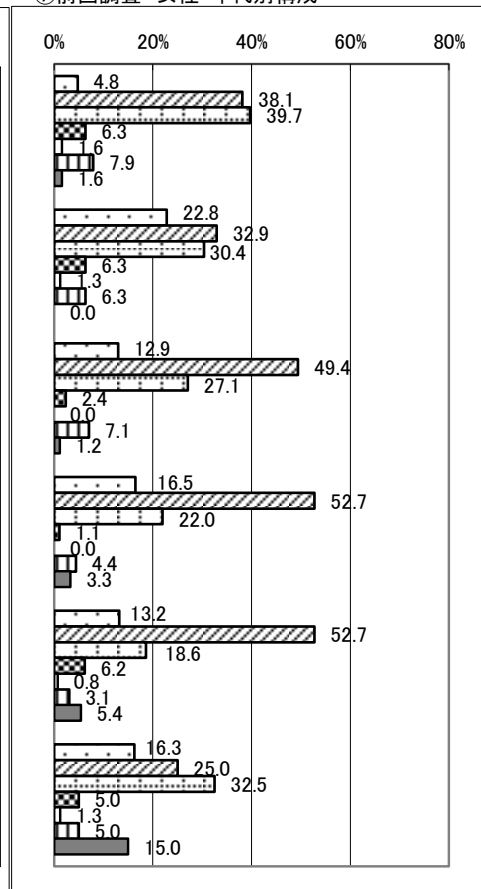
⑤前回調査 男性・年代別構成



⑥今回調査 女性・年代別構成

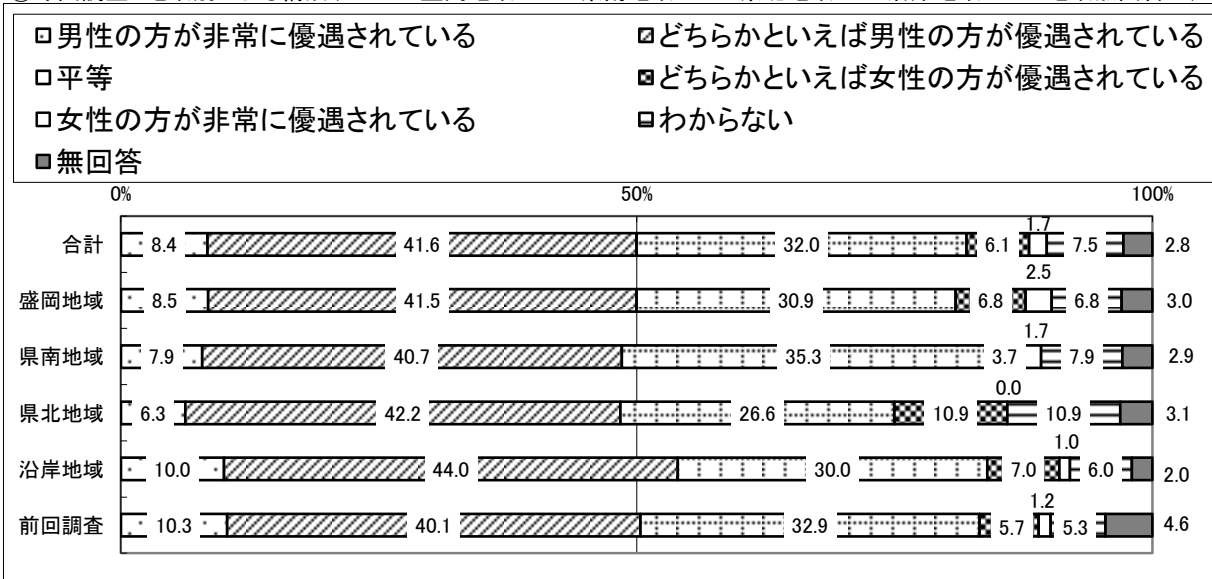


⑦前回調査 女性・年代別構成



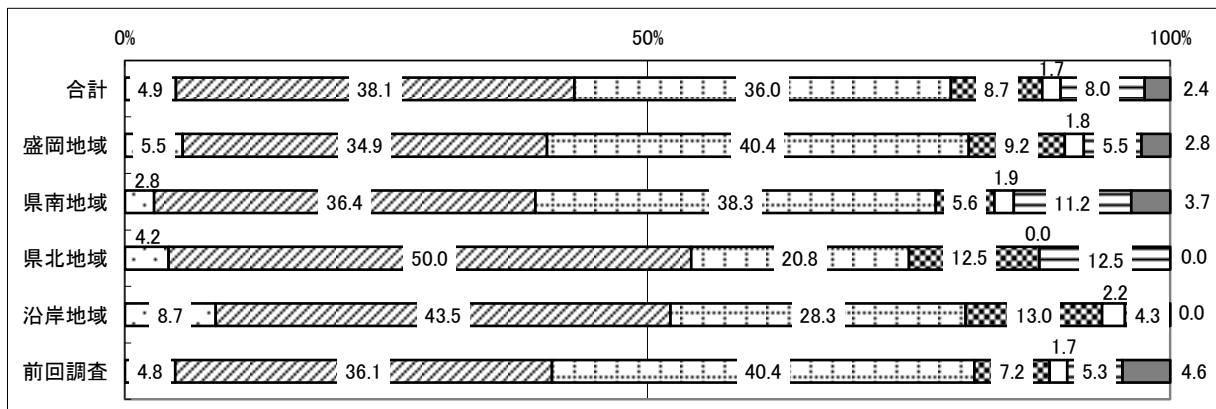
地域別にみると、『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高かったのは「沿岸地域」(54.0%)であり、前回調査(50.0%)より4ポイント増加した。
 「県北地域」では、『男性が優遇されている』と回答したものの割合は48.5%で、前回調査(53.8%)より5.3ポイント減少した。

⑧今回調査 地域別による構成(N=644 盛岡地域=236 県南地域=241 県北地域=64 沿岸地域=100 地域無回答=3)

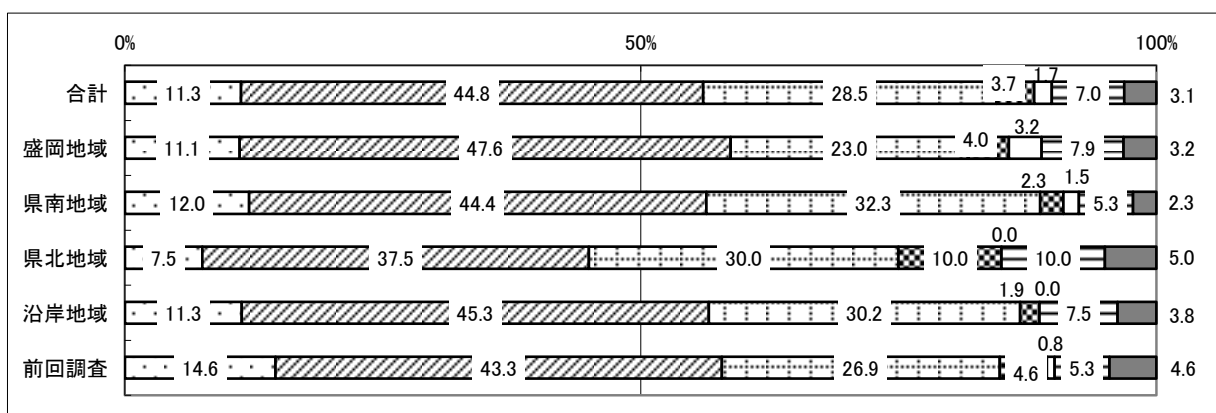


地域別・男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものが多かった地域は県北地域(54.2%)であり、前回調査(42.9%)より11.3ポイントと大幅に増加した。
 女性で『男性が優遇されている』と回答したものが多かった地域は「盛岡地域」(58.7%)である。
 少なかった地域は「県北地域」(45.0%)であり、前回調査(60.0%)より15ポイントと大幅に減少した。

⑨今回調査 男性の地域別構成



⑩今回調査 女性の地域別構成



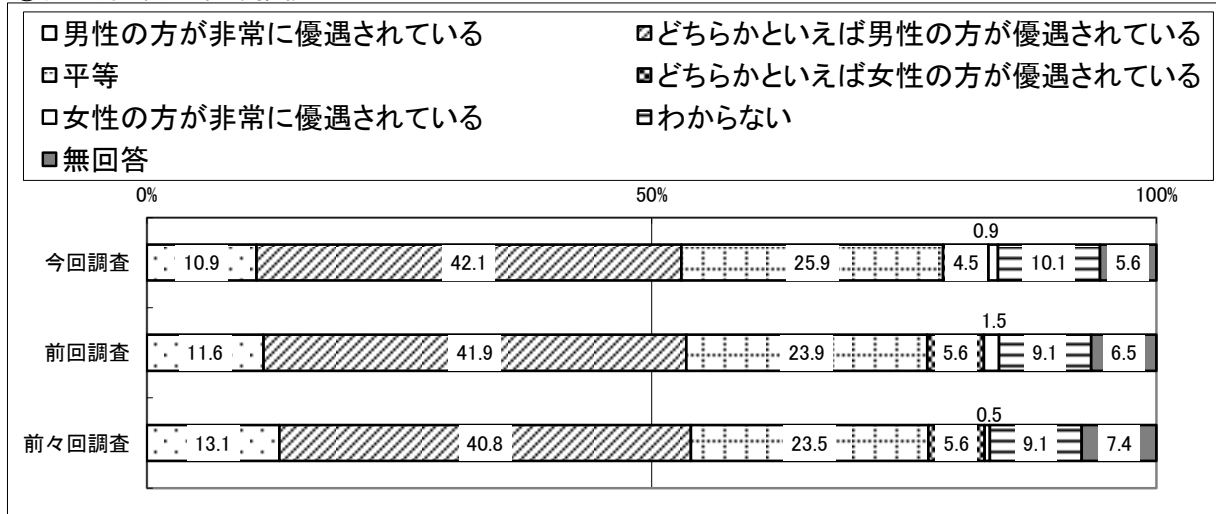
(2)職場で

職場で『男性が優遇されている』と回答したものは53.0%、『女性が優遇されている』と回答したものは5.4%である。

『男性が優遇されている』(53.0%)と回答したものは、前回調査(53.5%)より0.5ポイントとわずかに減少した。前回調査においても減少しており、減少傾向で推移している。

「平等」と回答したものは25.9%であり、前回調査より2.0ポイント増加した。

①合計(総数)の経年推移



男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものは53.2%である。

前回調査(50.9%)より2.3ポイント減少している。

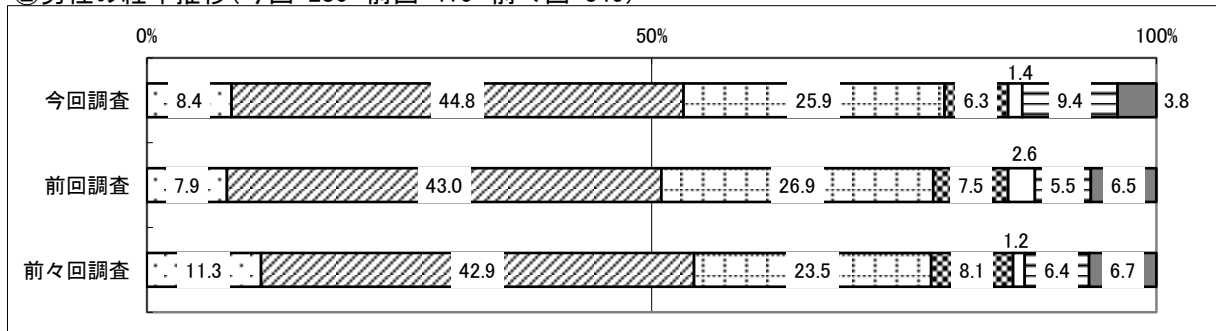
「平等」と回答したものは25.9%であり、前回調査(26.9%)より1.0ポイント減少した。

女性で『男性が優遇されている』と回答したものは53.0%である。

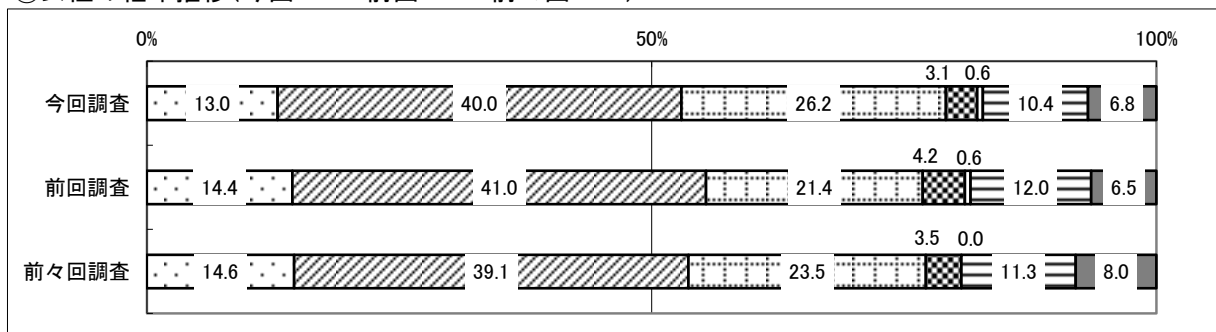
前回調査(55.4%)より2.4ポイント減少している。

「平等」と回答した男性(25.9%)は前回調査(26.9%)と比較して大きな差はないが、女性(26.2%)は前回調査(21.4%)より4.8ポイント増加した。

②男性の経年推移(今回=286 前回=416 前々回=345)

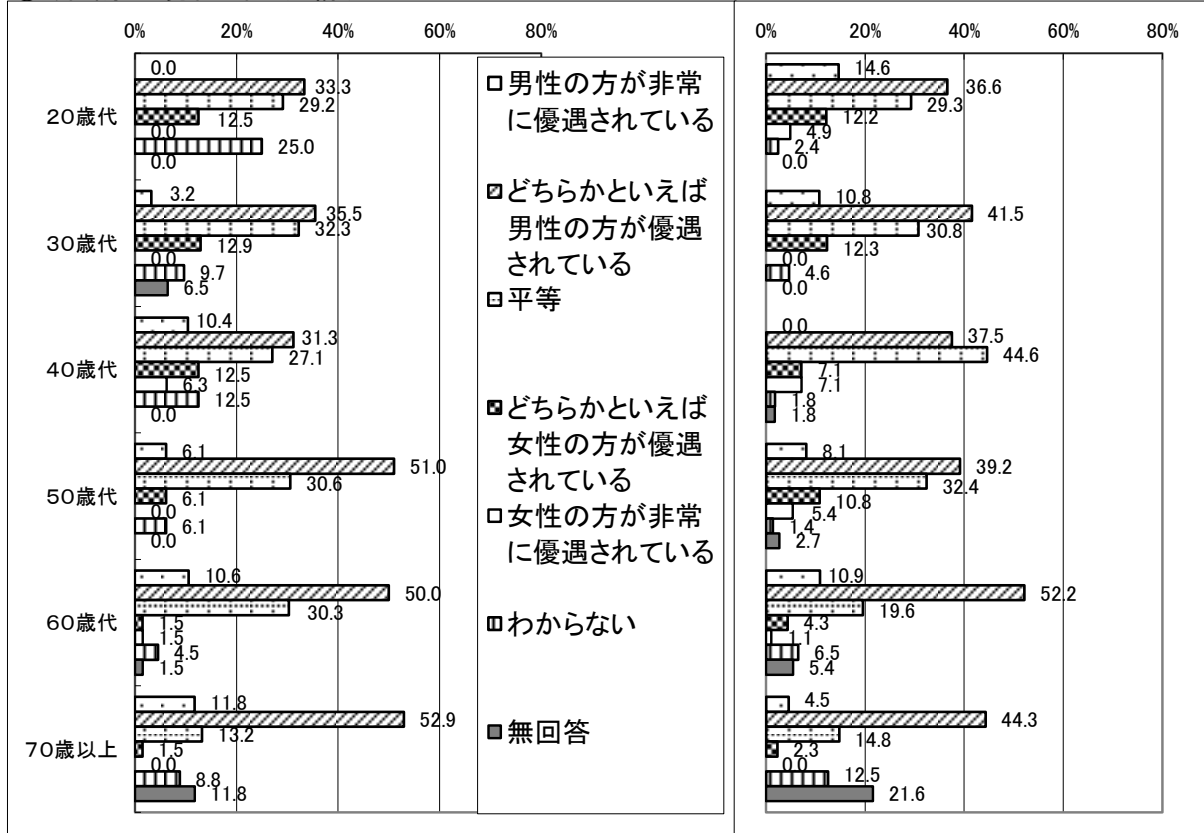


③女性の経年推移(今回=355 前回=527 前々回=425)

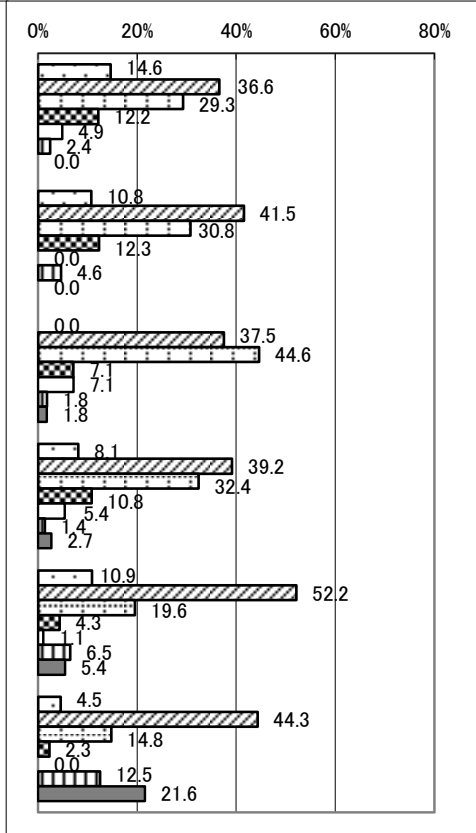


性別・年代別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高いのは「70歳以上」(64.7%)であり、次いで「60歳代」(60.6%)、「50歳代」(57.1%)と続く。
 前回調査と比較して最も差が大きかったのは「20歳代」(33.3%)であり、前回調査(51.2%)より17.9ポイントと大幅に減少している。
 女性で『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高いのは「60歳代」(64.6%)であり、次いで「40歳代」(58.9%)、「50歳代」(55.4%)と続く。
 『男性が優遇されている』と回答したもので、年代別で最も男女差が大きかったのは「40歳代」であり、男性(41.7%)と女性(58.9%)では、女性の方が17.2ポイント高い。

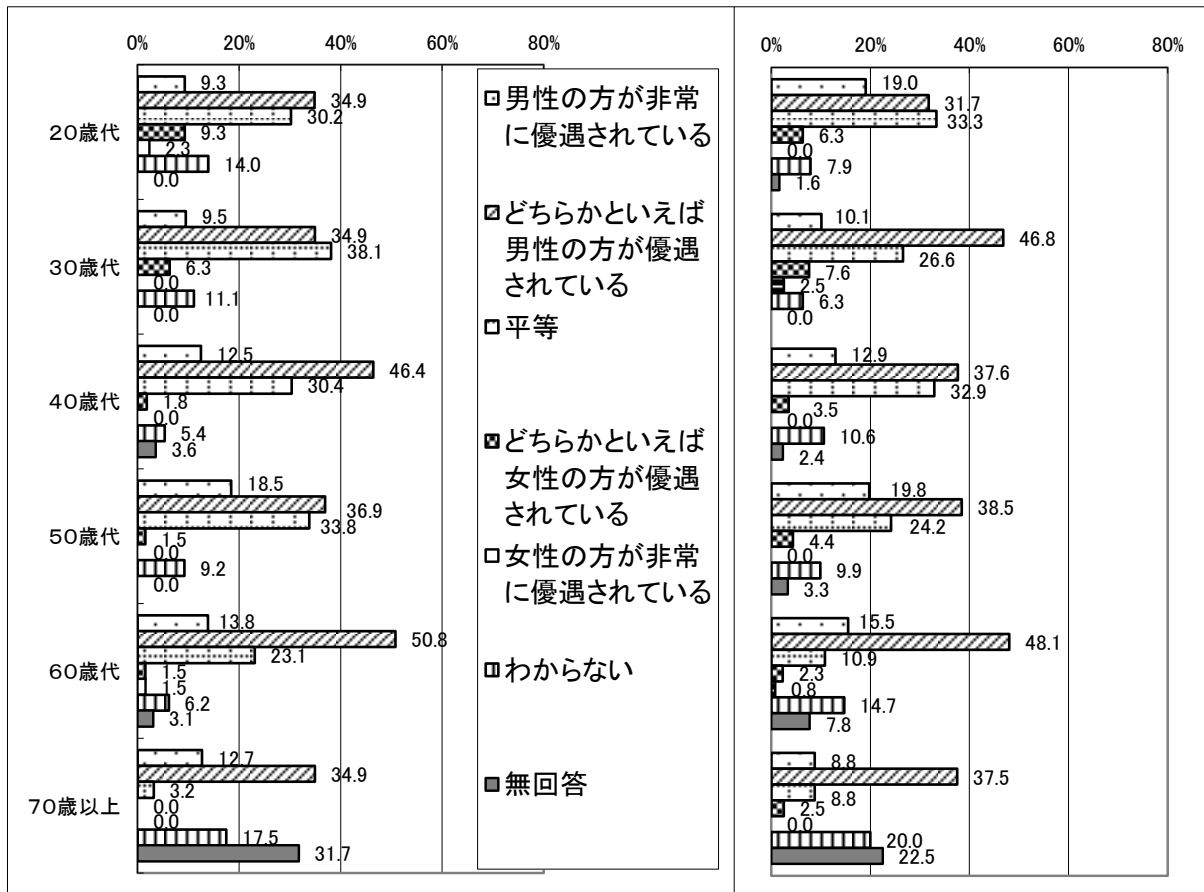
④今回調査 男性・年代別構成



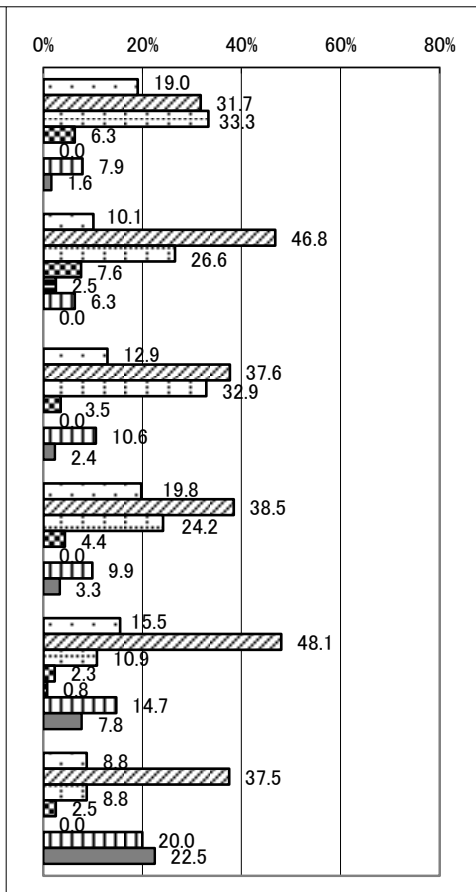
⑤前回調査 男性・年代別構成



⑥今回調査 女性・年代別構成

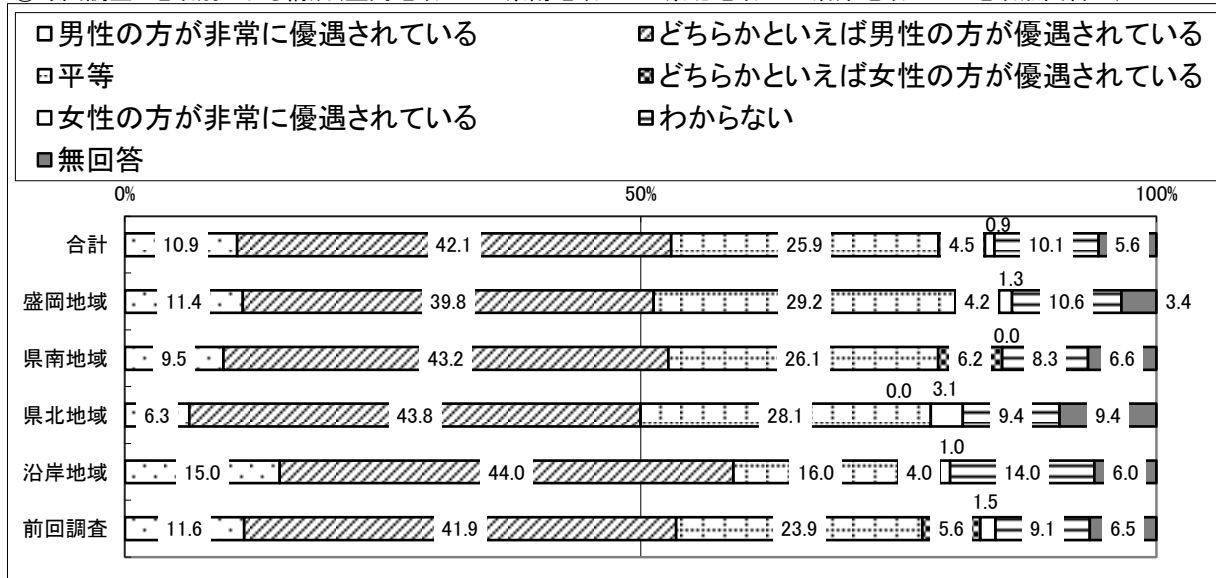


⑦前回調査 女性・年代別構成



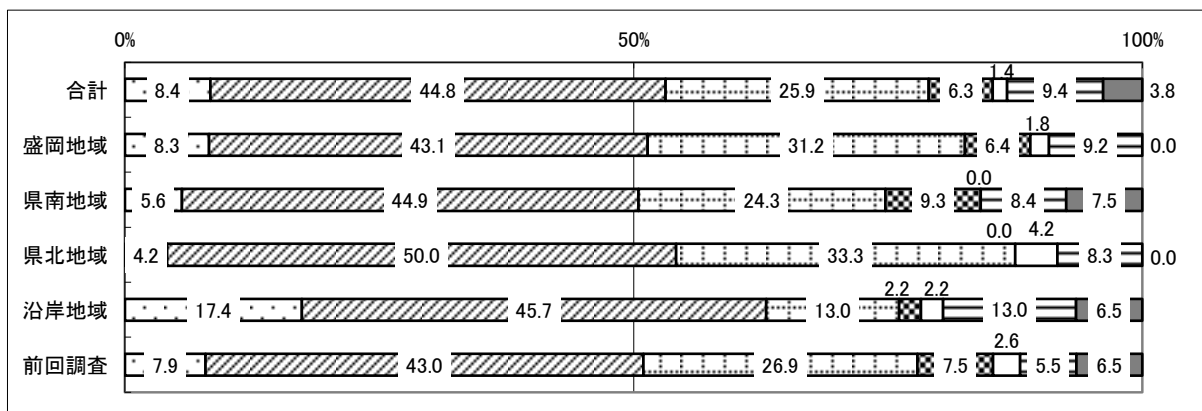
地域別にみると『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高かったのは「沿岸地域」(59.0%)であり、次いで「県南地域」(52.7%)、「盛岡地域」(51.2%)と続く。「沿岸地域」(59.0%)は前回調査(50.8%)より8.2ポイント増加している。「平等」と回答したものの割合が最も高かったのは「盛岡地域」(29.2%)で、前回調査(22.8%)より6.4ポイント増加している。最も低かったのは「沿岸地域」(16.0%)で、前回調査(25.4%)より9.4ポイント減少している。

⑧今回調査 地域別による構成(盛岡地域=236 県南地域=241 県北地域=64 沿岸地域=100 地域無回答=3)

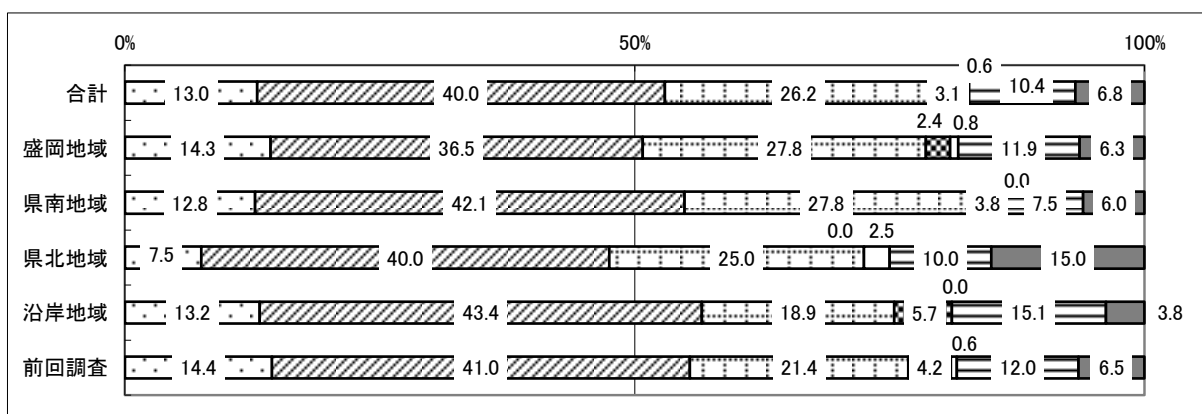


地域別・男女別にみると、『男性が優遇されている』と回答した男女共に最も高いのは「沿岸地域」であり、男性(63.1%)、女性(56.6%)である。これは前回調査(男性(46.5%)、女性(53.8%))より男性16.6ポイント、女性2.8ポイントそれぞれ増加している。「盛岡地域」で『男性が優遇されている』と回答した女性は50.8%であり、前回調査(61.5%)より10.7ポイント減少した。

⑨今回調査 男性の地域別構成



⑩今回調査 女性の地域別構成



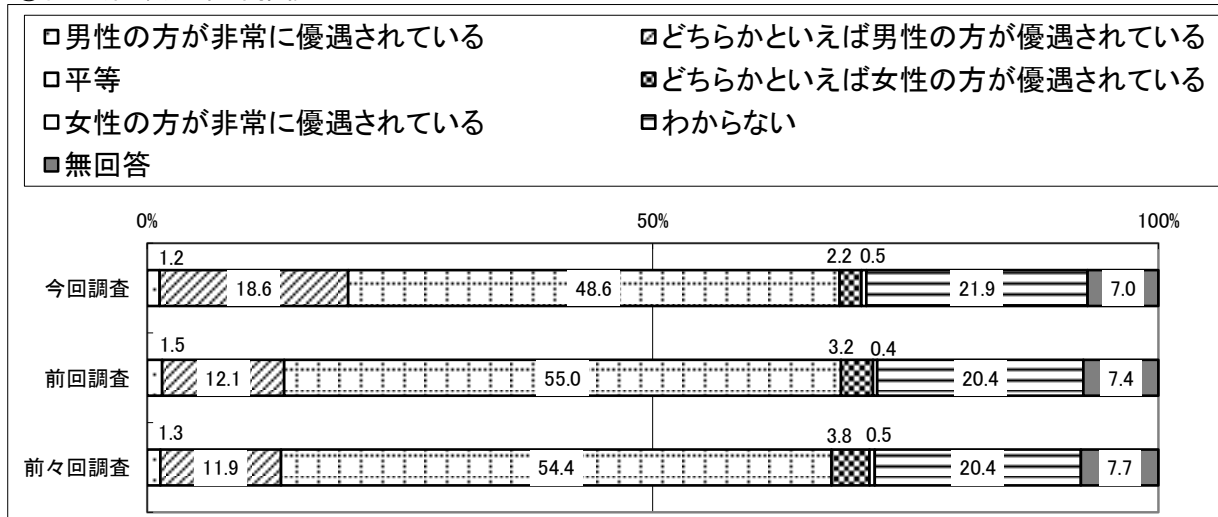
(3) 学校教育の場で

学校教育の場で『男性が優遇されている』と回答したものは19.8%、『女性が優遇されている』と回答したものは2.7%である。

『男性が優遇されている』(19.8%)と回答したものは、前回調査(13.6%)より6.2ポイント増加している。

「平等」と回答したものは48.6%であり、前回調査(55.0%)より6.4ポイント減少している。

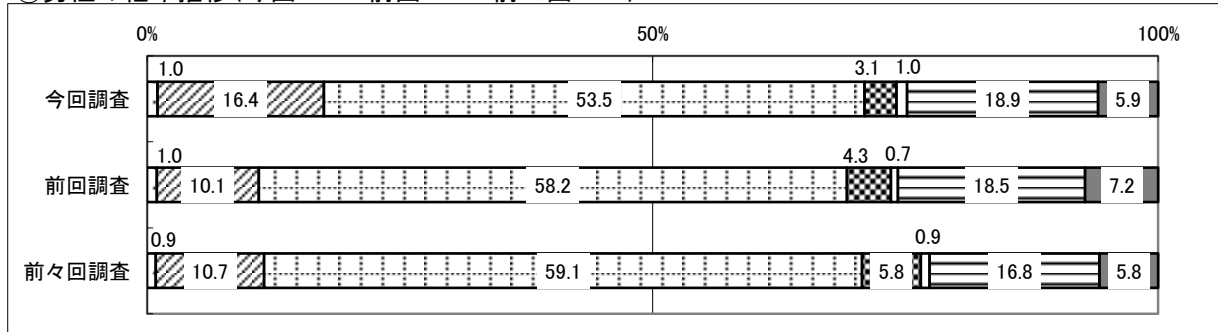
①合計(総数)の経年推移



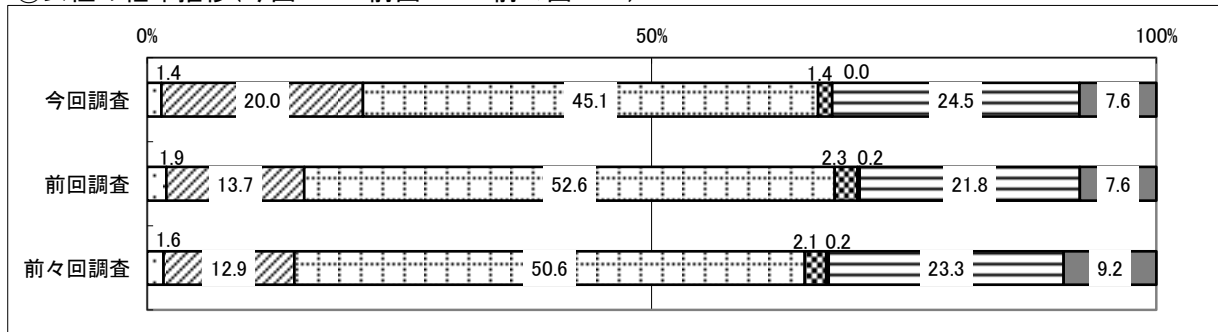
男女別にみると、『男性が優遇されている』と回答した男性は17.4%、女性は21.4%である。前回調査(男性(11.1%)、女性(15.6%))と比較すると、男性は6.3ポイント、女性は5.8ポイントそれぞれ増加している。

「平等」と回答した男性は、今回調査(53.5%)であり、前回調査(58.2%)より4.7ポイント減少している。女性は今回調査(45.1%)であり、前回調査(52.6%)より7.5ポイント減少している。男女共に減少傾向にある。

②男性の経年推移(今回=286 前回=416 前々回=345)

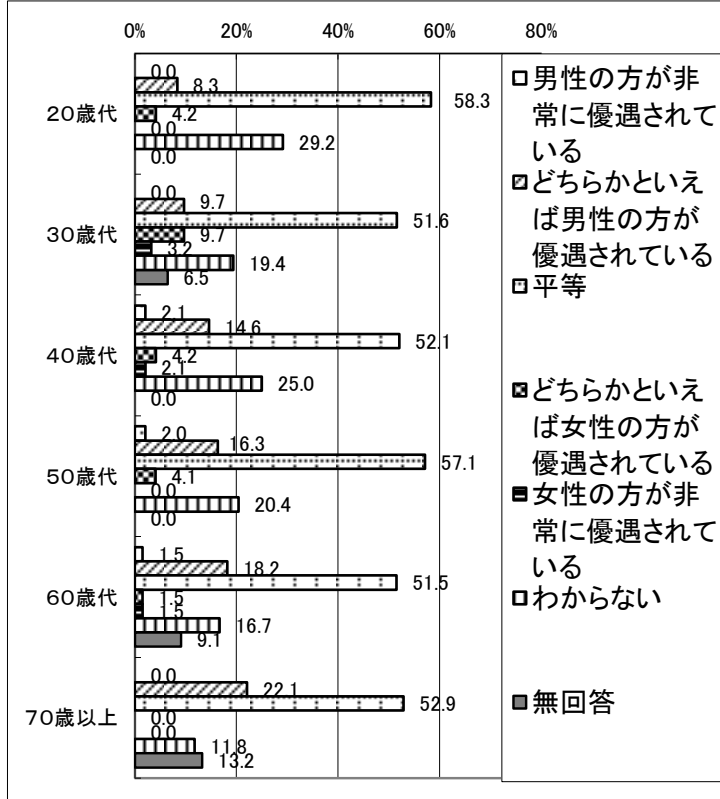


③女性の経年推移(今回=355 前回=527 前々回=425)

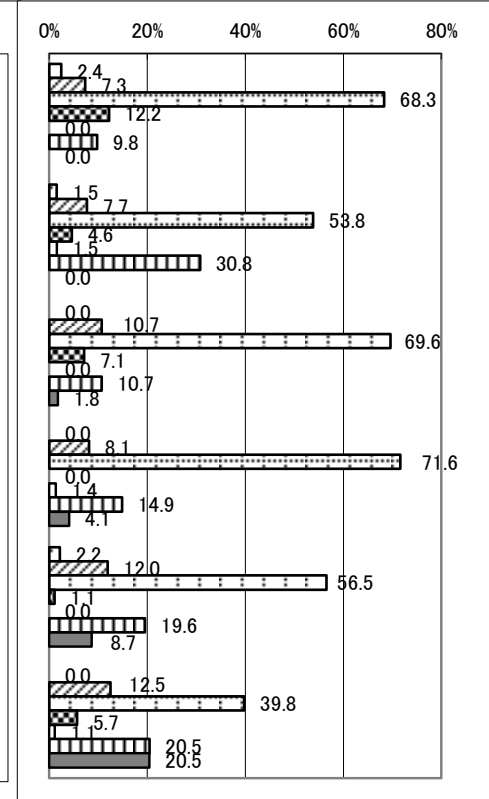


性別・年代別にみると、『男性が優遇されている』と回答した男性が最も多いのは「70歳以上」(22.1%)であり、次いで「60歳代」(19.7%)である。女性は「40歳代」(30.4%)であり、次いで「50歳代」(27.7%)であった。
 男女差が最も大きい年代は「40歳代」であり、『男性が優遇されている』と回答した男性(16.7%)と女性(30.4%)では、13.7ポイント差で女性が高かった。
 前回調査と比較すると、最も差が大きいのは女性「40歳代」(30.4%)であり、前回調査(11.7%)より18.7ポイント増加している。

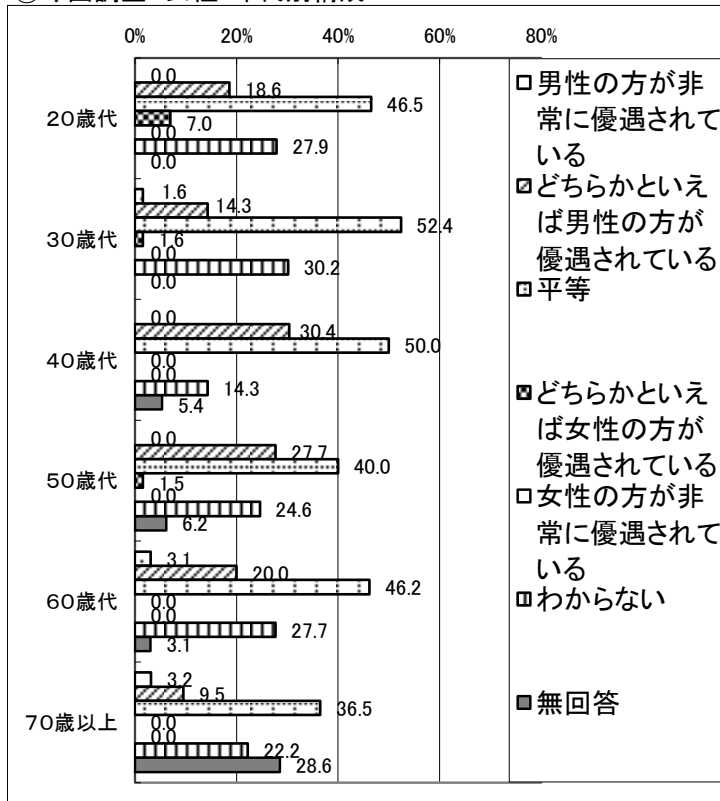
④今回調査 男性・年代別構成



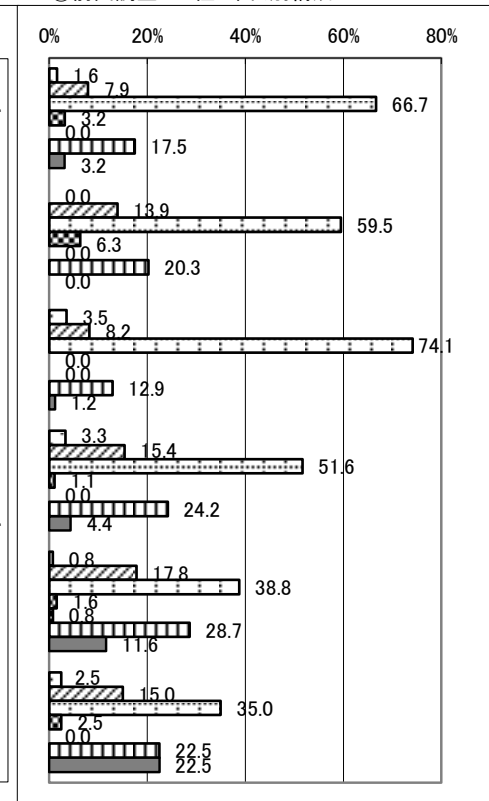
⑤前回調査 男性・年代別構成



⑥今回調査 女性・年代別構成

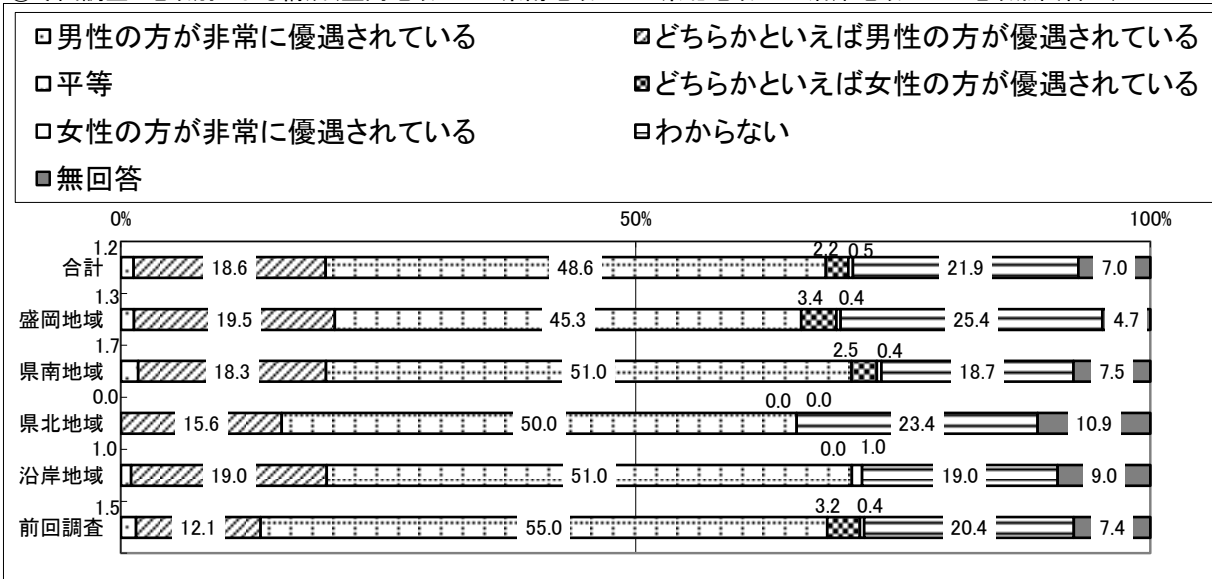


⑦前回調査 女性・年代別構成



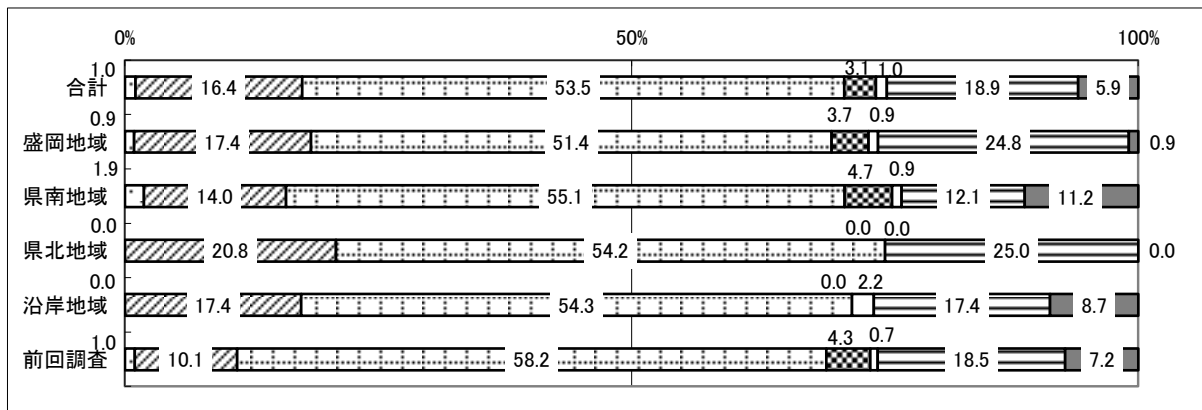
地域別にみると、『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高いのは「盛岡地域」(20.8%)であり、次いで「県南地域」(20.0%)、「沿岸地域」(20.0%)、「県北地域」(15.6%)である。前回調査と比較すると、盛岡(20.8%)は前回調査(11.9%)より、8.9ポイント、県南地域(20.0%)は前回調査(16.5%)より3.5ポイント、県北地域(15.6%)は前回調査(11.6%)より4.0ポイント、沿岸地域(20.0%)は前回調査(10.9%)より9.1ポイントそれぞれ増加している。

⑧今回調査 地域別による構成(盛岡地域=236 県南地域=241 県北地域=64 沿岸地域=100 地域無回答=3)

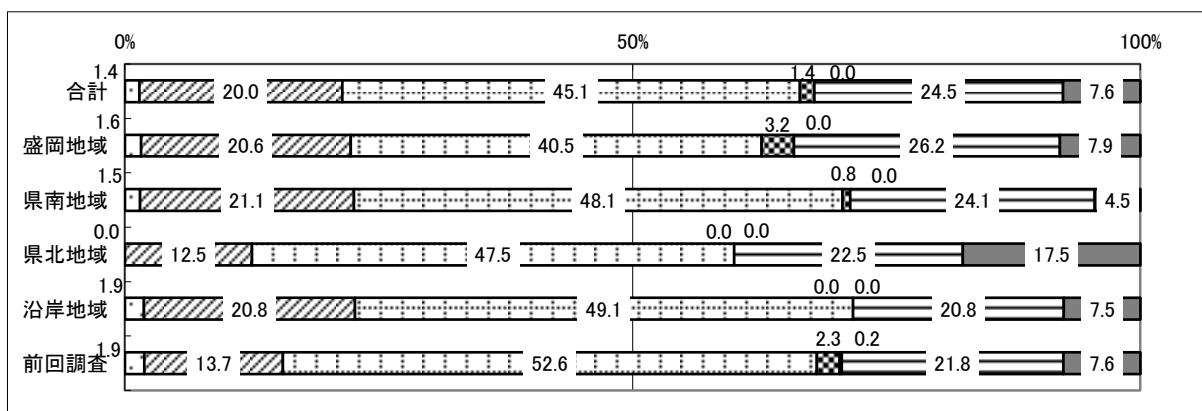


地域別・男女別にみると、『男性が優遇されている』と回答したものの割合が男性で最も高いのは、「県北地域」(20.8%)、女性では「沿岸地域」(22.7%)である。前回調査と比較し、最も差が大きいのは、男性では「県北地域」(20.8%)であり、前回調査(7.1%)より13.7ポイント増加、女性では「沿岸地域」(22.7%)であり、前回調査(12.5%)より10.2ポイント増加している。男女差が最も大きいのは「県北地域」であり、男性(20.8%)と女性(12.5%)では、男性の方が8.3ポイント高い。

⑨今回調査 男性の地域別構成



⑩今回調査 女性の地域別構成



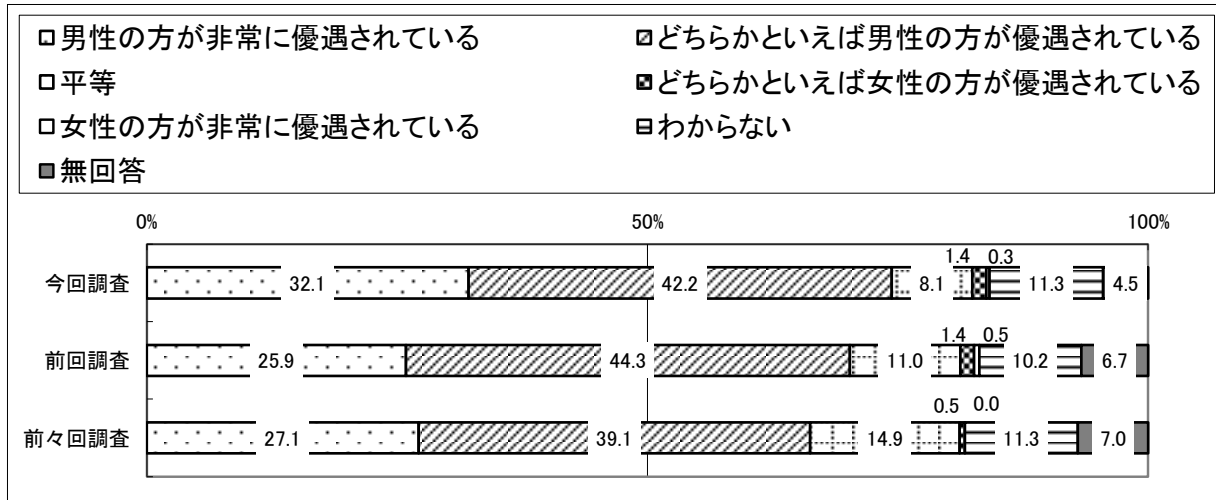
(4)政治の場で

政治の場で『男性が優遇されている』と回答したものは74.3%、『女性が優遇されている』と回答したものは1.7%である。

『男性が優遇されている』(74.3%)と回答したものは、前回調査(70.2%)より4.1ポイント増加している。

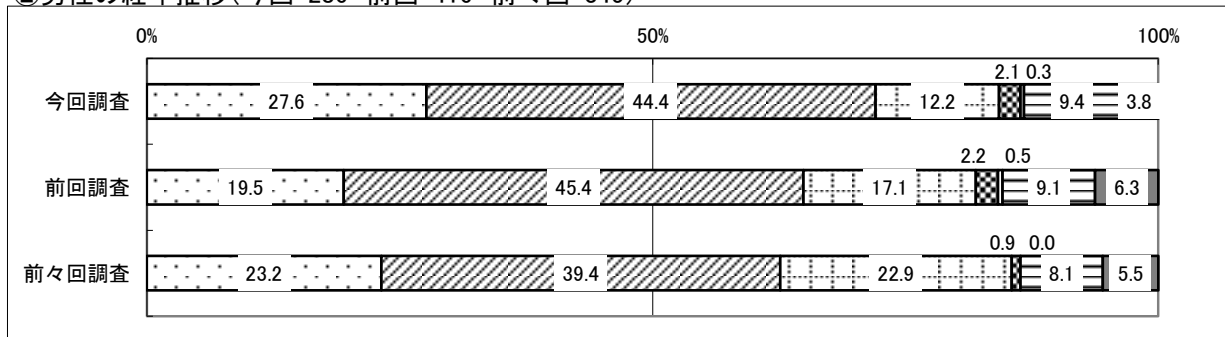
「平等」と回答したものは8.1%であり、前回調査(11.0%)より2.9ポイント減少した。前回調査においても減少しており、減少傾向で推移している。

①合計(総数)の経年推移

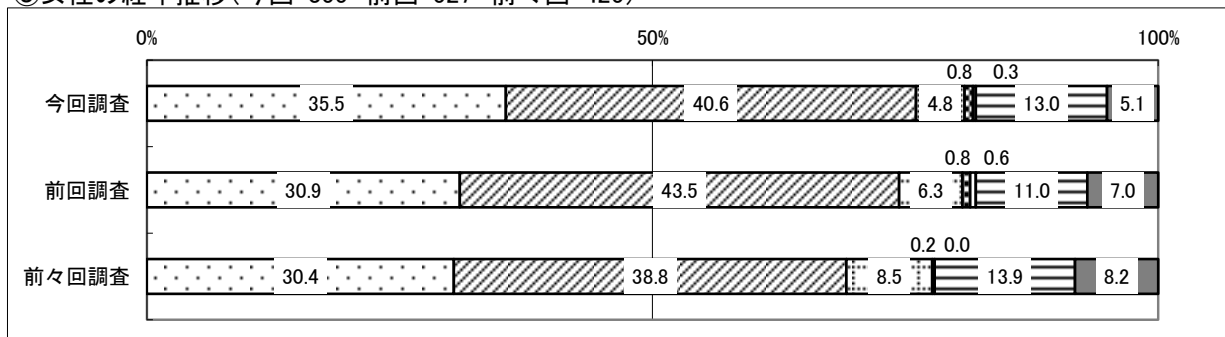


男女別にみると、『男性が優遇されている』と回答したものは、男性では72.0%、女性では76.1%であった。前回調査と比較すると、男女共に増加していることが分かるが、特に男性(72.0%)は前回調査(64.9%)より7.1ポイントと大きく増加した。
「平等」と回答したものは男性12.2%、女性4.8%であり、男女共に前回調査(男性17.1% 女性6.3%)より減少しており、減少傾向で推移している。

②男性の経年推移(今回=286 前回=416 前々回=345)

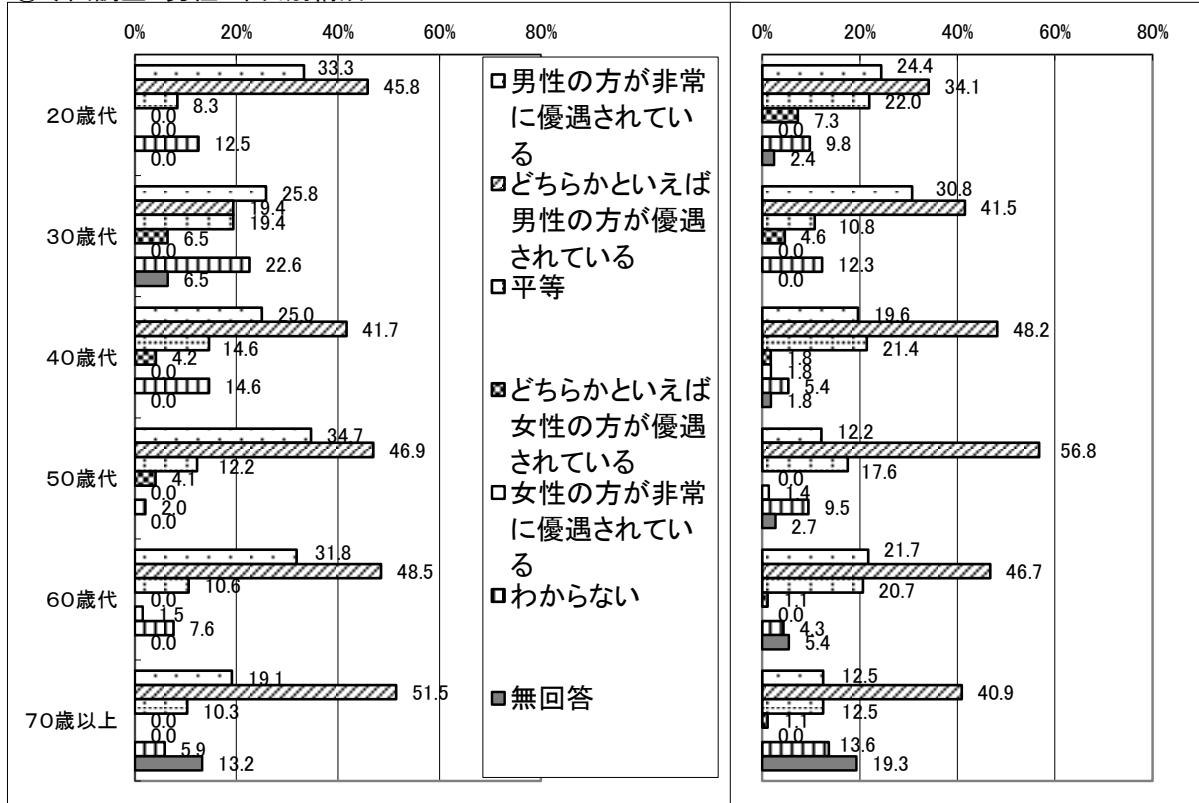


③女性の経年推移(今回=355 前回=527 前々回=425)

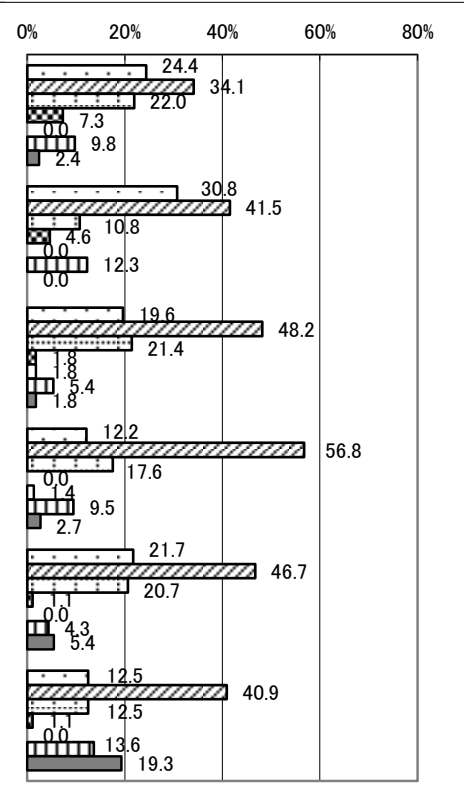


年代別・男女別にみると、『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高いのは、男性では「50歳代」(81.6%)、次いで「60歳代」(80.3%)、「20歳代」(79.1%)と続く。女性では、「60歳代」(87.7%)が最も高く、次いで「40歳代」(83.9%)、「50歳代」(81.5%)と続く。
男女差が最も大きい年代は「30歳代」であり、男性(45.2%)と女性(74.6%)では、女性の方が29.4ポイント高い。

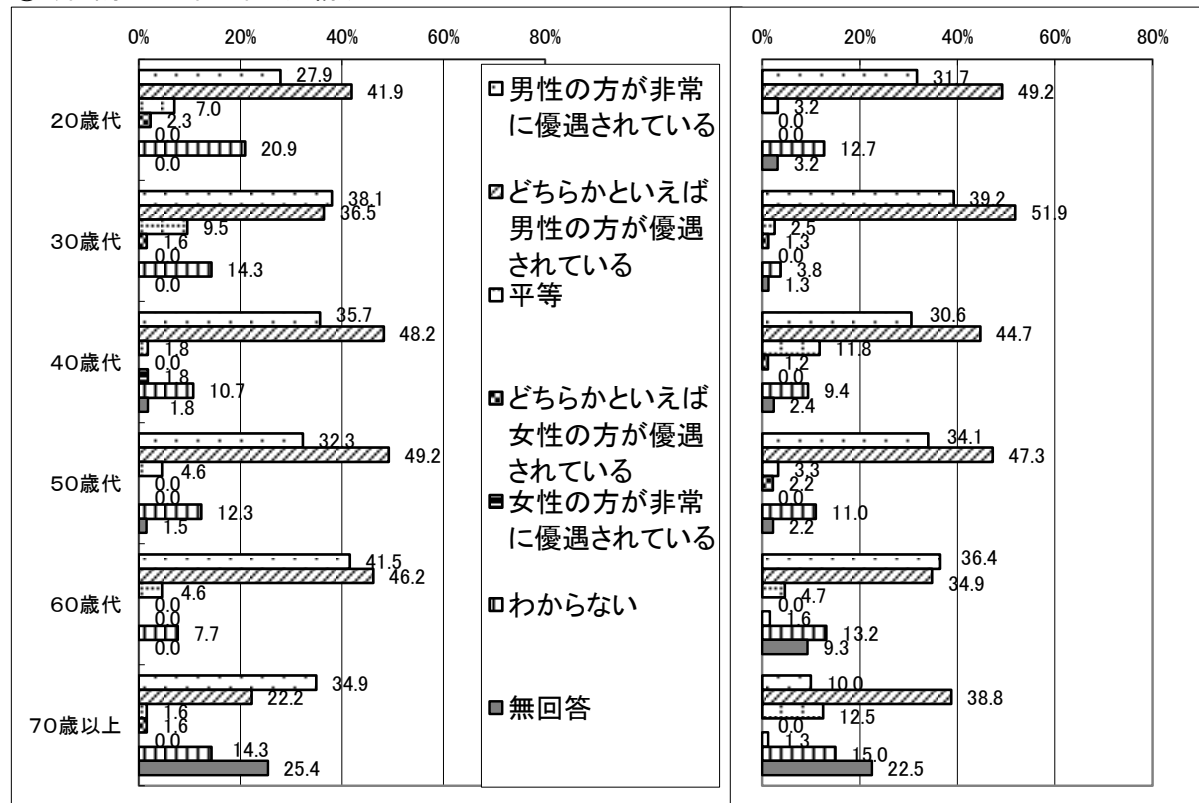
④今回調査 男性・年代別構成



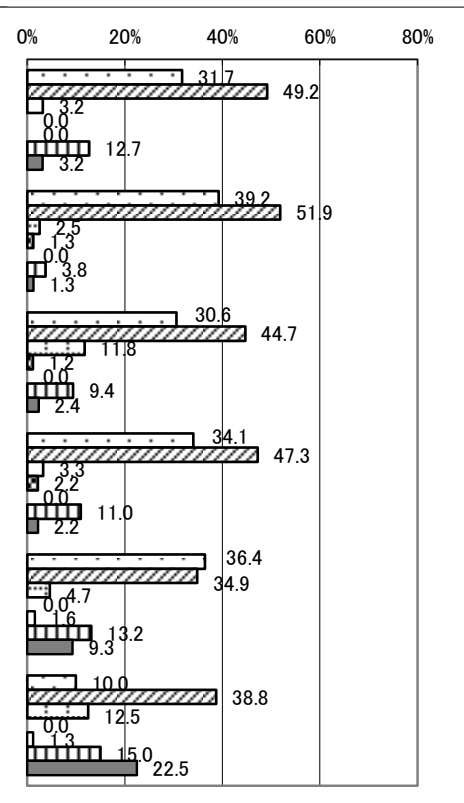
⑤前回調査 男性・年代別構成



⑥今回調査 女性・年代別構成

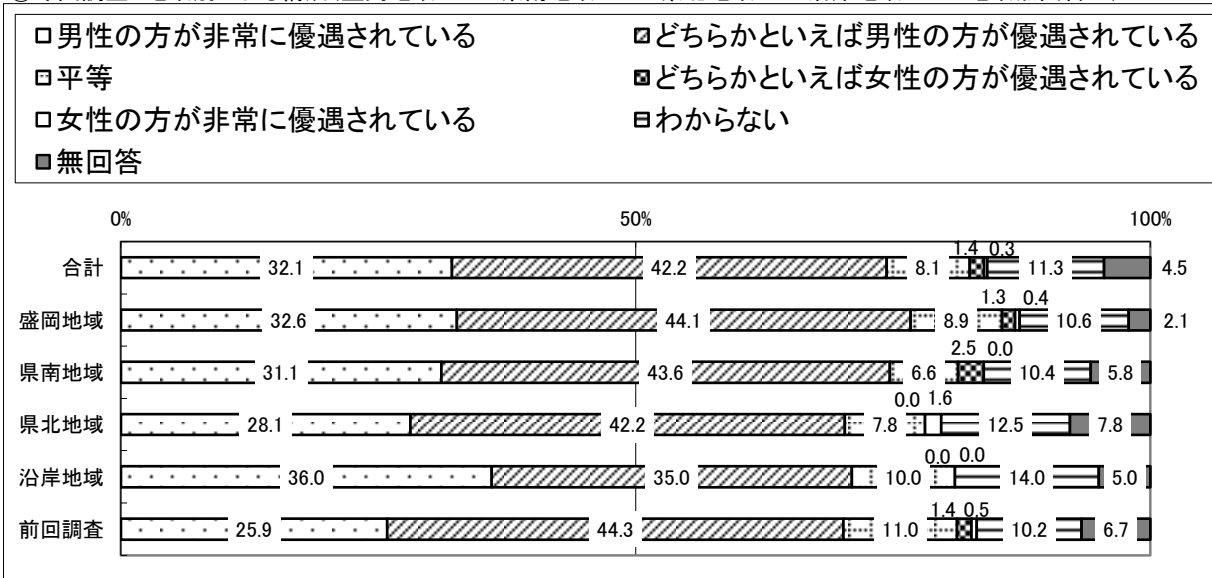


⑦前回調査 女性・年代別構成



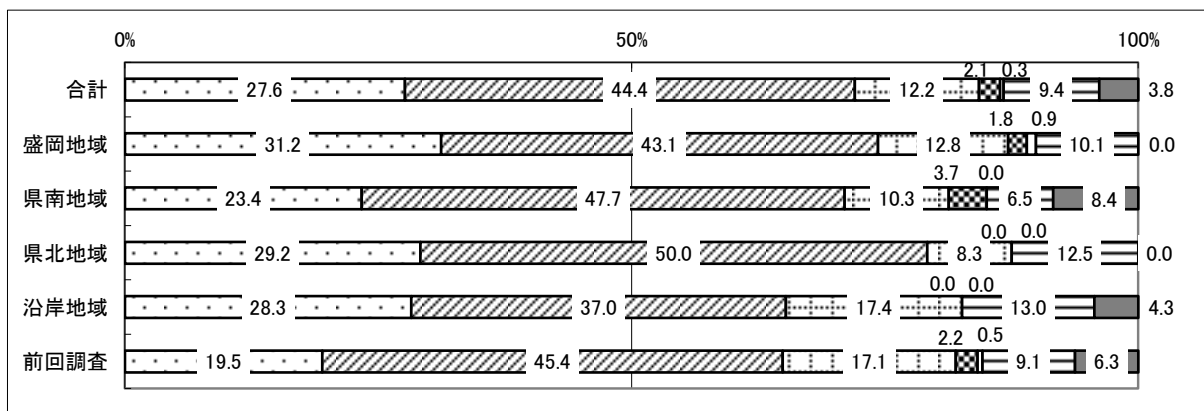
地域別にみると、『男性が優遇されている』と回答したものは「盛岡地域」(76.7%)が最も高く、次いで「県南地域」(74.7%)、「沿岸地域」(71.0%)、「県北地域」(70.3%)であり、全ての地域で7割を超えている。
「平等」と回答したものの差が最も大きいのは「沿岸地域」(10.0%)と、「県南地域」(6.6%)であり、沿岸地域の方が3.4ポイント高い。

⑧今回調査 地域別による構成(盛岡地域=236 県南地域=241 県北地域=64 沿岸地域=100 地域無回答=3)

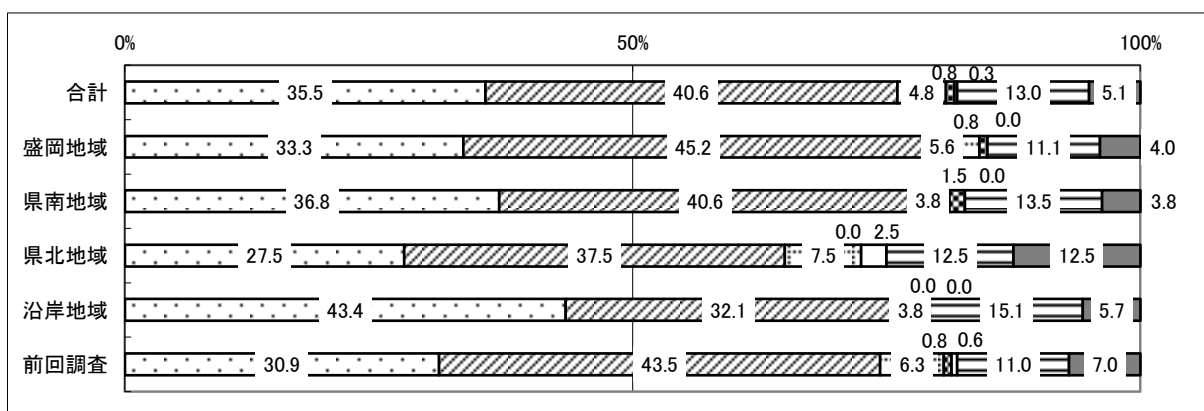


地域別・男女別にみると、『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高いのは、男性では「県北地域」(79.2%)であり、女性では「盛岡地域」(78.5%)である。
前回調査と比較し、最も差が大きいのは男性では「県北地域」(79.2%)であり、前回調査(57.2%)より22ポイント増加している。女性では「県南地域」(77.4%)であり、前回調査(71.8%)より5.6ポイント増加している。
男女差が最も大きいのは「県北地域」であり、男性(79.2%)と女性(65.0%)では、男性の方が14.2ポイント高い。

⑨今回調査 男性の地域別構成



⑩今回調査 女性の地域別構成

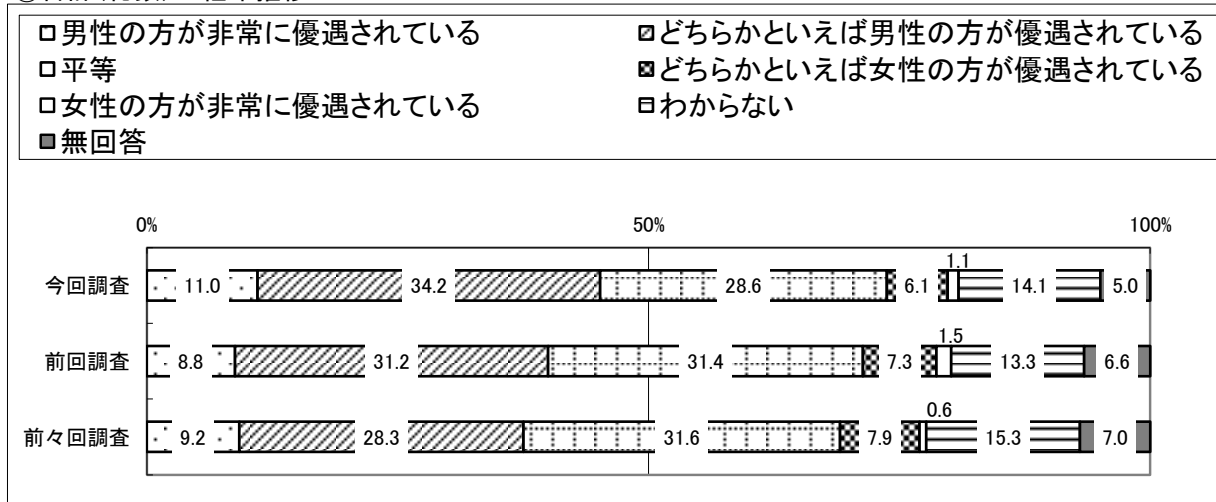


(5) 法律や制度の上で

法律や制度の上で『男性が優遇されている』と回答したものは45.2%、『女子が優遇されている』と回答したものは7.2%である。

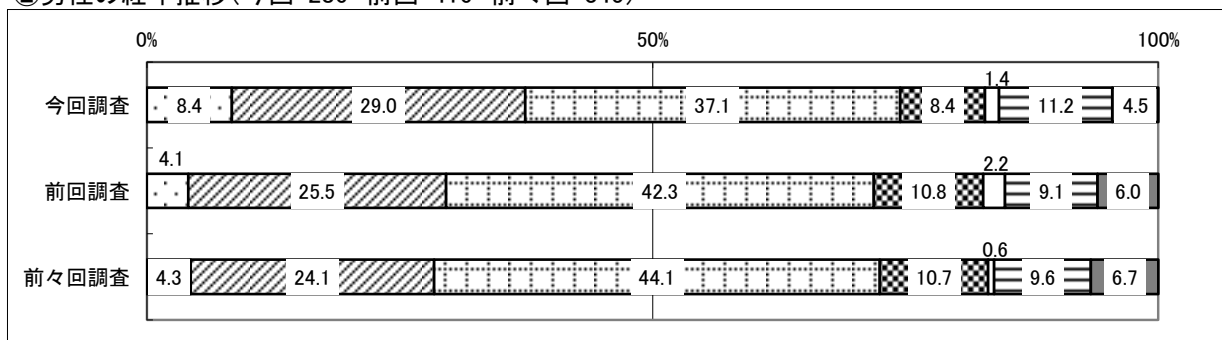
『男性が優遇されている』(45.2%)と回答したものは、前回調査(40.0%)より5.2ポイント増加、前々回調査(37.5%)より7.7ポイント増加しており、増加傾向で推移している。

①合計(総数)の経年推移

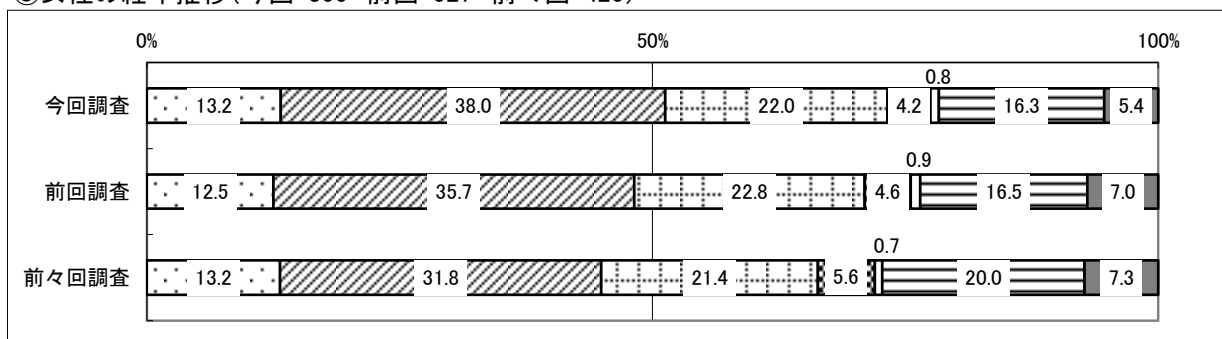


男女別にみると、『男性が優遇されている』と回答した男性は37.4%、女性は51.2%である。男性(37.4%)は前回調査(29.6%)より7.8ポイント増加し、女性(51.2%)は前回調査(48.2%)より3.0ポイント増加している。「平等」と回答したものは、男性(37.1%)と女性(22.0%)では、男性の方が15.1ポイント高く、男女による差が大きい。

②男性の経年推移(今回=286 前回=416 前々回=345)

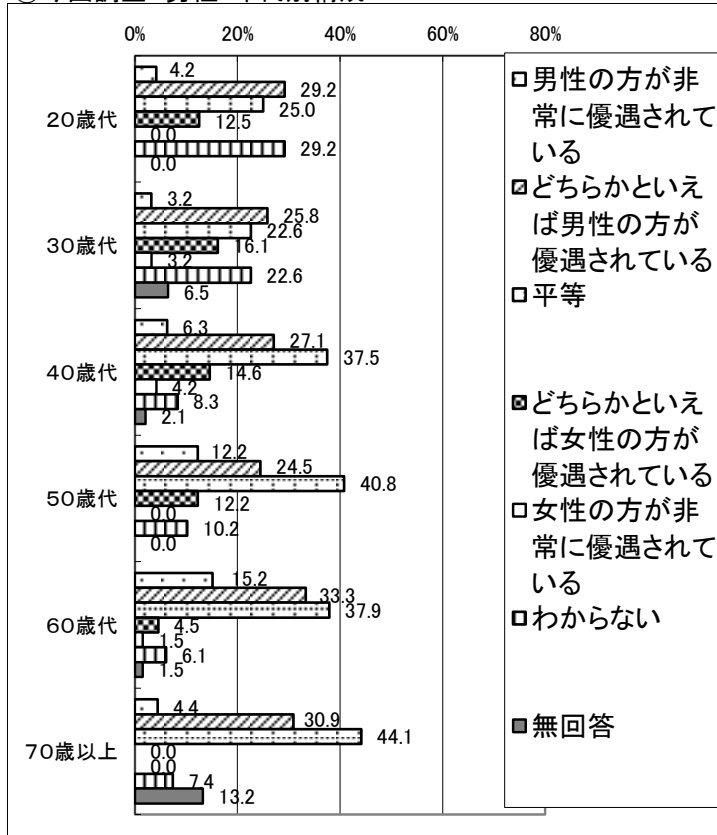


③女性の経年推移(今回=355 前回=527 前々回=425)

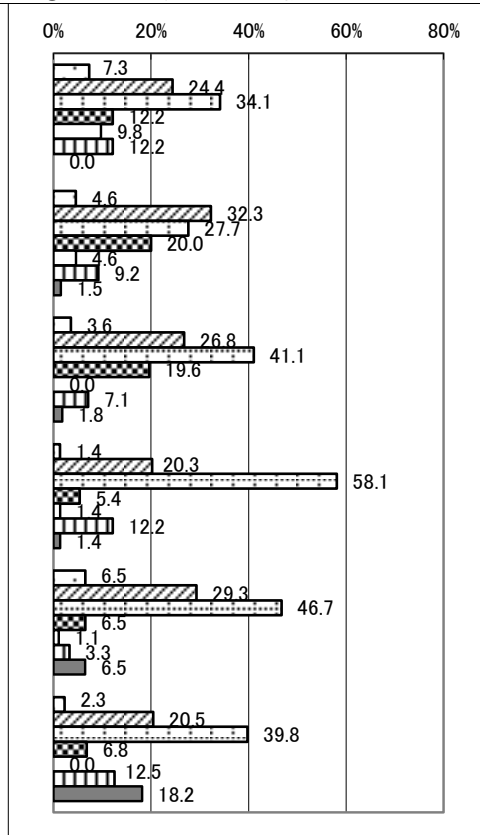


年代別・男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高いのは「60歳代」(48.5%)であり、次いで「50歳代」(36.7%)、「70歳以上」(35.3%)と続く。
 女性で、『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高いのは「40歳代」(64.3%)であり、次いで「50歳代」(63.0%)、「60歳代」(50.8%)と続く。
 男女差が最も多い年代は「40歳代」であり、男性(33.4%)と女性(64.3%)では、女性の方が30.9ポイント高い。

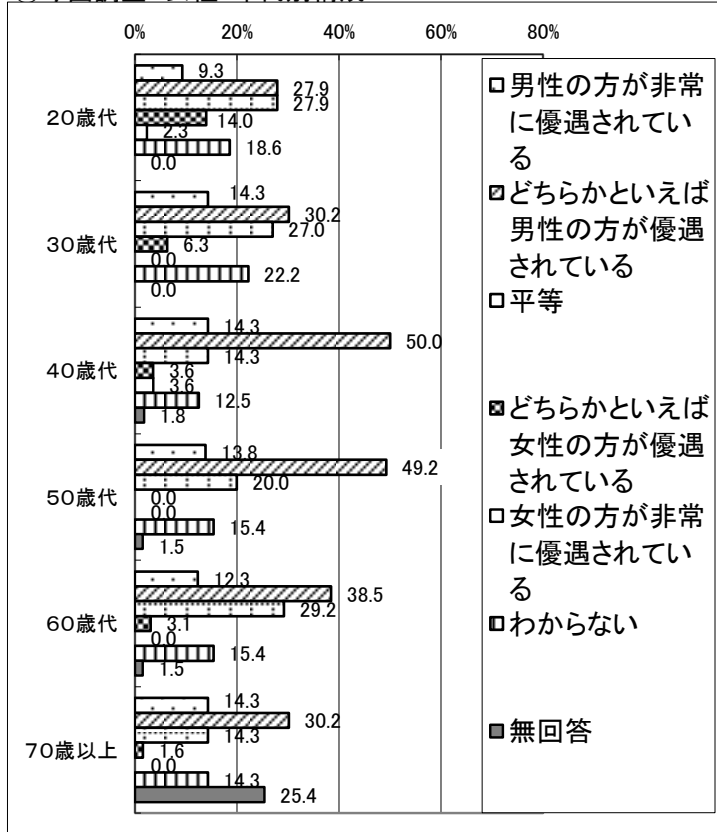
④今回調査 男性・年代別構成



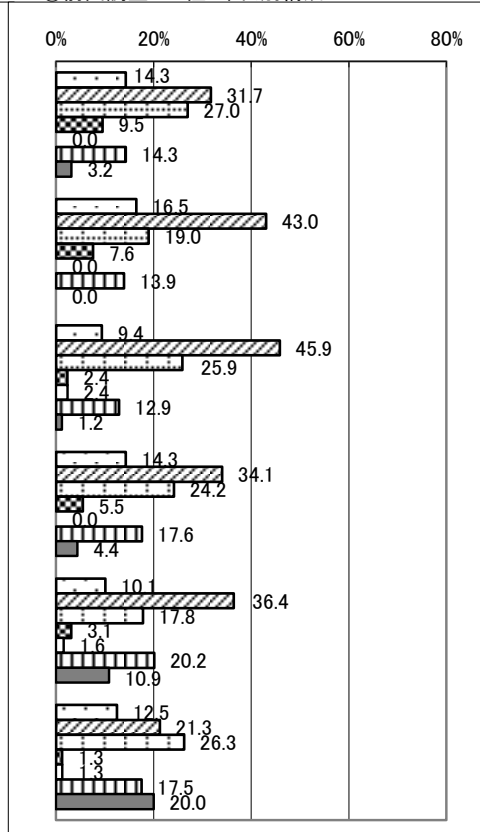
⑤前回調査 男性・年代別構成



⑥今回調査 女性・年代別構成

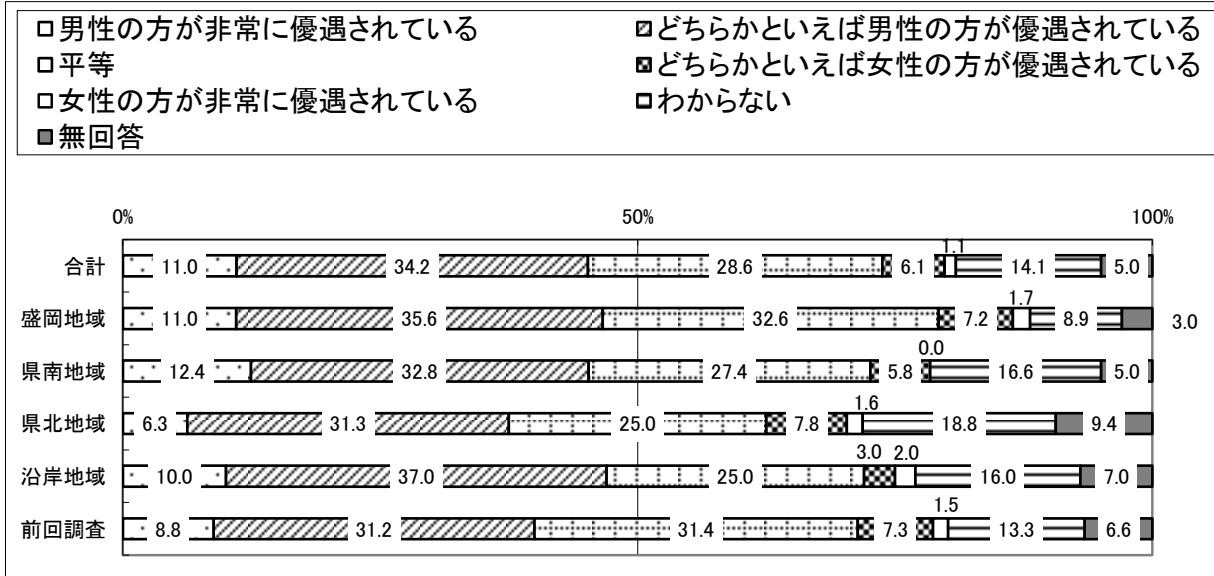


⑦前回調査 女性・年代別構成



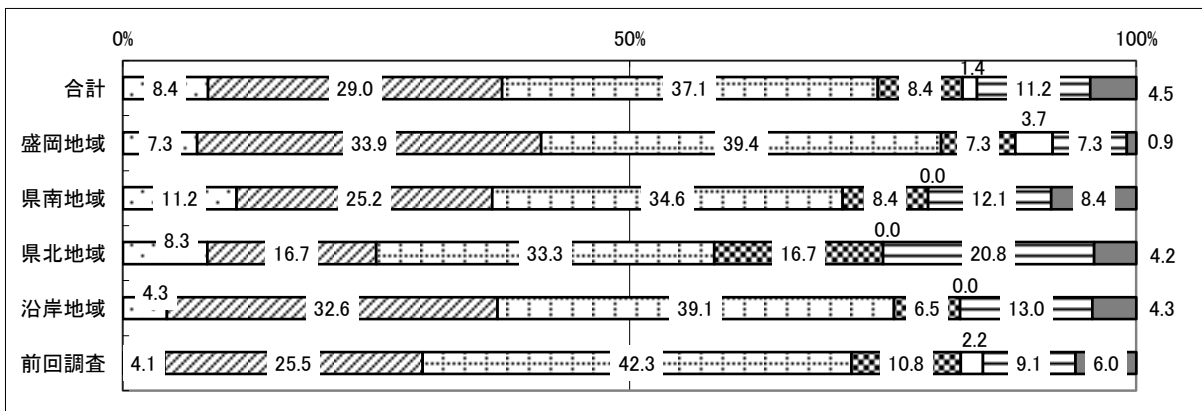
地域別にみると、『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高いのは「沿岸地域」(47.0%)であり、次いで「盛岡地域」(46.6%)、「県南地域」(45.2%)、「県北地域」(37.6%)である。「平等」と回答したものの割合が最も高いのは「盛岡地域」(32.6%)であり、最も低いのは「県北地域」(25.0%)と「沿岸地域」(25.0%)であり、その差は7.6ポイントである。

⑧今回調査 地域別による構成(盛岡地域=236 県南地域=241 県北地域=64 沿岸地域=100 地域無回答=3)

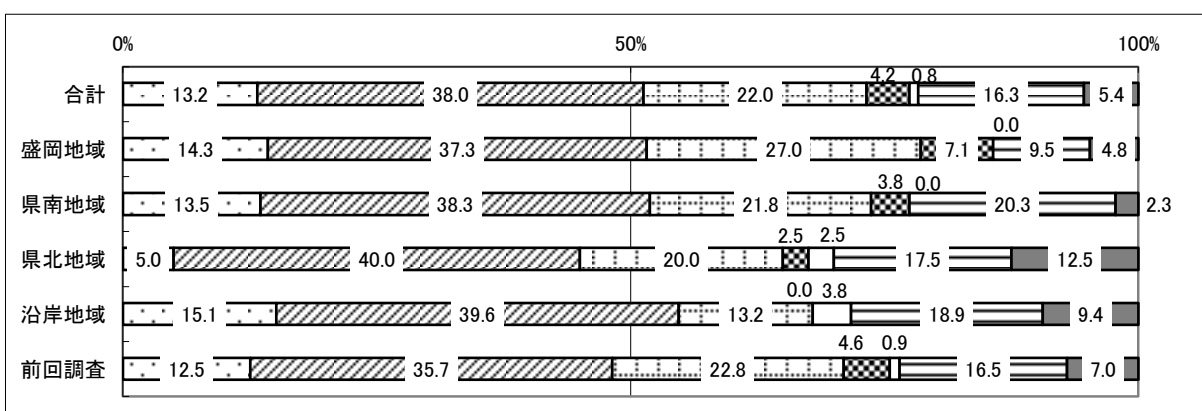


地域別・男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高い地域は「盛岡地域」(41.2%)であり、女性では「沿岸地域」(54.7%)であった。男女差が最も大きいのは「県北地域」であり、男性(25.0%)と女性(45.0%)では、女性の方が20ポイント高い。

⑨今回調査 男性の地域別構成



⑩今回調査 女性の地域別構成

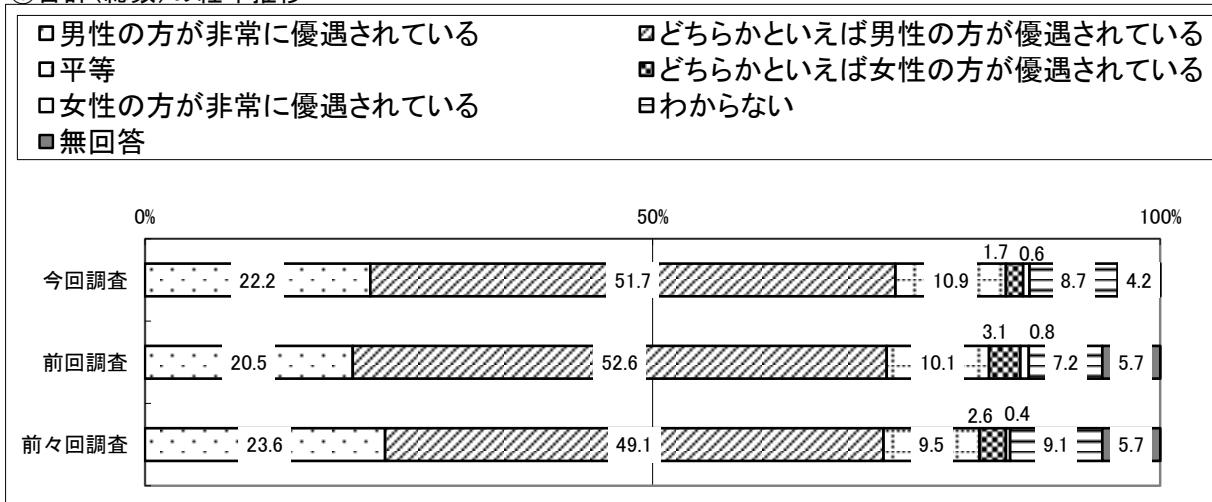


(6) 社会通念・慣習・しきたりなどで

社会通念・慣習・しきたりなどで『男性が優遇されている』と回答したものは73.9%であり、『女性が優遇されている』と回答したものは2.3%である。

『男性が優遇されている』(73.9%)と回答したものは前回調査(73.1%)より0.8ポイントわずかに増加している。

① 合計(総数)の経年推移

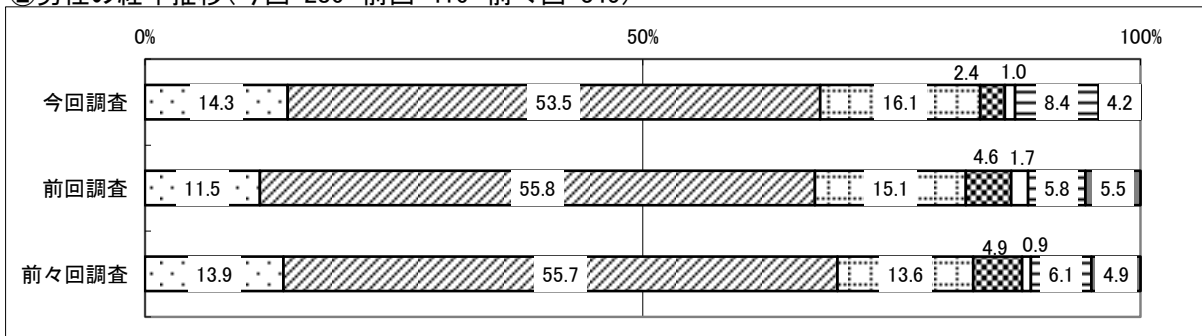


男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものは67.8%であり、前回調査(67.3%)より0.5ポイント増加している。

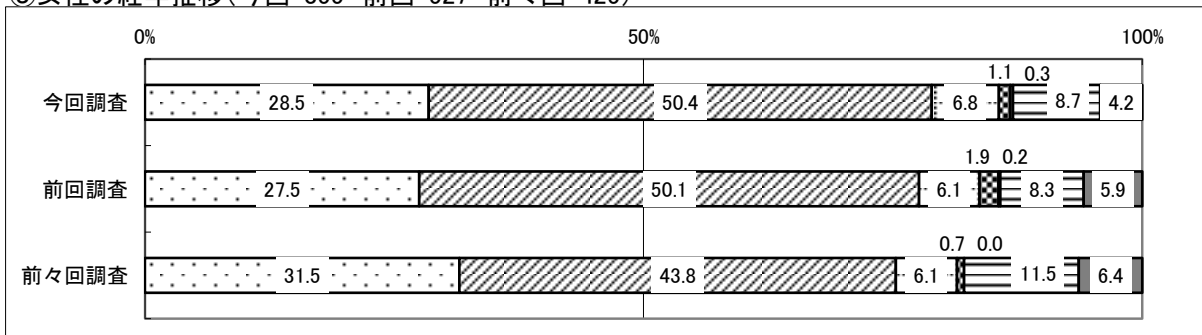
女性で『男性が優遇されている』と回答したものは78.9%であり、前回調査(77.6%)より1.3ポイント増加している。

「平等」と回答したのものについては、男性(16.1%)と女性(6.8%)では、男性の方が9.3ポイント高く、男女による差が大きい。

② 男性の経年推移(今回=286 前回=416 前々回=345)

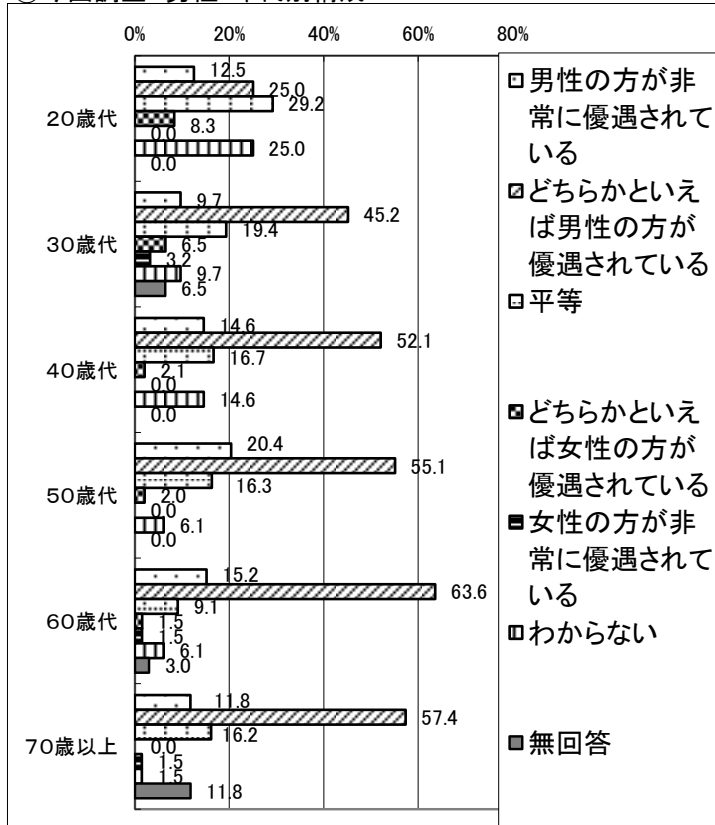


③ 女性の経年推移(今回=355 前回=527 前々回=425)

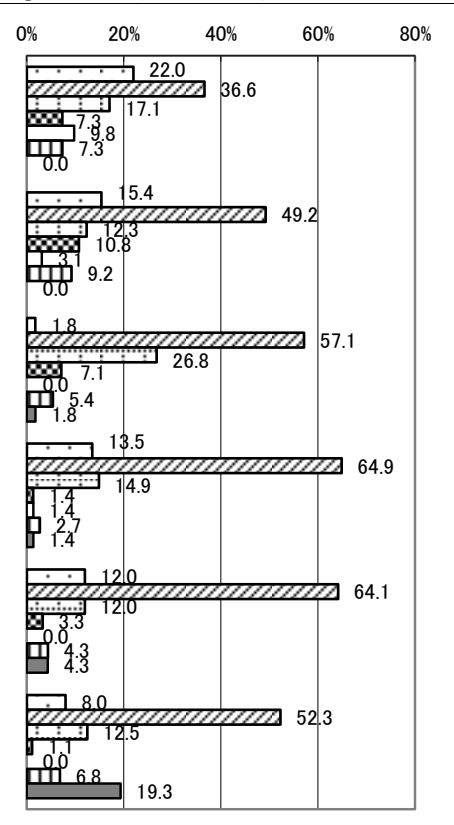


年代別・男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高い年代は「60歳代」(78.8%)であり、次いで「50歳代」(75.5%)、「70歳以上」(69.2%)と続く。
 女性で『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高い年代は「40歳代」(91.0%)であり、次いで「60歳代」(90.8%)、「50歳代」(81.5%)と続く。
 男女による差が大きい年代は「20歳代」であり、男性(37.5%)と女性(67.5%)では、女性の方が30.0ポイント高い。

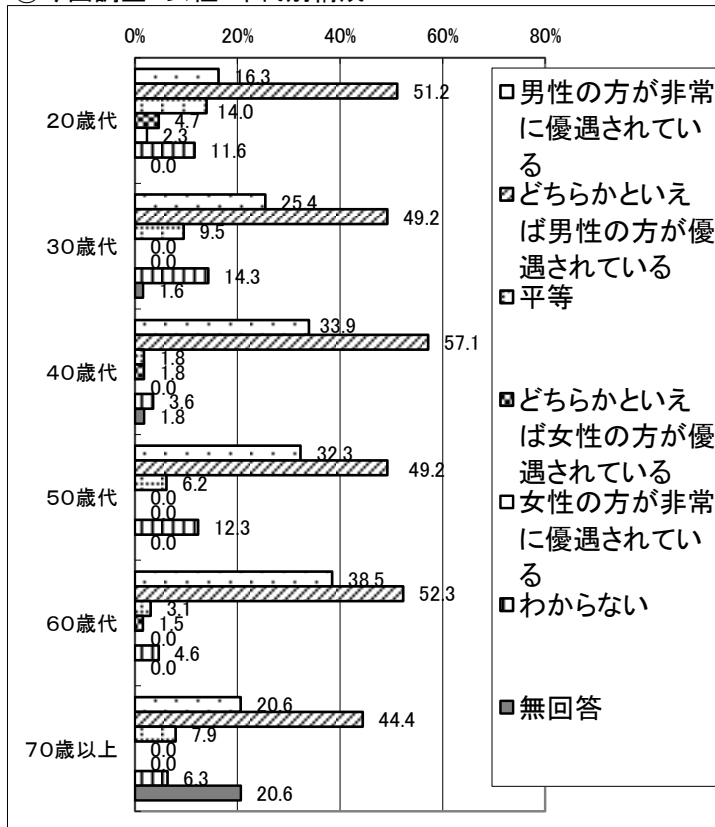
④今回調査 男性・年代別構成



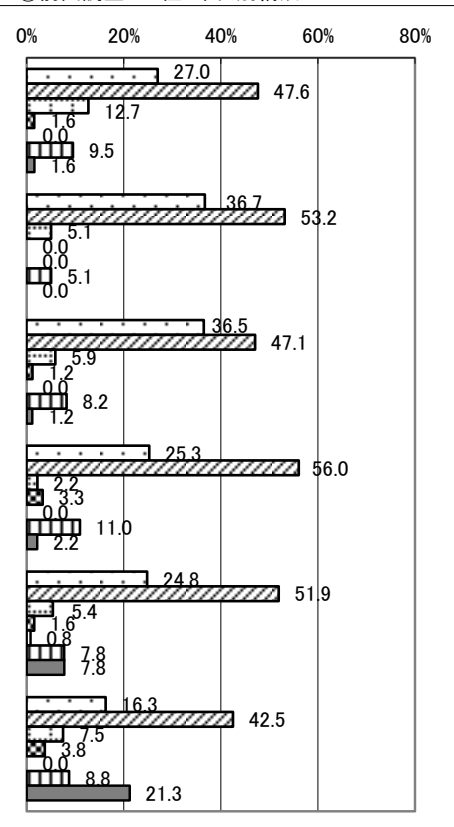
⑤前回調査 男性・年代別構成



⑥今回調査 女性・年代別構成

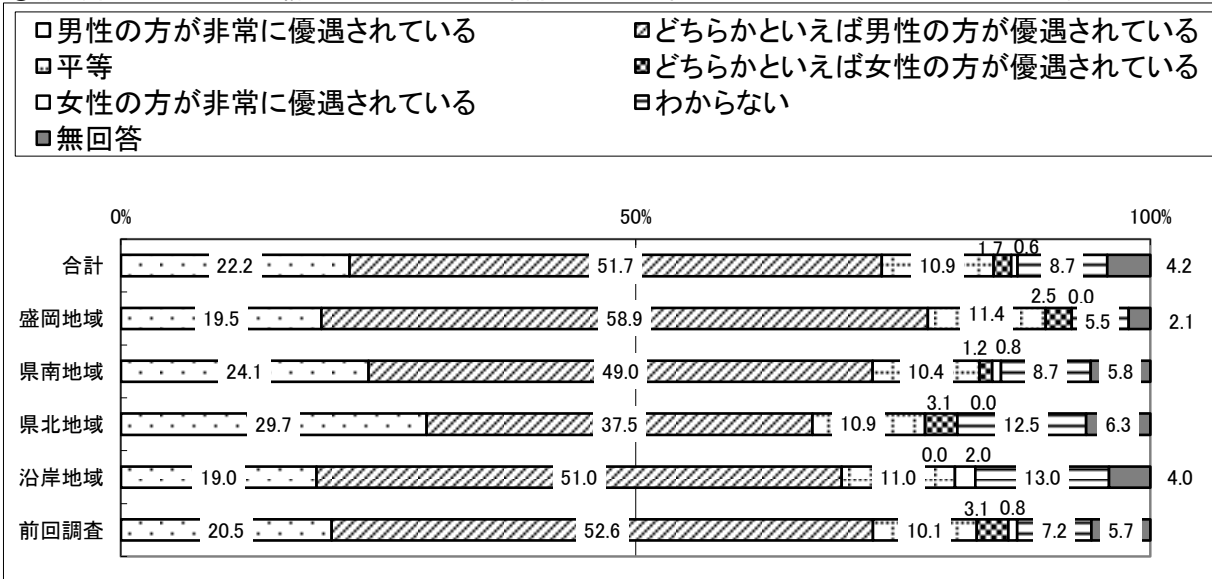


⑦前回調査 女性・年代別構成



地域別にみると、『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高い地域は「盛岡地域」(78.4%)であり、次いで「県南地域」(73.1%)、「沿岸地域」(70.0%)、「県北地域」(67.2%)と続く。この傾向は前回調査と同様である。

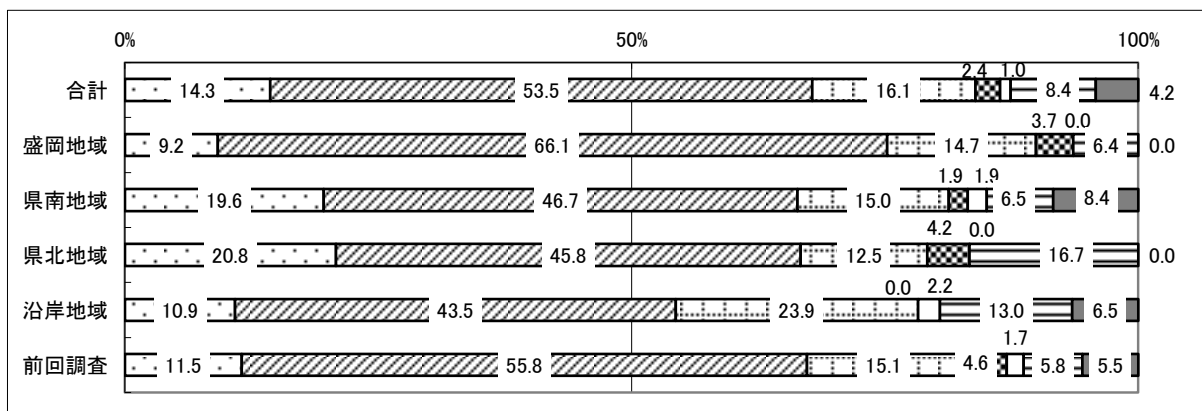
⑧今回調査 地域別による構成(盛岡地域=236 県南地域=241 県北地域=64 沿岸地域=100 地域無回答=3)



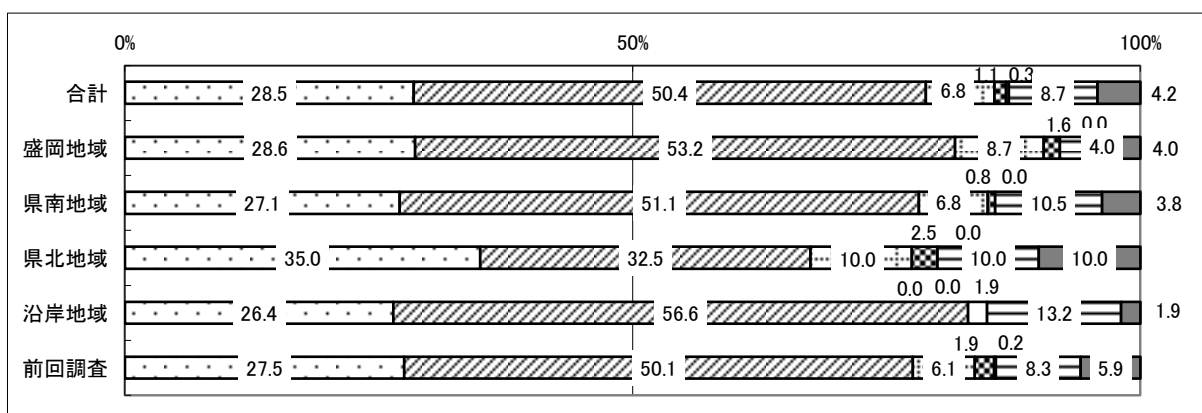
地域別・男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高い地域は「盛岡地域」(75.3%)であり、次いで「県北地域」(66.6%)、「県南地域」(66.3%)、「沿岸地域」(54.4%)である。

女性で『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高い地域は『沿岸地域』(83.0%)であり、次いで「盛岡地域」(81.8%)、「県南地域」(78.2%)、「県北地域」(67.5%)である。男女差が最も大きかった地域は「沿岸地域」であり、男性(54.4%)と女性(83.0%)では、女性の方が28.6ポイント高い。

⑨今回調査 男性の地域別構成



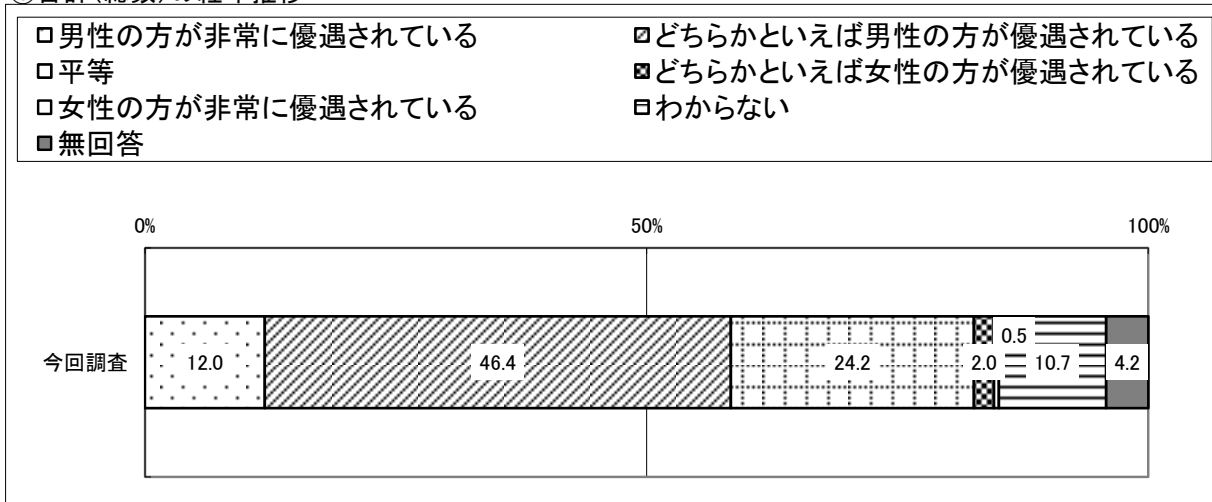
⑩今回調査 女性の地域別構成



(7)地域社会で

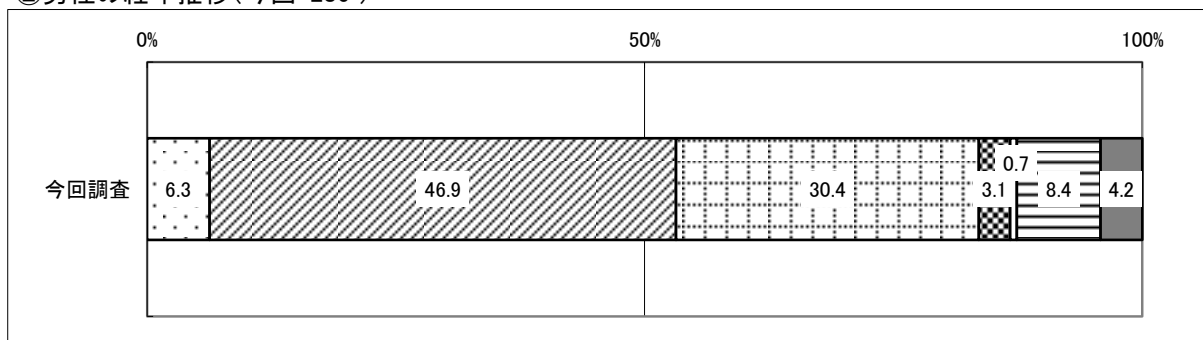
平成30年度調査より新たに追加された項目である。
 地域社会で『男性が優遇されている』と回答したものは58.4%で、
 『女性が優遇されている』と回答したものは2.5%である。
 「平等」と回答したものは24.2%であった。

①合計(総数)の経年推移

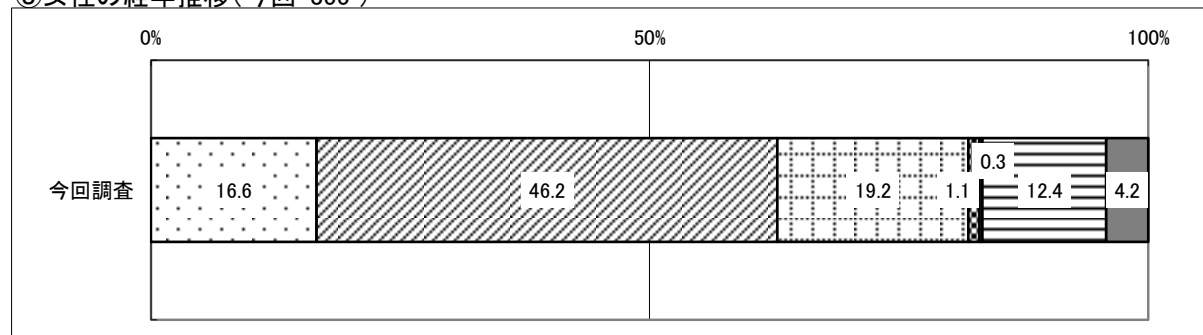


男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものは53.2%であった。
 女性で『男性が優遇されている』と回答したものは62.8%であった。
 男女共に半数を超えているが、男性(53.2%)と女性(62.8%)では女性の方が9.6ポイント高い。
 「平等」と回答したものは、男性(30.4%)と女性(19.2%)では、男性の方が11.2ポイント高い。

②男性の経年推移(今回=286)

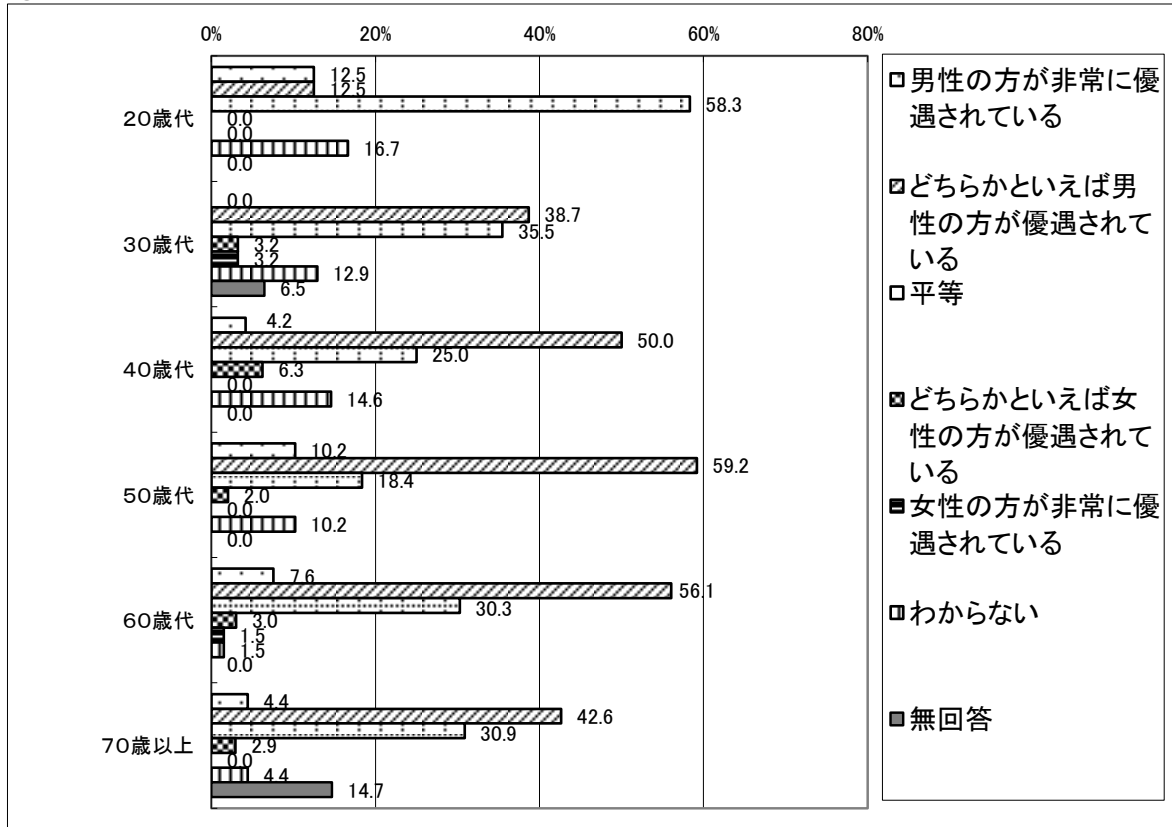


③女性の経年推移(今回=355)

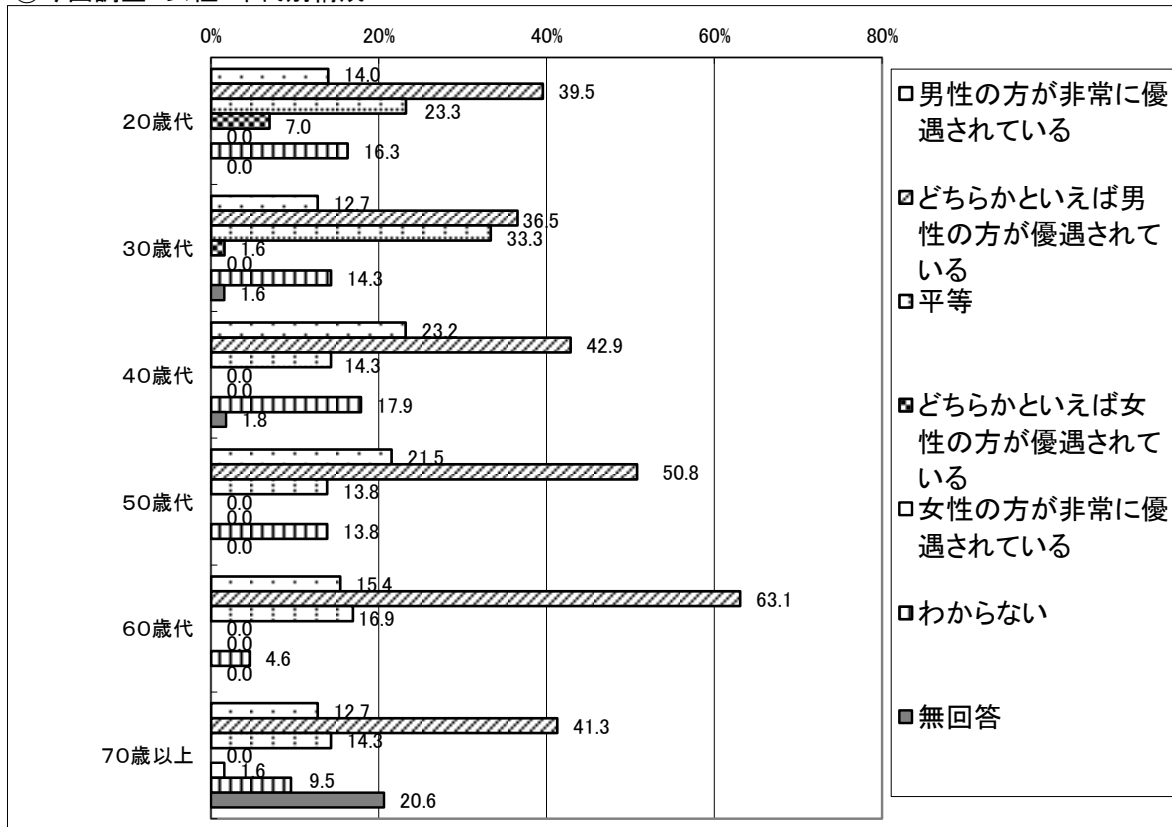


年代別・男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高い年代は「50歳代」(69.4%)であり、最も低い年代は「20歳代」(25.0%)である。その差は44.4ポイントであった。女性で『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高い年代は「60歳代」(78.5%)であり、最も低い年代は「20歳代」(53.5%)である。その差は25.0ポイントであった。男女差が最も大きい年代は「20歳代」であり、男性(25.0%)と女性(53.5%)では、女性の方が28.5ポイント高い。

④今回調査 男性・年代別構成

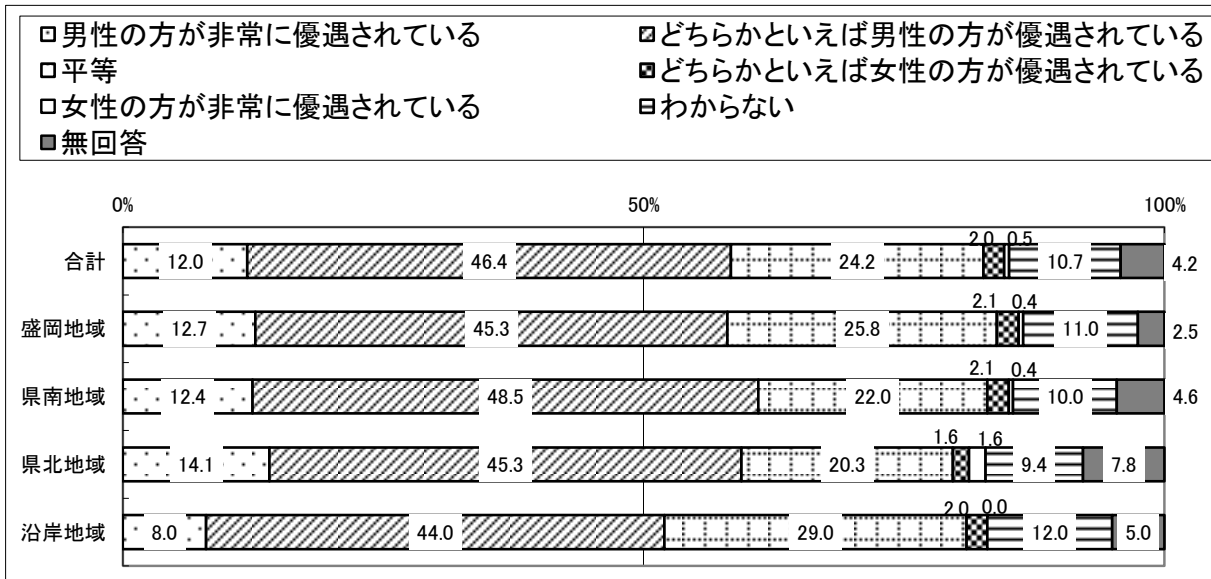


⑤今回調査 女性・年代別構成



地域別にみると『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高い地域は「県南地域」(60.9%)であり、次いで「県北地域」(59.4%)、「盛岡地域」(58.0%)、「沿岸地域」(52.0%)と続く。

⑥今回調査 地域別による構成(盛岡地域=236 県南地域=241 県北地域=64 沿岸地域=100 地域無回答=3)



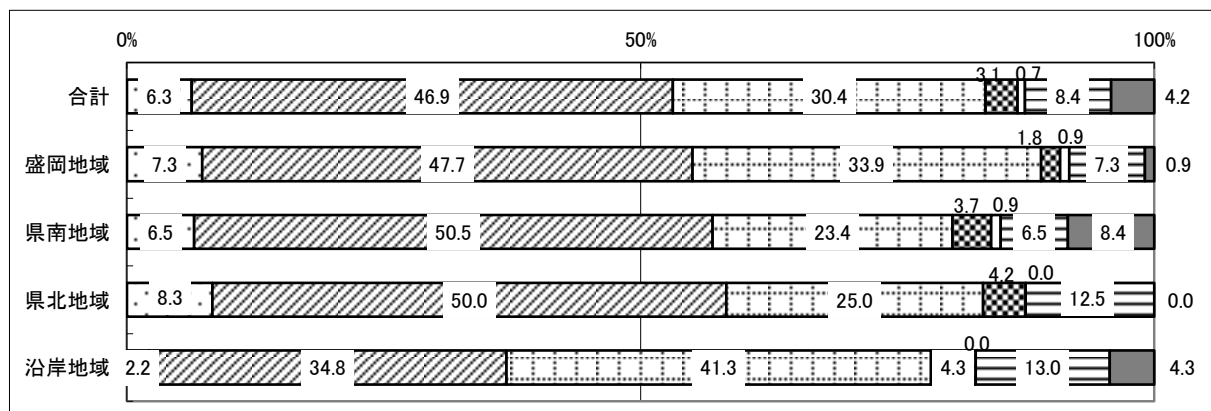
地域別・男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高い地域は「県北地域」(58.3%)であり、次いで「県南地域」(57.0%)、「盛岡地域」(55.0%)、「沿岸地域」(37.0%)と続く。

女性で『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高い地域は「沿岸地域」(66.0%)であり、次いで「県南地域」(63.9%)、「盛岡地域」(61.2%)、「県北地域」(60.0%)と続く。

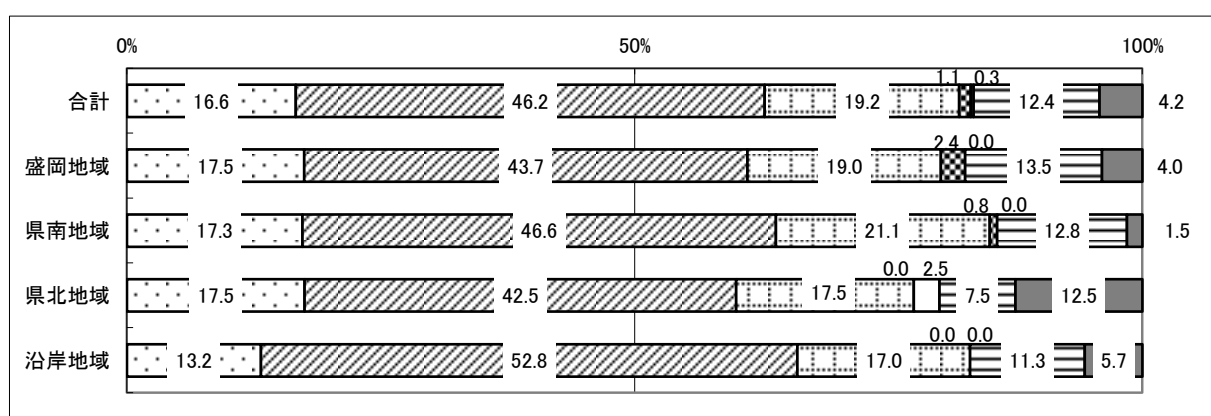
男女差が最も大きいのは「沿岸地域」であり、男性(37.0%)と女性(66.0%)では、女性の方が29.0ポイント高い。

女性は全ての地域において、6割を超えている。

⑦今回調査 男性の地域別構成



⑧今回調査 女性の地域別構成



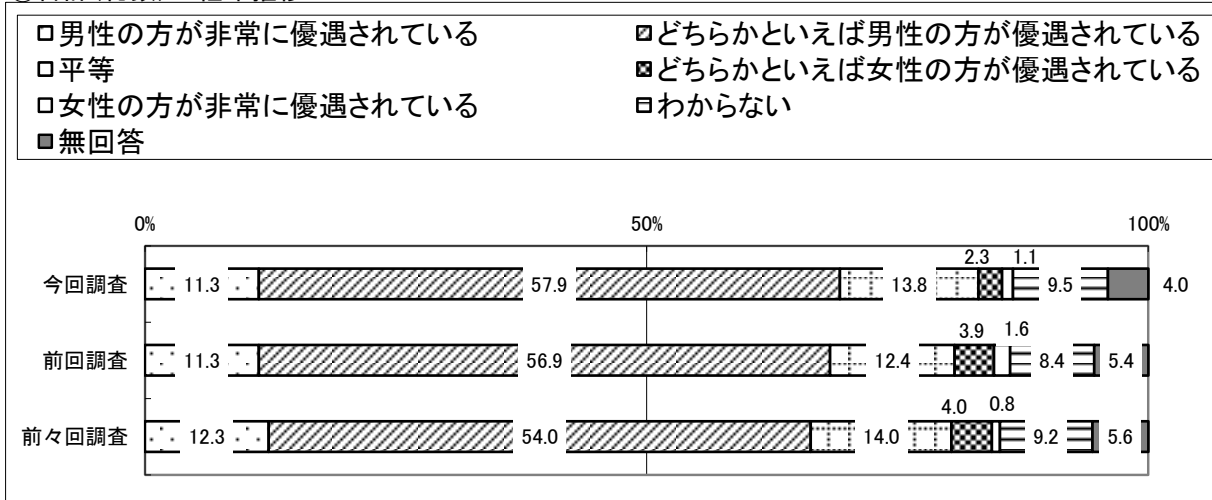
(8)社会全体として

社会全体として『男性が優遇されている』と回答したものは69.2%であり、前回調査(68.2%)より1.0ポイント増加している。

『女性が優遇されている』と回答したものは3.4%であり、前回調査(5.5%)より2.1ポイント減少している。

「平等」と回答したものは13.8%であり、前回調査(12.4%)より1.4ポイント増加している。

①合計(総数)の経年推移

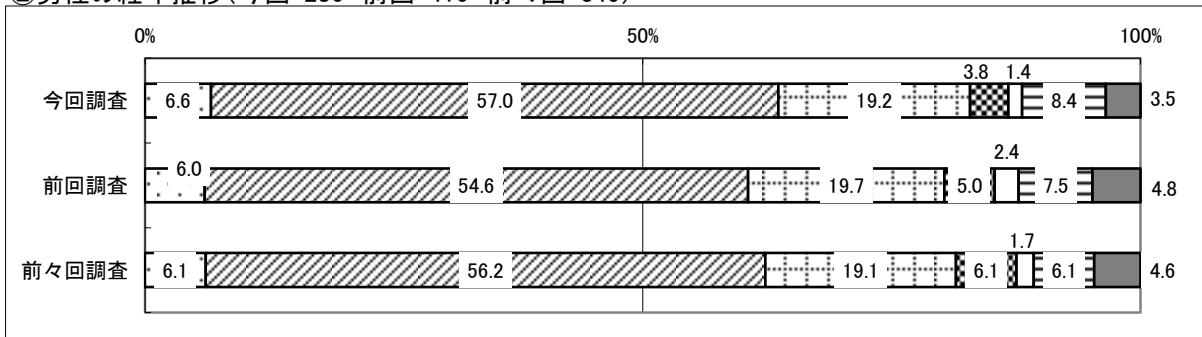


男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものは63.6%であり、前回調査より3.0ポイント増加している。

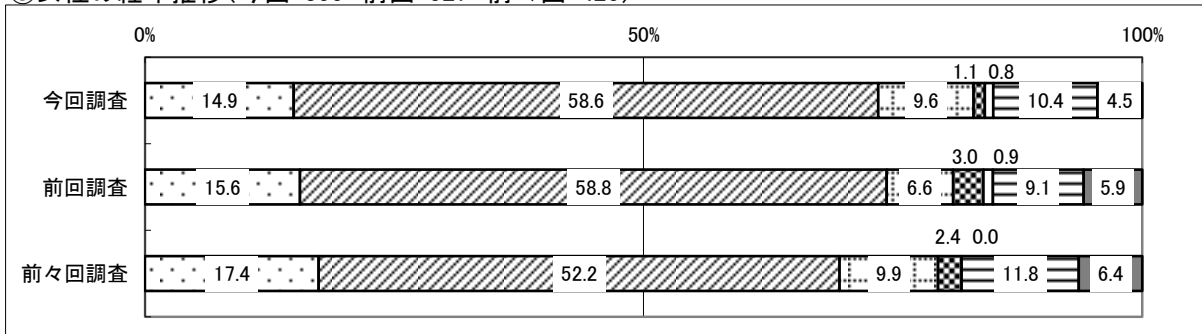
女性で『男性が優遇されている』と回答したものは73.5%であり、前回調査(74.4%)より0.9ポイント減少している。

「平等」と回答した男性(19.2%)は前回調査(19.7%)と比較して大きな差はないが、女性(9.6%)は前回調査(6.6%)より3.0ポイント増加している。

②男性の経年推移(今回=286 前回=416 前々回=345)

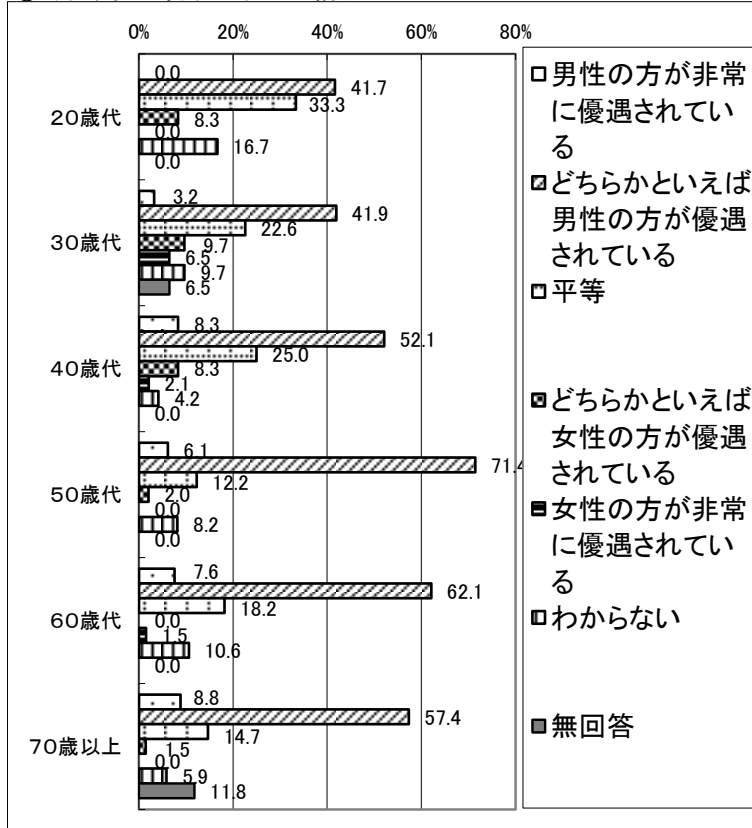


③女性の経年推移(今回=355 前回=527 前々回=425)

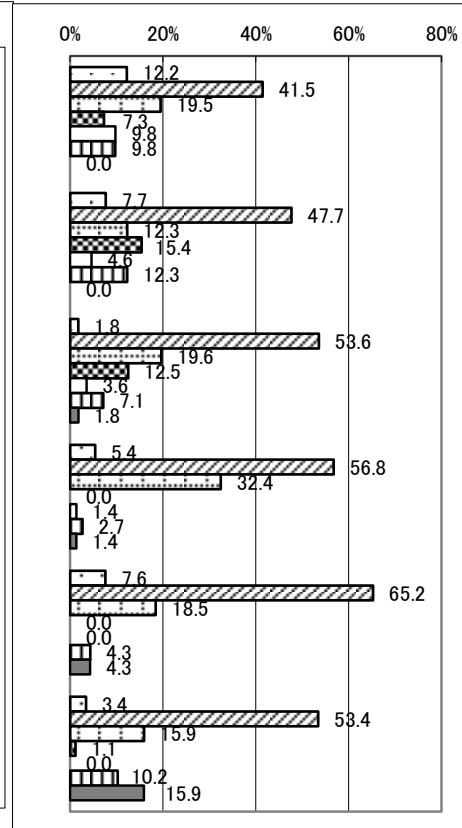


年代別・男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高い年代は「50歳代」(77.5%)であり、女性で『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高い年代は「40歳代」(80.4%)である。
男女差が最も大きい年代は「30歳代」であり、男性(45.1%)と女性(71.4%)では、女性の方が26.3ポイント高い。

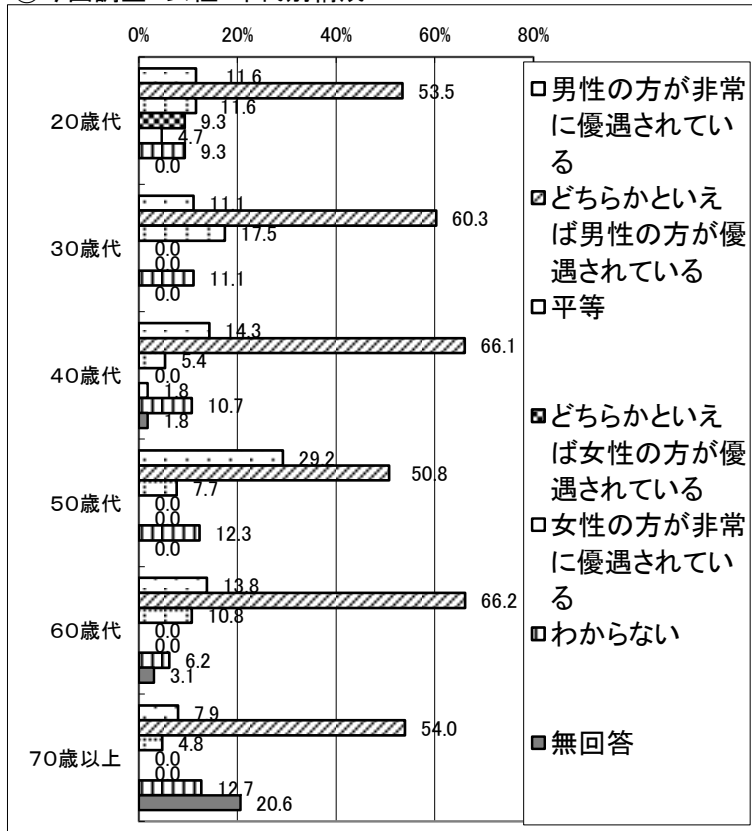
④今回調査 男性・年代別構成



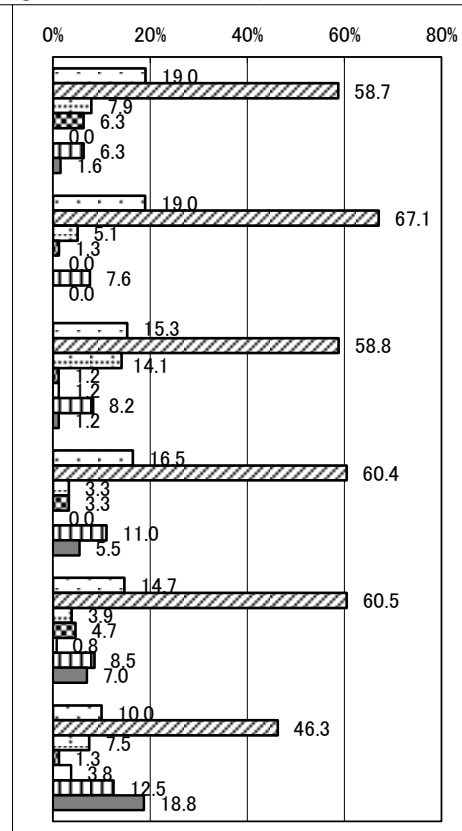
⑤今回調査 男性・年代別構成



⑥今回調査 女性・年代別構成

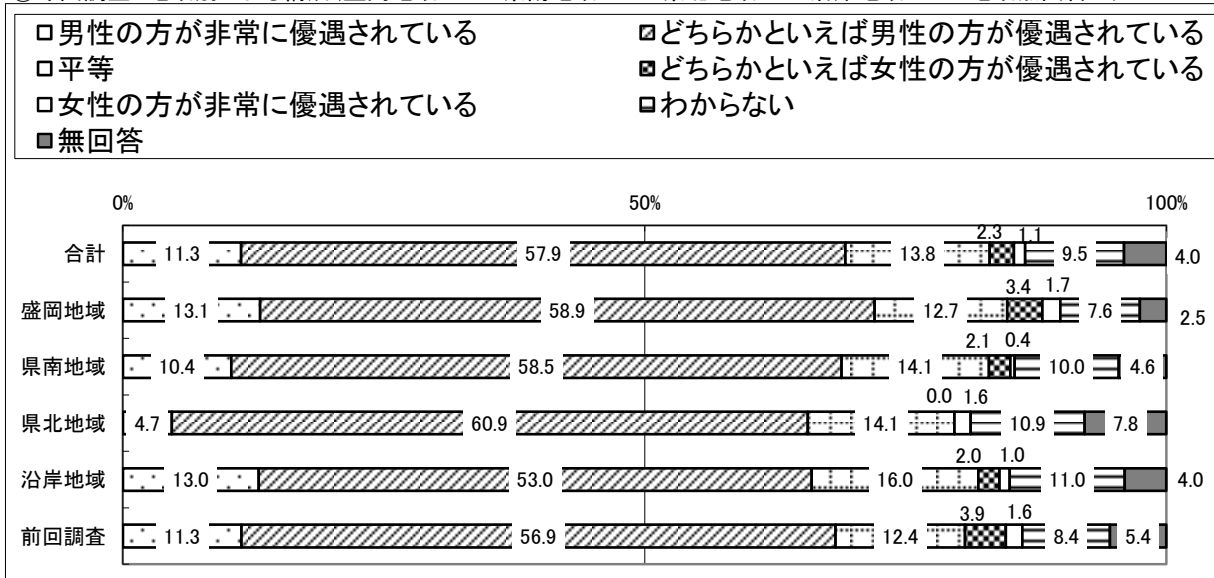


⑦前回調査 女性・年代別構成



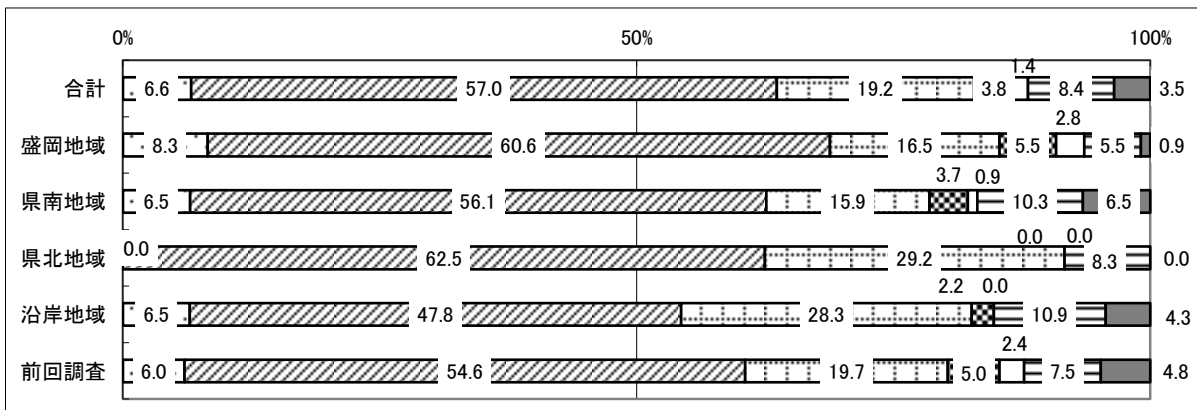
地域別に見ると『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高い地域は「盛岡地域」(72.0%)であり、次いで「県南地域」(68.9%)、「沿岸地域」(66.0%)、「県北地域」(65.6%)と続く。前回調査と比較すると、「県北地域」(65.6%)は前回調査(67.9%)より2.3ポイント減少した。

⑧今回調査 地域別による構成(盛岡地域=236 県南地域=241 県北地域=64 沿岸地域=100 地域無回答=3)

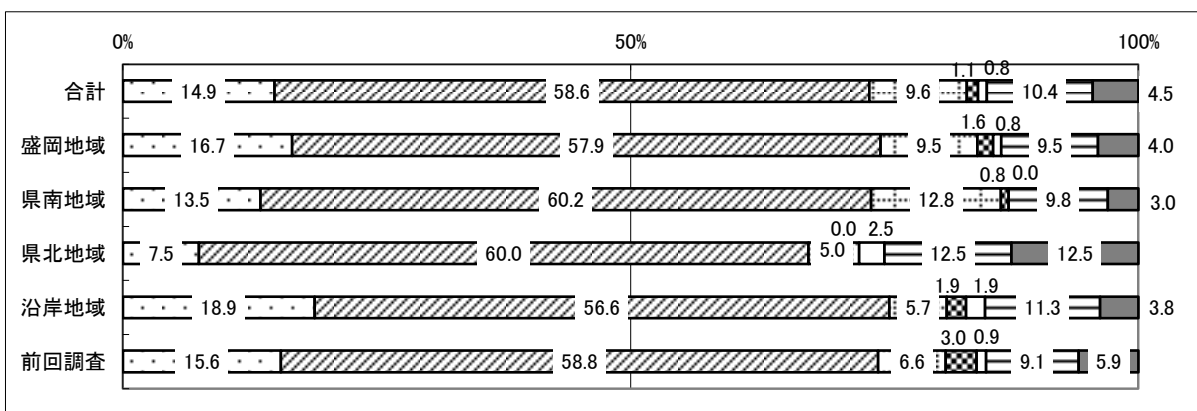


地域別・男女別にみると、男性で『男性が優遇されている』と回答したものの割合が最も高い地域は「盛岡地域」(68.9%)であり、次いで「県南地域」(62.6%)、「県北地域」(62.5%)、沿岸地域(54.3%)と続く。
 女性で『男性が優遇されている』と回答したものが最も多い地域は「沿岸地域」(75.5%)であり、次いで「盛岡地域」(74.6%)、「県南地域」(73.7%)、「県北地域」(67.5%)と続く。
 男女差が最も大きい地域は「沿岸地域」であり、男性(54.3%)と女性(75.5%)では、女性の方が21.2ポイント高い。

⑨今回調査 男性の地域別構成



⑩今回調査 女性の地域別構成



問2 今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、重要と思われるものは何ですか。
次の中から2つ選んで○をつけてください。
(N=644 男性=286 女性=355 その他=2 性別無回答=1)

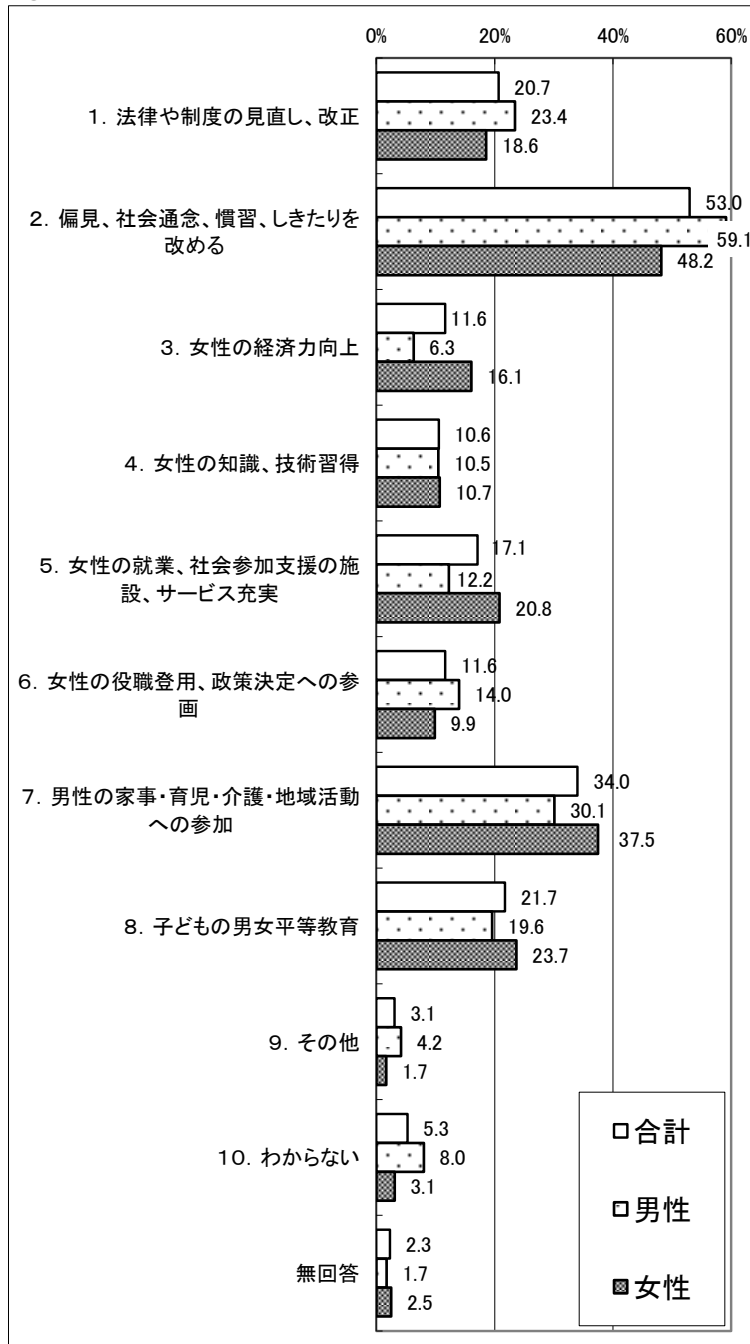
男女平等のために重要なものは「偏見、社会通念、慣習、しきたりを改める」(53.0%)の割合が最も高く、次いで「男性の家事・育児・介護・地域活動への参加」(34.0%)、「子どもの男女平等教育」(21.7%)と続く。

前回調査と比較すると、「偏見、社会通念、慣習、しきたりを改める」(53.0%)は6.8ポイント増加した。一方、「女性の就業、社会参加支援の施設、サービス充実」(17.1%)は前回調査(22.1%)より5.0ポイント減少した。

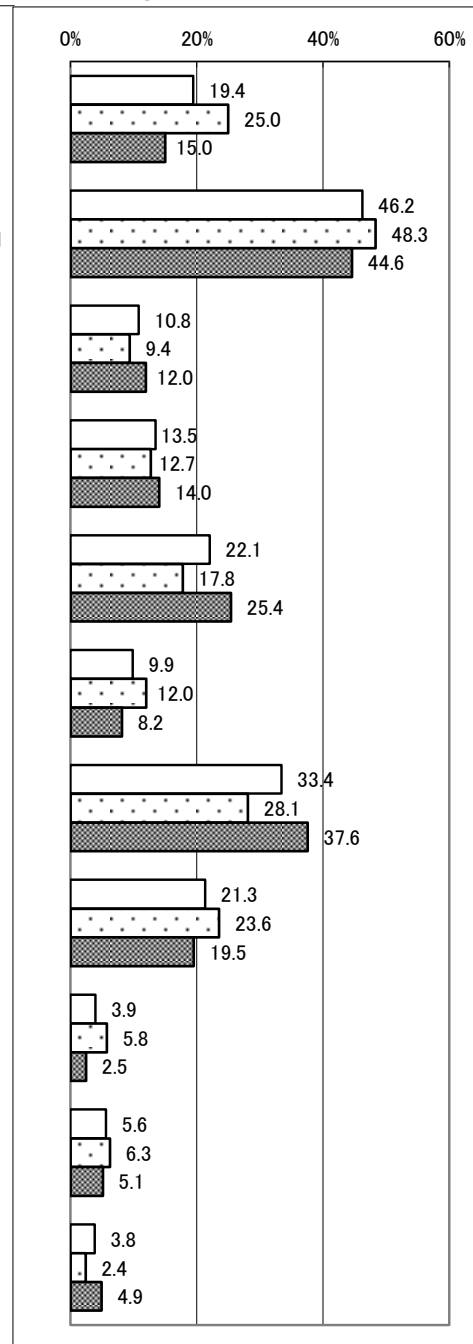
男女別にみると、男女共に「偏見、社会通念、慣習、しきたりを改める」(男性59.1% 女性48.2%)の割合が最も高く、次いで「男性の家事・育児・介護・地域活動への参加」(男性30.1% 女性37.5%)と続く。3番目は、男性では「法律や制度の見直し、改正」(23.4%)であり、女性では「子どもの男女平等教育」(23.7%)であった。

男女の差が最も大きいのは「偏見、社会通念、慣習、しきたりを改める」であり、男性(59.1%)と女性(48.2%)では男性の方が10.9ポイント高い。

①今回調査



②前回調査 性別構成



年代別・男女別にみると、男女共「偏見、社会通念、慣習、しきたりを改める」と回答したものの割合が最も高く、男性ではすべての年代において5割を超えた。
 年代差が最も大きいのは、男性では「男性の家事や育児・介護地域活動に積極的に参加すること」であり、20歳代（45.8%）と30歳代（22.6%）では、20歳代の方が23.2ポイント高く、女性では「偏見、社会通念、慣習、しきたりを改める」であり、40歳代（57.1%）と70歳以上（27.0%）では、40歳代の方が30.1ポイント高かった。

③今回調査 男性・年代別構成

④今回調査 女性・年代別構成

